

(様式第 10)

九大院医医第 70 号
令和 3 年 10 月 5 日

厚生労働大臣

殿

九州大学総長 石 橋 達 朗

九州大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和 2 年度の業務に関して報告します。
記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒819-0395 福岡市西区元岡744
氏 名	国立大学法人 九州大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

九州大学病院

3 所在の場所

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1	電話(092)641-1151 (代表)
------------------------	----------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有
内科と組み合わせた診療科名等	
1呼吸器内科	2消化器内科
3循環器内科	4腎臓内科
⑤神経内科	6血液内科
7内分泌内科	8代謝内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科
11リウマチ科	
診療実績	
・呼吸器内科は呼吸器科で診療を行っている。	
・循環器内科は循環器科で診療を行っている。	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有
外科と組み合わせた診療科名	
1呼吸器外科	2消化器外科
5血管外科	6心臓血管外科
3乳腺外科	7内分泌外科
4心臓外科	8小児外科
診療実績	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	7産婦人科	⑧産科
⑨婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	14放射線治療科		
⑮麻酔科	⑯救急科						

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有
歯科と組み合わせた診療科名	
①小児歯科	②矯正歯科
③口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 リハビリテーション科	2 病理診断科・病理部	3 形成外科	4 心療内科
5	6	7	8
9	10	11	
12	13	14	15
16	17	18	
19	20	21	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
49床	床	床	床	1,226床	1,275床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	443人	220.0人	663.0人	看 護 補 助 者	14人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	145人	58.4人	203.4人	理 学 療 法 士	22人	臨床検査技師	112人
薬 剤 師	101人	0人	101人	作 業 療 法 士	10人	衛生検査技師	2人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	9人	そ の 他	0人
助 産 師	38人	0人	38人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	1,218人	10.0人	1,228.0人	臨 床 工 学 士	26人	医療社会事業従事者	13人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	39人
歯科衛生士	22人	0人	22人	歯 科 技 工 士	5人	事 務 職 員	350人
管理栄養士	11人	0人	11人	診療放射線技師	68人	そ の 他 の 職 員	193人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	129人	眼 科 専 門 医	6人
外 科 専 門 医	57人	耳鼻咽喉科専門医	8人
精 神 科 専 門 医	12人	放射線科専門医	19人
小 児 科 専 門 医	31人	脳神経外科専門医	9人
皮 膚 科 専 門 医	8人	整形外科専門医	23人
泌尿器科専門医	9人	麻 酔 科 専 門 医	18人
産婦人科専門医	11人	救 急 科 専 門 医	6人
		合 計	337人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (赤 司 浩 一) 任命年月日 平成 30 年 4 月 1 日

- ・平成16年度より平成29年度末まで輸血センター長及び輸血委員会委員長として九州大学病院の輸血・血漿交換等に関する医療安全管理業務を担当した。
- ・平成20年度より平成29年度末まで九州大学病院検証会委員を務め、病院全体の医療安全管理体制に貢献した。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	932.42人	28.52人	960.94人
1日当たり平均外来患者数	2187.79人	650.67人	2838.46人
1日当たり平均調剤数	1,993.5剤		
必要医師数	225.94200人		
必要歯科医師数	37人		
必要薬剤師数	33人		
必要（准）看護師数	578人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備	概 要
集中治療室	442.93m ²	鉄筋コンクリート	病 床 数	12床
			人工呼吸装置	有
			その他の救急蘇生装置	有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 1,226.28m ² [移動式の場合] 台 数 4台		病床数、	54床
医 薬 品 情報管理室	[専用室の場合] 床 積 84.74m ² [共用室の場合] 共用する室名			
化学検査室	1,116m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 冷蔵庫・冷凍庫、測定・分析装置	
細菌検査室	552m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 冷蔵庫・冷凍庫、測定・分析装置	
病理検査室	527m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) パーチャルスライドスキャナー、自動免疫染色装置	
病理解剖室	65m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) ミナプロユニットパイクザード解剖台	
研 究 室	15,430m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) クリーンベンチ、遠心分離機、冷蔵庫・冷凍庫	
講 義 室	485m ²	鉄筋コンクリート	室数 3 室	収容定員 2室 157人 1室 256人
図 書 室	4,069m ²	鉄筋コンクリート	室数 3 室	蔵 書 数 328,720冊程度 (九州大学医学図書館HPより)

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率		79.4%	逆紹介率		94.1%
算出根拠	A：紹介患者の数		18,616人		
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		23,898人		
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,554人		
	D：初診の患者の数		25,404人		

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
近本 亮	熊本大学	○	安全管理の識見者	無	1
富田 康裕	久留米大学		安全管理の識見者	無	1
杉原 学	久留米大学		安全管理の識見者	無	1
秋好 美代子	さく病院		安全管理の識見者	有	1
久保井 摂	九州合同法律事務所		法律の識見者	無	1
中原 美夏	NPO 法人がんサ ーサポート		医療を受ける者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法 本院ウェブサイトに掲載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	42人
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	48人
細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	0人
LDLアフェレシス療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
ペトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法	0人
全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療におけるクロピドグレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死発症抑制療法	0人
テモゾロミド用量強化療法	0人
シクロホスファミド静脈内投与及び自家末梢血幹細胞移植術の併用療法	2人
ニボルマブ静脈内投与及びドセタキセル静脈内投与の併用療法	5人
周術期デュルバルマブ静脈内投与療法	0人
腎血管筋脂肪腫に対する腎腫瘍凝固・焼灼術	2人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
該当なし			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数		疾患名	患者数
1 球脊髄性筋萎縮症	7	56	黄色靱帯骨化症	11
2 筋萎縮性側索硬化症	39	57	後縦靱帯骨化症	58
3 脊髄性筋萎縮症	6	58	広範脊柱管狭窄症	5
4 原発性側索硬化症	2	59	特発性大腿骨頭壊死症	172
5 進行性核上性麻痺	9	60	下垂体性ADH分泌異常症	28
6 パーキンソン病	97	61	下垂体性TSH分泌亢進症	4
7 大脳皮質基底核変性症	5	62	下垂体性PRL分泌亢進症	29
8 ハンチントン病	3	63	クッシング病	17
9 重症筋無力症	130	64	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	5
10 多発性硬化症／視神経脊髄炎	265	65	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	62
11 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	50	66	下垂体前葉機能低下症	138
12 封入体筋炎	6	67	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
13 クロウ・深瀬症候群	2	68	先天性副腎皮質酵素欠損症	8
14 多系統萎縮症	38	69	アジソン病	2
15 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	116	70	サルコイドーシス	94
16 ライゾーム病	21	71	特発性間質性肺炎	45
17 副腎白質ジストロフィー	1	72	肺動脈性肺高血圧症	73
18 ミトコンドリア病	18	73	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	1
19 もやもや病	80	74	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	105
20 亜急性硬化性全脳炎	1	75	リンパ管筋腫症	7
21 HTLV-1関連脊髄症	5	76	網膜色素変性症	148
22 全身性アミロイドーシス	66	77	バッド・キアリ症候群	5
23 遠位型ミオパチー	2	78	特発性門脈圧亢進症	2
24 神経線維腫症	41	79	原発性胆汁性肝硬変	93
25 天疱瘡	22	80	原発性硬化性胆管炎	23
26 表皮水疱症	3	81	自己免疫性肝炎	14
27 膿疱性乾癬(汎発型)	10	82	クローン病	382
28 スティーヴンス・ジョンソン症候群	4	83	潰瘍性大腸炎	410
29 中毒性表皮壊死症	2	84	好酸球性消化管疾患	4
30 高安静脈炎	50	85	慢性特発性偽性腸閉塞症	3
31 巨細胞性動脈炎	6	86	チャージ症候群	4
32 結節性多発動脈炎	13	87	若年性特発性関節炎	1
33 顕微鏡的多発血管炎	17	88	TNF受容体関連周期性症候群	1
34 多発血管炎性肉芽腫症	17	89	先天性ミオパチー	2
35 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	17	90	筋ジストロフィー	7
36 悪性関節リウマチ	10	91	アトピー性脊髄炎	5
37 バージャー病	11	92	脊髄空洞症	3
38 全身性エリテマトーデス	538	93	脊髄髄膜瘤	1
39 皮膚筋炎／多発性筋炎	145	94	アイザックス症候群	2
40 全身性強皮症	178	95	前頭側頭葉変性症	6
41 混合性結合組織病	91	96	ビッカースタッフ脳幹脳炎	1
42 シェーグレン症候群	50	97	アイカルディ症候群	2
43 成人スチル病	23	98	限局性皮質異形成	2
44 再発性多発軟骨炎	6	99	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	1
45 ベーチェット病	195	100	ラスマッセン脳炎	1
46 特発性拡張型心筋症	151	101	結節性硬化症	1
47 肥大型心筋症	33	102	色素性乾皮症	1
48 拘束型心筋症	2	103	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	3
49 再生不良性貧血	37	104	眼皮膚白皮症	5
50 自己免疫性溶血性貧血	5	105	肥厚性皮膚骨膜炎	6
51 発作性夜間ヘモグロビン尿症	3	106	弾性線維性仮性黄色腫	5
52 特発性血小板減少性紫斑病	45	107	マルファン症候群	5
53 原発性免疫不全症候群	53	108	ウィルソン病	9
54 IgA 腎症	38	109	ウィリアムズ症候群	13
55 多発性嚢胞腎	50	110	無脾症候群	2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
111	鰓耳腎症候群	2	161		
112	ウェルナー症候群	2	162		
113	ヌーナン症候群	2	163		
114	総動脈幹遺残症	2	164		
115	修正大血管転位症	8	165		
116	完全大血管転位症	11	166		
117	単心室症	18	167		
118	左心低形成症候群	3	168		
119	三尖弁閉鎖症	11	169		
120	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	13	170		
121	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	5	171		
122	ファロー四徴症	30	172		
123	両大血管右室起始症	9	173		
124	エプスタイン病	3	174		
125	アルポート症候群	5	175		
126	抗糸球体基底膜腎炎	1	176		
127	一次性ネフローゼ症候群	27	177		
128	紫斑病性腎炎	2	178		
129	オスラー病	22	179		
130	副甲状腺機能低下症	3	180		
131	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	4	181		
132	プロピオン酸血症	1	182		
133	尿素サイクル異常症	2	183		
134	ポルフィリン症	1	184		
135	肝型糖原病	1	185		
136	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	1	186		
137	脂肪萎縮症	2	187		
138	家族性地中海熱	9	188		
139	慢性再発性多発性骨髄炎	2	189		
140	強直性脊椎炎	26	190		
141	肋骨異常を伴う先天性側弯症	1	191		
142	骨形成不全症	2	192		
143	リンパ管腫症/ゴーハム病	1	193		
144	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	2	194		
145	先天性赤血球形成異常性貧血	2	195		
146	後天性赤芽球癆	3	196		
147	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	2	197		
148	非特異性多発性小腸潰瘍症	5	198		
149	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸	1	199		
150	総排泄腔遺残	5	200		
151	先天性横隔膜ヘルニア	1	201		
152	胆道閉鎖症	7	202		
153	IgG4関連疾患	15	203		
154	黄斑ジストロフィー	3	204		
155	若年発症型両側性感音難聴	3	205		
156	好酸球性副鼻腔炎	47	206		
157	先天性僧帽弁狭窄症	1	207		
158	シトリン欠損症	1	208		
159	大理石骨病	1	209		
160	特発性多中心性キャツスルマン病	13	210		

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・抗菌薬適正使用支援加算
・歯科外来診療環境体制加算	・患者サポート体制充実加算
・歯科診療特別対応連携加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1)	・ハイリスク妊娠管理加算
・特定機能病院入院基本料(精神科病棟13対1)	・ハイリスク分娩管理加算
・救急医療管理加算	・後発医薬品使用体制加算 3
・超急性期脳卒中加算	・病棟薬剤業務実施加算 1
・診療録管理体制加算 1	・病棟薬剤業務実施加算 2
・医師事務作業補助体制加算 1 (20対1)	・データ提出加算 2のイ
・急性期看護補助体制加算 25対1(看護補助者5割以上)	・入退院支援加算 1
・夜間100対1 急性期看護補助体制加算	・入退院支援加算 3
・看護職員夜間配置加算12対1 1	・入院時支援加算
・夜間看護体制加算	・地域連携診療計画加算(入退院支援加算の加算)
・看護補助加算 2(精神科病棟のみ)	・総合機能評価加算
・療養環境加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・重症者等療養環境特別加算	・精神疾患診療体制加算
・無菌治療室管理加算 2	・精神科急性期医師配置加算 2のイ
・緩和ケア診療加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・精神科身体合併症管理加算	・救命救急入院料 1(CCU病棟)
・精神科リエゾンチーム加算	・救命救急入院料 3(ハイケア病棟)
・摂食障害入院医療管理加算	・救命救急入院料 4(救命ICU)
・栄養サポートチーム加算	・救急体制充実加算 1
・栄養サポートチーム加算の歯科医師連携加算	・特定集中治療室管理料 1
・医療安全対策加算 1	・総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児集中治療室管理料)
・感染防止対策加算 1	・総合周産期特定集中治療室管理料(新生児集中治療室管理料)
・感染防止対策地域連携加算	・新生児治療回復室入院医療管理料

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

[illegible]

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・外来栄養食事指導料の注2	・地域連携診療計画加算(診療情報提供料Ⅰの加算)
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・医療機器安全管理料 1
・心臓ペースメーカー指導管理料(遠隔モニタリング加算)	・医療機器安全管理料 2
・慢性維持透析患者外来医学管理料の腎代替療法実績加算	・精神科退院時共同指導料 1・2
・糖尿病合併症管理料	・歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・歯科疾患在宅療養管理料の注4に規定する在宅総合医療管理加算及び在宅患者歯科治療時医療管理料
・がん患者指導管理料 イ	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・がん患者指導管理料 ロ	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・がん患者指導管理料 ハ	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・がん患者指導管理料 ニ	・持続血糖測定器加算
・外来緩和ケア管理料	・遺伝学的検査
・移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	・骨髓微小残存病変量測定
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	・BRCA1/2遺伝子検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・がんゲノムプロファイリング検査
・小児運動器疾患指導管理料	・角膜ジストロフィー遺伝子検査
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・先天性代謝異常症検査
・婦人科特定疾患治療管理料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・腎代替療法指導管理料	・HPV核酸同定検査及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・外来放射線照射診療料	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
・ニコチン依存症管理料	・検体検査管理加算(Ⅳ)
・療養・就労両立支援指導料 相談支援加算	・国際標準検査管理加算
・がん治療連携計画策定料	・遺伝カウンセリング加算
・肝炎インターフェロン治療計画料	・遺伝子腫瘍カウンセリング加算
・ハイリスク妊産婦連携指導料 1	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・ハイリスク妊産婦連携指導料 2	・長期継続頭蓋内脳波検査
・薬剤管理指導料	・時間内歩行試験及びシヤトルウォーキングテスト

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・胎児心エコー法	・心臓MRI撮影加算
・ヘッドアップティルト試験	・乳房MRI撮影加算
・人工臓器検査、人工臓器療法	・小児鎮静下MRI撮影加算
・皮下連続式グルコース測定	・頭部MRI撮影加算
・長期脳波ビデオ同時記録検査 1	・全身MRI撮影加算
・脳磁図、脳磁図(自発活動を測定するもの)	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・終夜睡眠ポリグラフィー(安全精度管理下で行うもの)	・外来化学療法加算 1
・脳波検査判断料 1	・連携充実加算
・中枢神経磁気刺激による誘発筋電図	・無菌製剤処理料
・神経学的検査	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・補聴器適合検査	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・黄斑局所網膜電図及び全視野精密網膜電図	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・ロービジョン検査判断料	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・内服・点滴誘発試験	・がん患者リハビリテーション料
・有床義歯咀嚼機能検査、咀嚼能力検査及び咬合圧検査	・各リハビリテーション料の初期加算
・精密触覚機能検査	・歯科口腔リハビリテーション料 2
・画像診断管理加算 3	・療養生活環境整備指導加算
・歯科画像診断管理加算 1・2	・救急患者精神科継続支援料
・遠隔画像診断	・認知療法・認知行動療法 1
・ポジトロン断層撮影	・精神科作業療法
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・精神科ショート・ケア「小規模なもの」
・ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影	・精神科デイ・ケア「小規模なもの」
・CT撮影及びMRI撮影	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・冠動脈CT撮影加算	・医療保護入院等診療料
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・硬膜外自家血注入
・外傷全身CT加算	・人工臓器・慢性維持透析を行った場合 1

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・導入期加算 2	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・透析液水質確保及び慢性維持透析濾過加算	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・手術用顕微鏡加算	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・口腔粘膜処置	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・う蝕歯無痛の窩洞形成加算及び手術時歯根面レーザー応用加算	
・CAD/CAM 冠	・顎関節人工関節全置換術(歯科診療に係るものに限る。)
・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2	・乳腺悪性腫瘍手術(センチネルリンパ節加算1(併用法))
・皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・乳腺悪性腫瘍手術(センチネルリンパ節加算2(単独法))
・組織拡張器による再建術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術及び胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・処理骨再建加算	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・後縦靱帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・椎間板内酵素注入療法	・内視鏡下筋層切開術
・腫瘍脊椎骨全摘術	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び陰腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・頭蓋内腫瘍摘出術(脳腫瘍覚醒下マッピング加算)	
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	
・角膜移植(内皮移植加算)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・羊膜移植術	・胸腔鏡下弁形成術・弁置換術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・胸腔鏡下弁形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・経カテーテル大動脈弁置換術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・経皮的僧帽弁クリップ術
・網膜再建術	・不整脈手術(左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)に限る。)
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器植込及び植込型骨導補聴器交換術	・経皮的中隔心筋焼灼術
・人工中耳植込術	・ペースメーカー移植術・交換術(リードレスペースメーカーを含む。)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・生体部分肝移植術
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)	・同種死体肝移植術
・植込型除細動器移植術(経静脈リード又は皮下植込み型リードを用いる場合)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	・腹腔鏡下腓膵瘍摘出術
・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術(心筋リードを用いる場合)	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下腓頭部腫瘍切除術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)	・腹腔鏡下腓頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・生体部分小腸移植術
・補助人工心臓	・同種死体小腸移植術
・小児補助人工心臓	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・植込型補助人工心臓(非拍動流型)	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・同種心移植術	・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・経皮的下肢動脈形成術	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・骨格筋由来細胞シート心表面移植術	・同種死体腎移植術
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	・生体腎移植術
・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・膀胱水圧拡張術
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	・人工尿道括約筋植込・置換術
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下肝切除術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・胎児輸血術	・画像誘導密封小線源治療加算
・胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・病理診断管理加算2
・乳房切除術(遺伝子乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・子宮附属器腫瘍摘出術(遺伝子乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)	・口腔病理診断管理加算2
・輸血管理料 I	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・コーディネート体制充実加算	・歯科矯正診断料
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	
・歯周組織再生誘導手術	・入院時食事療養(I)
・手術時歯根面レーザー応用加算	・人工中耳用材料
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
・歯根端切除手術の注3	
・レーザー機器加算	
・麻酔管理料(I)	
・麻酔管理料(II)	
・歯科麻酔管理料	
・放射線治療専任加算	
・外来放射線治療加算	
・高エネルギー放射線治療	
・1回線量増加加算	
・1回線量増加加算(前立腺照射の場合)	
・強度変調放射線治療(IMRT)	
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	
・体外照射呼吸性移動対策加算	
・定位放射線治療	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・マルチプレックス遺伝子パネル検査	・
・腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	33回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 12 例 / 剖検率 4.8 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
1	全てのヒト骨髄性腫瘍が依存する、新規がん幹細胞維持機構の解明	赤司 浩一	第一内科	2,899 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究S)
2	造血器腫瘍における遺伝子パネル検査の提供体制構築およびガイドライン作成	赤司 浩一	第一内科	1,560 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
3	全てのヒト骨髄系腫瘍に共通するがん幹細胞の不均一性獲得・維持メカニズム解明と治療標的分子探索	赤司 浩一	第一内科	1,960 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
4	染色体異常を起因としたヒト大腸がんの新規疾患モデルの確立	磯部 大地	第一内科	182 万円	補 科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
5	胃印環細胞癌発癌モデルの構築及び新規治療ターゲットの同定	有山 寛	第一内科	52 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
6	成人T細胞白血病に対する移植後シクロホスファミドを用いた非血縁者間末梢血幹細胞移植法の確立と移植後再発への対策に関する研究	加藤 光次	第一内科	39 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
7	ゲノム編集による遺伝子治療の有効性の評価、治験開始に向けた準備、試験製品の製造工程、非臨床試験の準備	加藤 光次	第一内科	390 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
8	眼内悪性リンパ腫に対するブルトンキナーゼ阻害剤を用いた中枢再発予防法による医師主導多施設共同治験	加藤 光次	第一内科	81 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
9	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の難治性病型に対する治療研究:フォローアップ	加藤 光次	第一内科	39 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
10	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫のゲノム変異が微小環境に及ぼす影響と新規治療開発	加藤 光次	第一内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
11	概日リズム因子を標的とした難治性急性骨髄性白血病の治療開発	沼田 晃彦	第一内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
12	CD35陽性白血病幹細胞の機能解析と治療標的候補分子の抽出	森 康雄	第一内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
13	t(8;21)白血病異的抗原IL-5Raを介した白血病発症機構の解明と治療応用	島 隆宏	第一内科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
14	CRISPRスクリーニングを用いたATRA併用AML新規分化誘導療法の開発	山内 拓司	第一内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
15	消化器腫瘍三次リンパ組織様構造TLSの構成細胞に基づく予後予測と耐性機序の探索	馬場 英司	第一内科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
16	突発性心停止におけるサルコペニアの関与および作用点の解明	深田 光敬	第一内科	13 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
17	真菌感染症におけるヒトC型レクチン受容体の役割の解明	米川 晶子	第一内科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
18	IL-33受容体発現好塩基球の関節リウマチ病態形成における役割の解明	有信 洋二郎	第一内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
19	ベーチェット病におけるインフラマソーム活性化機構の解析	三苦 弘喜	第一内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
20	重症全身性硬化症に対する骨髄破壊的大量シクロホスファミド療法	三苦 弘喜	第一内科	3,196 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
21	CD226を標的とした全身性エリテマトーデスに対する新規治療法の開発	綾野 雅宏	第一内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
22	脳梗塞巣におけるペリサイトを介した創傷治癒と内因性機能回復機構の解明	北園 孝成	第二内科	507 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
23	脳卒中患者における障害および質調整生存時間と急性期医療が及ぼす影響に関する研究	鴨打 正浩	第二内科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
24	脳虚血病態におけるペリサイトの細胞死にフェロトーシスは関与するか?	吾郷 哲朗	第二内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
25	慢性脳低灌流による脳白質障害・認知障害への活性酸素種産生酵素Nox4の役割の解明	脇坂 義信	第二内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
26	虚血性脳卒中に対する超急性期血栓回収療法の費用対効果分析	松尾 龍	第二内科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
27	細胞外マトリックスperlecanによる脳血管障害の新規修復治療法の開発	中村 晋之	第二内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
28	精緻な疾患レジストリーと遺伝・環境要因の包括的解析による糖尿病性腎臓病、慢性腎臓病の予後層別化と最適化医療の確立	中野 敏昭 (分担)	第二内科	350 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
29	糖尿病性腎症、慢性腎臓病の重症化抑制に資する持続的・自立的エビデンス創出システムの構築と健康寿命延伸・医療最適化への貢献	中野 敏昭 (分担)	第二内科	130 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
30	アルギニン代謝とオートファジー～腎臓のミトコンドリア保護機構の解明	鳥巢 久美子	第二内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
31	要介護高齢者の腸内細菌叢とフレイル進展の関連を解明する前向きコホート研究	田中 茂	第二内科	26 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
32	腎移植におけるT細胞関連拒絶反応の病理学的進行とAutophagyの関連性	土本 晃裕	第二内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
33	骨格筋・血管相関の概念の応用による血管石灰化治療とその分子機構の究明	山田 俊輔	第二内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
34	細胞間相互作用に着目したNASHの発症・進展機構の解明と医学応用	小川 佳宏	第三内科	1,326 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
35	NASHの発症・進展における炎症細胞社会の時空間的变化の解明	小川 佳宏	第三内科	377 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
36	内分泌腫瘍の機能性・非機能性とは何か?	小川 佳宏	第三内科	325 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
37	難治性副腎疾患の診療に直結するエビデンス創出	小川 佳宏	第三内科	13 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
38	副腎皮質腫瘍における機能的不均一性の分子機構の解明と新しい臨床診断法の確立	小川 佳宏	第三内科	200 万円	補 三菱財団自然科学研究助成(一般助成)
39	性差、脂肪分布に着目した特発性アルドステロン症の病態解明	坂本 竜一	第三内科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
40	代謝特性に着目したアルドステロン産生腺腫の病態解明と新規診断法の確立	馬越 洋宜	第三内科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
41	副腎由来代謝産物に着目した新規骨粗鬆症診断バイオマーカーの確立	馬越 真希	第三内科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
42	膵がんによる肝臓の代謝変化を介した転移土壌形成の解明	竹野 歩	第三内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
43	β 細胞におけるプリン受容体シグナルが細胞内代謝・インスリン分泌に与える影響の解析	内田 啓一郎	第三内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
44	DNAメチル化に着目した母体高血糖によるエピゲノム記憶の解析と先制医療への応用	佐藤 直市	第三内科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
45	GLP-1の臓器保護効果の機序及び膵外受容体の生理学的役割の解明	井上 智彰	第三内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
46	胎児期から乳児期の脂質代謝遺伝子発現に関与するDNA脱メチル化機構の解明	森永 秀孝	第三内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
47	非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)の病態進展におけるGPR84の意義の検討	宮澤 崇	第三内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
48	成人T細胞白血病/リンパ腫の治療を目指したHTLV-1ウイルス標的樹状細胞ワクチン療法の確立	白土 基明	第三内科	226 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
49	マクロファージのPerforin-2による殺菌機構の解明	白土 基明	第三内科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
50	多角的な視点による各サブタイプに基づいた食道アカラシアの病態解明	伊原 栄吉	第三内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
51	遺伝子改変制御性T細胞を用いた炎症性疾患治療の実現を目指した基礎的検討	知念 孝敏	第三内科	2,540 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(国際共同研究加速基金(帰国発展研究))

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
52	直腸環境の特殊性からみる潰瘍性大腸炎の再燃機序	荻野 治栄	第三内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
53	光遺伝学と逆行性トレーサーを用いた排便中枢の同定および役割の解明	田中 義将	第三内科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
54	肺癌転移に関する指向性と予後の検討	大野 隆真	第三内科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
55	肺癌診療におけるliquid biopsyの確立と超早期診断への応用	藤森 尚	第三内科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
56	腸内細菌-腸腸相関から見た神経性やせ症の病態解明と新しい栄養療法の開発	須藤 信行	心療内科	676 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
57	消化管ペプチドから見た情動・社会行動の発露、こころのゆらぎと変容の神経内分泌機構	須藤 信行	心療内科	779 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))
58	腸内細菌叢による発達障害(神経発達症)の行動特性への影響の解明	須藤 信行	心療内科	5 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
59	ME/CFS 患者の心身医学的分析	吉原 一文	心療内科	325 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
60	摂食障害に対する認知行動療法の有効性の神経科学的エビデンスの創出	吉原 一文	心療内科	260 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
61	成人の愛着スタイルが心身のストレス反応に与える影響およびその脳内機序	吉原 一文	心療内科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
62	潰瘍性大腸炎における腸管内カテコラミンの病態関与の解明	朝野 泰成	心療内科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
63	自律訓練法の睡眠時自律神経機能への効果研究:24時間ホルター心電図を用いて	富岡 光直	心療内科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
64	神経性やせ症に対するシンバイオティクス投与の有効性評価:ランダム化比較試験	波多 伴和	心療内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
65	慢性疼痛難治例の症例対照研究:中枢性感作に関する愛着・認知・情動とバイオマーカー	細井 昌子	心療内科	468 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
66	慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究	細井 昌子	心療内科	1,380 万円	補 厚生労働行政推進調査事業費補助金
67	幼少期の体験に注目したより有効な慢性疼痛に対する認知行動療法の開発	安野 広三	心療内科	54 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
68	運動ニューロン病の末梢神経からのCCR2陽性細胞によるミスフォールド蛋白除去療法	山崎 亮	脳神経内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
69	アリの片親起源効果を考慮した多発性硬化症リスク遺伝子の新規同定と寄与機構の解明	磯部 紀子	脳神経内科	273 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
70	視神経脊髄炎の横断性脊髄炎遺伝リスクBKチャネルの作用機構解明と神経保護療法開発	松下 拓也	脳神経内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
71	異常蛋白の発現調整が可能な多系統萎縮症動物モデルの開発と抗ミクログリア点鼻薬治療	松瀬 大	脳神経内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
72	活性化グリア細胞制御による進行性多発性硬化症および多系統萎縮症の画期的治療法開発	眞崎 勝久	脳神経内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
73	新規同定環境リスク因子に基づいたウルチ米アミロースによる多発性硬化症の画期的治療	渡邊 充	脳神経内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
74	ノドパチー型CIDPの中樞神経・腎臓病変の解析に基づく神経障害機構の解明と治療	緒方 英紀	脳神経内科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
75	抗plexinD1抗体の免疫性神経障害性疼痛マーカー確立とモデルによる病態解明	藤井 敬之	脳神経内科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
76	電気シナプスを介する運動神経興奮性制御機構の解明と同シナプス回復によるALS治療	小早川 優子	脳神経内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
77	髄鞘形成期の変異αシヌクレイン発現による世界初の一次進行型多発性硬化症モデル開発	山口 浩雄	脳神経内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
78	異常蛋白凝集に先行する脳機能的結合異常の検証によるアルツハイマー病発症機序の解明	山下 謙一郎	脳神経内科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
79	抗NF155抗体陽性CIDPの免疫療法抵抗性振戦の責任病巣のモデルでの再現と治療	稲水 佐江子	脳神経内科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
80	筋萎縮性側索硬化症の脊髄に存在するグリア炎症とガレクチン3、p22の意義と治療	林 信太郎	脳神経内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
81	日本人多発性硬化症での疾患修飾薬による進行性多巣性白質脳症多発機序の解明と防止	河野 祐治	脳神経内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
82	定位的深部脳波記録を応用した直接的なヒトでのてんかん原性機序の解明	鎌田 崇嗣	脳神経内科	910 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
83	Facial onset sensory and motor neuropathy (FOSMN) に関する全国臨床調査疫学調査とそれに基づいた診断診療指針の策定と患者レジストリの構築	山崎 亮	脳神経内科	141 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
84	スモンに関する調査研究	山崎 亮	脳神経内科	70 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
85	HAMならびに類縁疾患の患者レジストリを介した診療連携モデルの構築によるガイドラインの活用促進と医療水準の均てん化に関する研究	松下 拓也	脳神経内科	35 万円	補 厚生労働科学研究費補助金

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
86	プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	松下 拓也	脳神経内科	130 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
87	二次進行型多発性硬化症新規動物モデルの樹立と炎症性グリアを標的とした進行型多発性硬化症治療薬開発	山崎 亮	脳神経内科	987 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
88	抗Neurofascin155抗体陽性慢性炎症性脱髄性多発神経炎の診断基準・治療ガイドライン作成のためのエビデンスの創出	山崎 亮	脳神経内科	702 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
89	IgG4自己抗体陽性の慢性炎症性脱髄性多発神経炎(CIDP)患者を対象としたリツキシマブの有効性と安全性評価に関する多施設共同臨床試験	山崎 亮	脳神経内科	200 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
90	多系統萎縮症の革新的治療法の開発研究	山崎 亮	脳神経内科	75 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
91	IgG4自己抗体陽性CIDP診断のための抗neurofascin155抗体、抗contactin-1抗体測定キットの開発	緒方 英紀	脳神経内科	390 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
92	神経変性疾患の病期に着目した治療法開発および承認後適正使用を推進する新規評価法の確立	小早川 優子	脳神経内科	198 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
93	心筋リモデリングにおけるスルフィレドキシンによるミトコンドリアレドックス制御機構	筒井 裕之	循環器内科	546 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
94	心筋障害における細胞質ミトコンドリアDNAの制御機構の解明と治療応用	筒井 裕之	循環器内科	312 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
95	特発性心筋症に関する調査研究	筒井 裕之	循環器内科	2,160 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
96	ナチュラルキラーT細胞活性化による慢性炎症制御に基づく新たな心筋症治療の実用化	筒井 裕之	循環器内科	11,700 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
97	拡張相肥大型心筋症を対象とした多施設登録研究	筒井 裕之	循環器内科	1,560 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
98	フェロトーシスを基軸とした心筋障害メカニズムの解明と治療法の開発	井手 友美	循環器内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
99	生体内で細胞同調機能を再現しうるナノ粒子システムの開発	的場 哲哉	循環器内科	1,069 万円	委 CREST JST
100	ミトコンドリア分解を起点とした肺高血圧症の病態解明と新規治療法の開発	阿部 弘太郎	循環器内科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
101	慢性血栓塞栓性肺高血圧症の抗凝固療法に関するレジストリ構築研究	阿部 弘太郎	循環器内科	1,407 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
102	レジストリを活用した慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対するエドキサパンの適応拡大のための第Ⅲ相医師主導治験	阿部 弘太郎	循環器内科	7,798 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

.1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
103	脳由来神経栄養因子によるミトコンドリア機能制御機構の解明	絹川 真太郎	循環器内科	273 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
104	PDE1を標的とした右心不全の新規治療開発	橋本 亨	循環器内科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
105	心筋虚血再灌流傷害・梗塞後リモデリングにおけるミトコンドリア制御分子の役割解明	古賀 純一郎	循環器内科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
106	心筋梗塞後左室リモデリング における修復性単球による心臓組織修復機序の解明	香月 俊輔	循環器内科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
107	Fontan術後の突然死高リスク患者における電気生理学的特性の解明	坂本 和生	循環器内科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
108	癌に伴う心機能および摂食代謝障害におけるミクログリアを介した脳内炎症の役割の解明	篠原 啓介	循環器内科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
109	未診断の慢性血栓塞栓性肺高血圧症患者を救う高精度画像診断プログラム開発研究	細川 和也	循環器内科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
110	交感神経過緊張による急性心不全増悪機序の解明と交感神経減負荷を介した治療への応用	坂本 隆史	循環器内科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
111	心不全発症機転としての低酸素応答を介したミトコンドリア機能不全の分子機序解明	池田 昌隆	循環器内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
112	コピー数多型解析によるトラスツズマブ誘発心毒性の発症予測	大谷 規彰	循環器内科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
113	駆出率の保持された心不全の交感神経賦活化を介した増悪機序の解明と新規治療法の開発	坂本 隆史	循環器内科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
114	心筋病理解析を用いたFallot四徴候症修復術後の突然死の新たな予測法の確立	石北 綾子	循環器内科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
115	心不全におけるERADによるミトコンドリア機能制御機構の解明と新規治療法の開発	池田 宗一郎	循環器内科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(研究活動スタート支援)
116	最適な心血管イベントリスク評価に向けた血圧変動の新規評価手法開発	萬納寺 洋士	循環器内科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
117	次世代シーケンサーによる網羅的がん関連遺伝子パネル解析を用いたHER2遺伝子変異陽性の進行非小細胞肺癌に対する治療開発を目指した研究	岡本 勇	呼吸器科	7,020 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
118	特発性肺線維症合併進行非小細胞肺癌に対する標準治療開発に関する研究	岡本 勇	呼吸器科	936 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
119	気道ウィルス感染におけるPD-L2の意義解明とそれに基づく新規治療法の探索	松元 幸一郎	呼吸器科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
120	免疫チェックポイント分子に着目した薬剤性肺傷害発症機序の解析	濱田 直樹	呼吸器科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
121	子宮体癌がん幹細胞関連蛋白SPARCの機能解析とそれを標的とした新規薬剤の開発	加藤 聖子	産科婦人科	429 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
122	子宮がんでのセンチネルリンパ節同定における新規トレーサーの開発	矢幡 秀昭	産科婦人科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
123	卵巣漿液性癌におけるDNA脱メチル化産物5hmCと転移に関する研究	小野山 一郎	産科婦人科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
124	癌転移形質に寄与する核内非翻訳RNAの探索と抗体分子架橋による次世代核酸薬の創出	崔 林	産科婦人科	338 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
125	妊娠高血圧症候群における絨毛細胞の機能とNotchシグナルの関連性	蜂須賀 正紘	総合周産期母子医療センター(母性胎児)	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
126	iPS細胞より作成した人工胎盤の生体内機能解析	佐藤 麻衣	総合周産期母子医療センター(母性胎児)	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
127	新生児から成人までに発症する特発性血栓症の診療アルゴリズムの確立	大賀 正一	小児科	1444.3 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
128	皮質オルガノイドを用いたてんかん性脳症の収束的メカニズムおよび治療研究	酒井 康成	小児科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
129	小児ホジキンリンパ腫の病態解明による治癒率のさらなる向上への試み	古賀 友紀	小児科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
130	小児後天性脱髄性疾患に対するオーダーメイド治療の遺伝学的基盤の確立	石崎 義人	小児科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
131	MRI高分解能T1マップとデュアルエナジーCTによる右室線維化定量評価法の確立	山村 健一郎	小児科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
132	妊娠によるFontan循環と胎児循環の変化メカニズムの解明	永田 弾	小児科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
133	新生児遺伝性プロテインC欠乏症のスクリーニング法の開発と血栓性疾患への応用	市山 正子	小児科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
134	血管病変に着目した早産児気管支肺異形成症の病態解明	井上 普介	小児科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
135	定量的評価を用いた、早産児の縦断的な脳成熟パターンの同定	園田 有里	小児科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
136	劇症型溶連菌感染症におけるMincleを介した免疫応答に対する制御機構の解明	村田 憲治	小児科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
137	Fontan循環におけるfenestration閉鎖後の血行動態予測モデルの確立	村岡 衛	小児科	39 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
138	Fontan術後患者における下垂体研究	長友 雄作	小児科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
139	十二指腸液を用いた膵がん早期診断マーカーの実用化に向けた臨床研究	中村 雅史	第一外科	1,350 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
140	膵癌PDXライブラリーを用いたシングルセル解析による腫瘍内治療抵抗不均一性の解明	中村 雅史	第一外科	546 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
141	膵癌オルガノイドを用いたpartialEMTによるクラスター浸潤機序の解明と制御	中村 雅史	第一外科	325 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
142	個別化精密がん免疫療法開発を目的とした腫瘍組織からのネオアンチゲン解析	久保 真	第一外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
143	Drop-seqによる不均一性を伴う患者由来消化器癌微小環境の単一細胞解析	大内田 研宙	第一外科	325 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
144	単一細胞解析とオルガノイドを用いた微小環境依存性に基づく膵癌subtype分類	三好 圭	第一外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
145	膵星細胞活性化におけるオートファジーを標的としたHIT化合物の同定とその評価	仲田 興平	第一外科	572 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
146	NGS解析による膵癌微小環境とゲノム不均一性の解明とその治療への応用	進藤 幸治	第一外科	572 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
147	大腸癌オルガノイドを用いた転移形成ニッチ因子の同定とニッチ因子標的治療の開発	佐田 政史	第一外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
148	大腸癌転移巣のPDXモデルライブラリーを用いた腫瘍不均一性と治療抵抗性機序の解明	永吉 絹子	第一外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
149	ゲノム情報に基づく肝移植後B型肝炎再発制御を目指した革新的治療戦略の構築	吉住 朋晴	第二外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
150	ゲノム解析に基づいた最適な大腸癌周術期化学療法選択システムの開発	沖 英次	第二外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
151	老化制御遺伝子BubR1による高血圧に対する革新的治療法の開発	松本 拓也	第二外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
152	ヒト腹部大動脈瘤形成に腸内細菌が果たす役割の探求	古山 正	第二外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
153	酸化修復機能からみた食道癌発癌機序の解明と癌浸潤予防の新規治療の開発	木村 和恵	第二外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
154	癌関連線維芽細胞分泌エクソソームを用いた肝臓の革新的治療法の確立	原田 昇	第二外科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
155	免疫抑制性酵素IDOに着目した悪性胸膜中皮腫に対する新規免疫療法の開発	田川 哲三	第二外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
156	消化器癌における効果的なイリノテカン療法を目指したバイオマーカーおよび新薬の開発	安藤 幸滋	第二外科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
157	肝臓における新規細胞死フェルトーシス機序解明と革新的治療法への開発	伊藤 心二	第二外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
158	膝癌循環腫瘍細胞のシングルセル解析による肝転移形成機序の解明	井口 友宏	第二外科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
159	乳癌におけるDNA損傷応答機構を標的とした新規治療法の開発	茂地 智子	第二外科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
160	ポリオウイルスレセプターを標的とした非小細胞肺癌に対する新規複合免疫療法の開発	高田 和樹	第二外科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
161	in silico解析で同定した胃癌新規癌遺伝子の生物学的意義と臨床的意義	胡 慶江	第二外科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
162	乳癌を可視化するプローブ(gGlu-HMRG)を用いた術中迅速診断法の開発	上尾 裕紀	第二外科	39 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
163	nickase-Cas9を用いた新たなB型肝炎ウイルスDNA排除戦略	栗原 健	第二外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
164	筋肉内脂肪率に着目した骨格筋減少症の予防・治療法の確立	吉屋 圭史	第二外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
165	サルコペニアとApelin-APJ系の関係に注目した新規肝臓がん治療戦略の確立	本村 貴志	第二外科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
166	オルガノイド培養システムを用いた癌幹細胞の特性とオートファジー活性との関係性	笠木 勇太	第二外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
167	セリンプロテアーゼ阻害剤による下肢虚血再灌流障害に伴う腎障害抑制効果の検証	川久保 英介	第二外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
168	老化マウスモデルを用いた下肢虚血状態における血管内皮機能の働きの検討	川久保 英介	第二外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
169	大腸癌におけるPTENの発現とtopoII阻害剤耐性機序の解明	財津 瑛子	第二外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
170	食道扁平上皮癌における慢性炎症シグナルを標的とした新規治療法の開発	川副 徹郎	第二外科	100 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(特別研究員奨励費)

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
171	肉腫における新規薬剤の耐性獲得機序の解明とその予防法の探索	遠藤 誠	整形外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
172	進行軟部肉腫に対する二次治療における標準治療の開発のための研究	遠藤 誠	整形外科	195 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
173	希少がんの治療成績向上のための診療実態の把握と基盤整備に関する研究	遠藤 誠	整形外科	130 万円	委 国立がん研究センター研究開発費
174	思春期特発性側弯症に伴う腰痛の特異的な発症メカニズムの解明	幸 博和	整形外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
175	ペルテス病の関節予後に発症時年齢が強く関与する機序の検討	山口 亮介	整形外科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
176	破骨細胞のRNA結合タンパクMusashi2を標的とする骨粗鬆症治療の解明	藤原 稔史	整形外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
177	骨頭圧潰の予防法開発を念頭にいた骨壊死修復過程の病態解析	本村 悟朗	整形外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
178	肉腫における炎症性サイトカインのマクロファージを介した役割の解明	飯田 圭一郎	整形外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
179	高精度動態解析手法を用いた生体肩関節および人工肩関節の三次元動態解析	小菌 直哉	整形外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
180	変形性関節症に対する新規関節内投与治療薬の開発	赤崎 幸穂	整形外科	430 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
181	変形性関節症の早期病態に即した治療標的分子の探索	赤崎 幸穂	整形外科	481 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究A)
182	局所の循環障害に着目した特発性大腿骨頭壊死症の病態解析	池村 聡	整形外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
183	高精度股関節動態・力学解析と股関節疾患治療への応用	中島 康晴	整形外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
184	自家骨採取は不要:炭酸アパタイト人工骨による骨再生	中島 康晴	整形外科	4,003 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
185	脊髄電気刺激併用運動療法が損傷脊髄の機能回復を促進する分子生物学的メカニズム	小早川 和	整形外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
186	変形性関節症とうつの合併メカニズムを探索する	津嶋 秀俊	整形外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
187	カネミ油症に関する研究	津嶋 秀俊	整形外科	77 万円	補 厚生労働行政推進調査事業

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
188	liquid biopsyによる、神経膠腫の非侵襲的診断/病態把握システムの開発	秦 暢宏	脳神経外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
189	新規バイオマーカーに基づく頭蓋内胚細胞腫瘍の革新的診断/治療システムの開発	空閑 太亮	脳神経外科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
190	脳梗塞におけるPDGFナノ粒子を用いた新規治療の開発	有村 公一	脳神経外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
191	流れずり応力に伴うNox応答を標的とした頸動脈狭窄症に対する新規治療法の開発	西村 中	脳神経外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
192	脳梗塞に対するiPS細胞を用いた再生医療とリハビリテーション介入効果	下川 能史	脳神経外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
193	網羅的エピジェネティクス解析によるグリオーマの悪性化機構の解明	三月田 祐平	脳神経外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
194	免疫代謝と腸内細菌のクロストークに関連するPD-1抗体がん免疫治療制御因子の解析	波多江 龍亮	脳神経外科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
195	植込型補助人工心臓装着予定患者を対象とした出血性合併症リスクの事前予測に基づいた個別化精密医療・最適化補助人工心臓治療の実現	塩瀬 明(分担)	心臓血管外科	21 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
196	大動脈弁ダイナミクスに着眼した僧帽弁輪縫縮用リングが組織可動性に与える影響の解析	塩瀬 明	心臓血管外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
197	GSK-3およびオートファジー活性に着眼した新規心臓リモデリング抑制薬の開発	帯刀 英樹	心臓血管外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
198	力学的解析によるTAVI術中の脳塞栓発症予測モデルの開発	園田 拓道	心臓血管外科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
199	大規模ゲノム解析によるセラチアマルセスセンスの病原性および薬剤耐性獲得機構の解析	小野 友行	心臓血管外科	26 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
200	GLP-1受容体作動薬による大動脈手術時の脊髄保護効果の検討	山下 慶之	心臓血管外科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
201	細胞骨格関連蛋白質Fhod3から見た補助人工心臓治療後の左室リモデリング効果	牛島 智基	心臓血管外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
202	3Dプリンタを用いた肺動脈形態の解析と肺動脈形成法の検討	藤田 智	心臓血管外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
203	ヒト不全心筋におけるcMyBP-CとFhod3の関連およびCa感受性の検討	松山 翔	心臓血管外科	273 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
204	拍動型左室補助人工心臓における溶血合併症を例にした溶血機序の解明と原因の探索	原田 雄章	心臓血管外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
205	DCDドナー心の許容虚血時間の検討	平山 和人	心臓血管外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
206	臨床応用へ向けたヒト乳歯歯髄幹細胞を用いた肝再生医療の基盤整備	林田 真	小児外科、生育外科、小腸移植外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
207	自家細胞移植のための腸管神経節細胞僅少症患者由来乳歯幹細胞の遺伝学的機能的解析	吉丸 耕一郎	小児外科、生育外科、小腸移植外科	52 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
208	ヒルシュスプルング病類縁疾患の新規治療法を目指した遺伝子変異の同定とその機能解析	河野 淳	小児外科、生育外科、小腸移植外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
209	腸管神経節細胞僅少症への幹細胞移植における大建中湯を用いた治療戦略の開発	入江 敬子	小児外科、生育外科、小腸移植外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
210	小児固形悪性腫瘍に対する超音波硬度計測における組織硬度と病理学的分子生物学的解析	宗崎 良太	小児外科、生育外科、小腸移植外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
211	小児悪性固形腫瘍に対するNK細胞を用いた国産型新規養子免疫治療の開発	川久保 尚徳	小児外科、生育外科、小腸移植外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
212	オートファジーからみた腸管不全関連肝障害(IFALD)の病態解明とその制御	松浦 俊治	小児外科、生育外科、小腸移植外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
213	ヒト多能性幹細胞由来交感神経細胞を用いた神経芽腫発生モデルの作成	桐野 浩輔	小児外科、生育外科、小腸移植外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
214	アリル炭化水素受容体アゴニストによるアトピー性皮膚炎新規治療薬開発と標的探索	古江 増隆	皮膚科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
215	乾癬・アトピー性皮膚炎の病態におけるエンドセリン-1の役割の解明とその治療応用	中原 剛士	皮膚科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
216	食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	辻 学	皮膚科	21,971 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
217	アトピー性皮膚炎における痒みに関連するサイトカインIL-33の産生調節機構の解明	辻 学	皮膚科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
218	皮膚有棘細胞癌の増殖転移シグナルにおける新規転写因子OVOLの役割	伊東 孝通	皮膚科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
219	結節性硬化症に伴う腎血管筋脂肪腫に対して医療費適正化を目指した凍結療法の安全性と有効性の検討	江藤 正俊	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	2,970 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
220	進行腎細胞癌に対するPD-1経路阻害薬の継続と休止に関するランダム化比較第III相試験	江藤 正俊	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	1,950 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
221	リキッドバイオプシーによる尿中バイオマーカーの探索と尿路上皮がん早期診断システムの開発	江藤 正俊	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	2,505 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
222	直径1mmの血管吻合を容易にする顕微鏡下手術支援ロボットシステムの研究開発	江藤 正俊	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	7,805 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
223	尿中のプロテインキナーゼC α を用いた尿路上皮癌の新規バイオマーカーの開発	江藤 正俊	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	390 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
224	尿中PKC α を標的とした新規尿路上皮がん診断システムの開発	猪口 淳一	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
225	腎周囲脂肪が腎細胞癌の発育・成長に及ぼす影響についての検討	柏木 英志	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
226	腎癌におけるNO合成経路に着目した血管新生阻害剤耐性メカニズムの解明に関する研究	門司 恵介	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
227	膀胱線維化を引き起こす細胞の同定	李 賢	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
228	久山町高齢住民における認知症の実態解明に関する横断・縦断研究	小原 知之	精神科神経科	20 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
229	患者由来直接誘導ニューロン・グリア細胞による精神神経疾患の病態解明:橋渡し研究	加藤 隆弘	精神科神経科	988 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
230	中高齢者の社会的孤立に関連する血中バイオマーカー探索のための予備的前向き研究	加藤 隆弘	精神科神経科	312 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
231	言語性幻聴の生起メカニズム:既存モデルの認知神経科学的検討と新規モデルの提案	田村 俊介	精神科神経科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
232	安静時機能的脳画像を用いたためこみ症の脳病態解明	中尾 智博	精神科神経科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
233	脳構造と脳機能から精神疾患を再分類する取り組み:5カ国国際共同研究	平野 羊嗣	精神科神経科	286 万円	補 文部科学省科国際共同研究加速基金[国際共同研究強化(B)]
234	統合失調症の情動制御障害に関する神経同期活動異常の同定	平野 羊嗣	精神科神経科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
235	児童思春期強迫症における脳画像と認知機能の統合解析によるエンドフェノタイプの解明	村山 桂太郎	精神科神経科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
236	血液メタボローム解析による精神疾患の層別化可能な客観的評価法の確立と治療最適化への応用	加藤 隆弘	精神科神経科	1,840 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
237	うつ病におけるミクログリア異常の病態解明とそれに基づく層別化と診断法の開発	加藤 隆弘	精神科神経科	1,130 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
238	眼科硝子体手術普及のための眼内内視鏡保持ロボット開発	園田 康平	眼科	8,500 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
239	自然炎症局所制御による網膜前駆細胞誘導	園田 康平	眼科	507 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
240	長期追跡研究における糖尿病網膜症の時代的变化と新たな危険因子の検討:久山町研究	安田 美穂	眼科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
241	加齢黄斑変性(AMD)患者のアンメットニーズに応える新たな抗線維化治療	塩瀬 聡美	眼科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
242	定型網膜色素変性患者の臨床的意義不明の遺伝子変異に関するエビデンスの創出	小柳 俊人	眼科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
243	テネイシンCを標的とした眼内線維増殖に対する治療戦略の構築	小林 義行	眼科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
244	ROCK阻害薬の形質転換抑制作用による眼内線維増殖制御と細胞移植治療への応用	石川 桂二郎	眼科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
245	ぶどう膜炎遷延化に関わるDAMPsとMAIT細胞による炎症制御機構の解明	長谷川 英一	眼科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
246	甲状腺眼症の個別化医療を目的としたゲノムワイド関連解析	田邊 美香	眼科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
247	マトリセルラー蛋白を標的とした抗VEGF療法誘導性眼内線維増殖の治療戦略構築	中間 崇仁	眼科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
248	リソソーム膜タンパクLAMP2の機能に着目した加齢黄斑変性の初期病態モデルの開発	納富 昭司	眼科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
249	エクソームシーケンスによる脂腺癌の発癌メカニズム解明	秋山 雅人	眼科	26 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
250	緑内障発症・進行リスクスコアの確立と個別化医療の基盤作成	藤原 康太	眼科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
251	ROCK阻害剤を用いた抗VEGF治療抵抗性糖尿病黄斑浮腫に対する新規治療法の開発	有馬 充	眼科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
252	リバスジルを用いた未熟児網膜症に対する新規点眼薬の開発	有馬 充	眼科	6,500 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
253	失明回避を目指す開放隅角緑内障の遺伝的リスク予測に関する研究開発	秋山 雅人	眼科	730 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
254	Variation of human cytomegalovirus (HCMV) UL40 and immune responses in classic and emerging HCMV-associated ocular diseases.	八幡 信代	眼科	165 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
255	聴覚障害者の社会参加を促進するための手法に関する研究	中川 尚志	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	247 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
256	側頭骨扁平上皮癌の網羅的組織解析に基づく新規統合的治療戦略の開発	中川 尚志	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
257	侵襲性を上げずに精度を上げるナビゲーション手術用リファレンスフレームの開発	松本 希	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
258	正常聴覚に不可欠な蝸牛ナトリウム輸送機構の解明	吉田 崇正	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
259	頭頸部癌における循環腫瘍DNAを用いたPrecision Medicineの確立	古後 龍之介	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
260	側頭骨癌におけるインフラマソーム関連分子の網羅的解析による炎症性発癌機構の解明	小宗 徳孝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	52 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
261	耳内から聴取する音を利用した新しい評価方法の検討	山口 優実	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
262	スギ花粉症に対する経口免疫寛容機序の解明と新規創薬標的分子の探索	村上 大輔	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
263	細胞老化に焦点を当てた、老人性難聴の治療法の開拓	土橋 奈々	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	273 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
264	鼻副鼻腔乳頭腫由来癌の癌化予測法確立と予測因子の網羅的解析	安松 隆治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
265	頭頸部癌における新規バイオマーカーの開発	若崎 高裕	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
266	発達性吃音の小児期疫学調査と回復要因の研究	菊池 良和	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	44 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
267	免疫チェックポイント阻害薬の効果予測のための新たな画像診断法の確立	馬場 眞吾	放射線科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
268	乳腺腫瘍へのCESTイメージングの臨床応用と有用性の確立	神谷 武志	放射線科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
269	深層学習を用いた転移性脳腫瘍の予後予測と放射線治療方針決定システムの開発	吉武 忠正	放射線科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
270	APTイメージングを用いた卵巣嚢胞性病変の早期診断の有用性の確立	石松 慶祐	放射線科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
271	頭頸部悪性腫瘍に対するPET/MRによる画素単位でのマルチパラメトリック解析	鷺山 幸二	放射線科	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
272	化学放射線耐性を生む食道癌ゲノム・免疫応答のクローン進化の解明	平田 秀成	放射線科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
273	アミノ酸イメージングの拡大を目指した18F標識アミノ酸の新規合成法の確立	山田 明史	放射線科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
274	深層学習を応用した肺癌放射線治療後の肺臓炎重症度予測と治療法最適化システムの開発	塩山 善之	放射線科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
275	APTイメージングに基づく肝細胞癌の悪性度および予後推定法の確立	西江 昭弘	放射線科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
276	AR(拡張現実)を利用した腎細胞癌に対するCTガイド下凍結療法の開発	牛島 泰宏	放射線科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
277	スペクトラルCTを用いた胃癌リンパ節転移診断の確立	鶴丸 大介	放射線科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
278	新たなASLアプローチを用いたMRAおよび灌流画像の開発と臨床応用	梅尾 理	放射線科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
279	肝線維化および肝細胞機能に関するMRIを用いた新たな定量的診断法の開発	高山 幸久	放射線科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
280	小児脳腫瘍のPrecision Diagnosisの確立	菊地 一史	放射線科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
281	低線量X線肺血流イメージングを用いた慢性血栓性肺高血圧症の新規診断法の確立	山崎 誘三	放射線科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
282	胸部X線動態解析に基づいた新たな呼吸関連機能指標および評価法の確立	樋田 知之	放射線科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
283	機械学習と多層検出器CTを用いた食道癌におけるがん周囲微小環境の定量的画像解析	西牟田 雄祐	放射線科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
284	CRPSの発症および症状の増悪に対するデクスメトミジンの効果	山浦 健	麻酔科蘇生科・手術部	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
285	全身麻酔補助薬としてのデクスメトミジンによる術後高次脳機能低下の予防効果	東 みどり子	麻酔科蘇生科・手術部	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
286	シナプス前グリシン受容体の機能性の証明	住江 誠	麻酔科蘇生科・手術部	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
287	周術期の急性腎障害の慢性腎臓病への移行に関する検討	松下 克之	麻酔科蘇生科・手術部	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
288	自己免疫性肝炎モデルに対するファルネシル化の効果の検討	白水 和宏	麻酔科蘇生科・手術部	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
289	体質を考慮したがんを含む生活習慣病の予防対策に必要な基礎資料提供を目的とした日本多施設共同コーホート研究	村田 昌之	総合診療科	1,937 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(新学術領域研究(研究領域提案型))

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
290	軽度アルツハイマー型認知症を対象とする八味地黄丸の認知機能に対する有効性と安全性を確認する探索的オープン標準治療対照無作為化割付多施設共同試験	村田 昌之	総合診療科	72 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
291	C型慢性肝炎におけるHCV排除後の肝線維化および肝発癌の解明	小川 栄一	総合診療科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
292	非アルコール性脂肪肝疾患関連遺伝子変異が脂質代謝および動脈硬化に及ぼす影響の検討	池崎 裕昭	総合診療科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
293	大規模医療情報の標準化のための統一的管理手法の構築と利活用の研究	康 東天	検査部	2,457 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
294	ミトコンドリア病態解析に基づく臓器特異的ミトコンドリア異常診断法の開発	康 東天	検査部	1,937 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
295	独自の進化を遂げた動物ミトコンドリアmRNAポリ(A)鎖の機能解析	松島 雄一	検査部	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
296	老化・疾病をもたらすミトコンドリア機能障害を鋭敏に捕らえる手法の開発	松島 雄一	検査部	416 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
297	ミトコンドリア依存的な代謝と肥満の分子メカニズムの解明	後藤 和人	検査部	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
298	うつ病重症度や自殺願望を予測する新たな臨床検査法の確立	瀬戸山 大樹	検査部	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
299	ミトコンドリアがオートファジーを制御する新機構と老化随伴疾患代謝物の探索	八木 美佳子	検査部	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
300	肝臓発現分泌蛋白のシグナルペプチド内サイレント変異と病態との関連性の解明	松本 信也	検査部	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
301	超高精細CTを用いた梗塞心筋の微小血管側副路の検出	小島 宰	放射線部	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
302	呼吸停止下CESTイメージング法の確立:肝機能評価の臨床応用	徳永 千晶	放射線部	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
303	計画標的体積マージン自動決定システムの開発	廣瀬 貴章	放射線部	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
304	高分解能3D CESTイメージングによるmulti-pool解析の開発と臨床応用	和田 達弘	放射線部	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
305	医用画像と臨床情報を用いたRadiomicsによる乳がん転移診断システムの開発	吉留 郷志	放射線部	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
306	脳血管疾患患者における超選択的4D-MRAの開発・臨床応用	村崎 裕生	放射線部	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
307	硫化水素代謝物チオ硫酸による心筋ミトコンドリア保護効果の検討	徳田 賢太郎	救命救急センター	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
308	看護師対象小児急変対応ABCアプローチによる遠隔シミュレーション教育法開発	賀来 典之	救命救急センター	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
309	慢性腎臓病を合併した敗血症に対する中枢性交感神経系を介した治療介入の検討	西原 正章	救命救急センター	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
310	重症頭部外傷の呼吸管理におけるINTELLiVENT-ASVの有用性の確立	松岡 若利	救命救急センター	100 万円	補 JA共済交通事故医療助成
311	希少癌における肉腫のマルチオミクス解析による発癌機序と治療抵抗性獲得機構の解明	小田 義直	病理診断科・病理部	416 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
312	融合遺伝子を標的とした肉腫治療のための基礎研究	山田 裕一	病理診断科・病理部	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
313	ヒトにおける残留性有機汚染物質等の汚染・蓄積の実態及び疾患との関連性の解明	立石 悠基	病理診断科・病理部	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
314	口腔扁平上皮癌の微小環境-癌細胞間シグナルの解明とその制御強化による新規治療戦略	清島 保	病理診断科・病理部	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
315	認知症症例における脳-心臓連関の解明	濱崎 英臣	病理診断科・病理部	50 万円	補 公益財団法人臨床研究奨励基金
316	口腔腺扁平上皮癌におけるエピゲノム異常に関する研究:癌の悪性度に関与する扁平上皮・腺上皮分化転換機構の解明	藤井 慎介	病理診断科・病理部	100 万円	補 公益財団法人SGH財団
317	エナメル上皮腫を引き起こす新しい分子基盤の解明とがんゲノム医療に向けた臨床応用	藤井 慎介	病理診断科・病理部	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
318	機械感受性イオンチャネルPiezo1による口腔癌進展制御機構の解明	長谷川 佳那	病理診断科・病理部	260 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
319	Wnt経路の新規下流シグナルの腺様嚢胞癌における機能解析と新規治療法の開発	樋口 勝規	病理診断科・病理部	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
320	癌微小環境の機械侵襲と新規癌遺伝子シグナル制御の相互強化による新たな癌治療戦略	大関 悟	病理診断科・病理部	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
321	白血病難治性の分子機構解明と新規治療法の開発	前田 高宏	遺伝子・細胞療法部	1,508 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
322	Crispr/Cas9 in vivo screening システム構	前田 高宏	遺伝子・細胞療法部	50 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
323	間葉系ニッチのシングルセルプロファイリングによる造血器腫瘍発症及び進展機構の解明	國崎 祐哉	遺伝子・細胞療法部	533 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
324	急性骨髄性白血病に対するCRISPR全ゲノム機能的スクリーニング・新規治療法開発	山内 拓司	遺伝子・細胞療法部	13 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
325	ヒト急性白血病に共通する悪性幹細胞特異的な代謝経路の同定	菊繁 吉謙	遺伝子・細胞療法部	585 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
326	IMiDsにおける新規基質同定による新規がん治療戦略の構築	菊繁 吉謙	遺伝子・細胞療法部	390 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
327	大規模医療情報の安全対策への活用拡大に向けたデータ品質管理に関する課題解決の研究	中島 直樹	メディカル・インフォメーションセンター	622 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
328	ユースケース・ベースのPHRサービスによるOpen FHIRと電子カルテの連携を目指すクラウド型医療連携プラットフォーム構築研究	中島 直樹	メディカル・インフォメーションセンター	2,000 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
329	漢方薬の適正使用に向けたポリファーマシーの実態解明と実用的な定義の提案	古橋 寛子	メディカル・インフォメーションセンター	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
330	糖尿病を併存する消化器がん患者の自己報告アウトカム評価の基盤構築	伊豆倉 理江子	メディカル・インフォメーションセンター	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
331	患者由来気道上皮細胞を用いた閉塞性肺疾患におけるウイルス感染遷延化機序の解明	神尾 敬子	光学医療診療部	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
332	気道ウイルス感染症に対するPI3K δ 阻害剤の効果のex vivo解析	神尾 敬子	光学医療診療部	200 万円	補 公益財団法人 日本呼吸財団 COVID-19関連研究助成
333	気管支鏡下採取末梢気道上皮細胞を用いた疾患特異的なウイルス感染上皮バリア機能障害関連分子の同定	神尾 敬子	光学医療診療部	50 万円	補 公益財団法人 内視鏡医学研究振興財団 研究助成(B)
334	クローン病患者における抗IL-12/23p40抗体の治療効果予測因子の同定	藤岡 審	光学医療診療部	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
335	橋渡し研究戦略的推進プログラム「地域と拠点を結び世界へ展開する新規医療技術の研究・開発」	馬場 英司	ARO次世代医療センター	9,486 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
336	医療技術実用化総合促進事業「支援体制の強化・効率化による革新的医療開発の迅速化」	馬場 英司	ARO次世代医療センター	20,290 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
337	臨床研究総合促進事業	戸高 浩司	ARO次世代医療センター	2,043 万円	補 厚生労働省
338	中央IRB促進事業「九州地域におけるCRB運営等の課題解決のための研究」	河原 直人	ARO次世代医療センター	429 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
339	ARO機能推進事業「シーズ開発実績に裏付けられたARO機能のリソース次元縮約と可視化に関する研究」	戸高 浩司	ARO次世代医療センター	5,330 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
340	医薬品等規制調和・評価研究事業「神経変性疾患の病期に着目した治療法開発および承認後適正使用を推進する新規評価法の確立」	小早川 優子	ARO次世代医療センター	195 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
341	難治性疾患実用化研究事業「リパシジルを用いた未熟児網膜症に対する新規点眼薬の開発」	有馬 充	ARO次世代医療センター	6,500 万円	委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
342	希少がんの情報提供・相談支援ネットワークの形成に関する研究	馬場 英司	がんセンター	390 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
343	エピトランスクリプトーム解析による生活習慣病のトランスポーター発現変動機構の解明	家入 一郎	薬剤部	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
344	レテルモビル併用下でのタクロリムス個別化投与の発展に向けた遺伝子多型の有用性解明	末次 王卓	薬剤部	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
345	肝移植後の免疫寛容における鍵分子の特定と機能解明に関する研究	山本 奈々絵	薬剤部	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
346	移植肝の遺伝的背景に着目した拒絶反応回避に関する新規分子機構の探索	田島 壮一郎	薬剤部	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
347	小児・新生児における抗MRSA薬の個別化投与法の確立	山田 孝明	薬剤部	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
348	機械学習技術を用いた医薬品の投与量チェックシステムの構築と実臨床への応用	永田 健一郎	薬剤部	81 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
349	アプレピタントの体内動態及び薬効解析による戦略的個別化投与設計理論の確立	勝部 友理恵	薬剤部	106 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
350	がん化学療法における痛みと睡眠に関する包括的研究	江頭 伸昭	薬剤部	122 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
351	薬剤師の行動心理に基づく調剤エラーのメカニズム解明と実臨床への応用	辻 敏和	薬剤部	92 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
352	移植腎組織中のCYP3A5遺伝子多型と腎組織中タクロリムス濃度との関連性の解明	重松 智博	薬剤部	48 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)
353	日常診療情報・遺伝子解析による免疫チェックポイント阻害薬の有害事象リスク因子探索	松金 良祐	薬剤部	48 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)
354	中南米における早期胃癌診断率向上のための継続的遠隔医療教育システムの構築	清水 周次	国際医療部	806 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
355	ミャンマーにおける医療水準の均等化をめざした人材育成事業	清水 周次	国際医療部	697 万円	委 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
356	アジアにおける大腸癌死亡率低下を目指した持続可能な国際遠隔医療教育	森山 智彦	国際医療部	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
357	アジア遠隔医療教育の技術担当者研修プログラム評価のためのルーブリック開発と検証	工藤 孔梨子	国際医療部	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
358	早期胃癌診断の国際遠隔医療教育における内視鏡画像品質の基準策定	上田 真太郎	国際医療部	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
359	上皮・内皮陥入組織における器官決定機構の解明とその制御	福本 敏	小児歯科・スペシヤルニーズ歯科	897 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
360	器官再生を目指した細胞リソースとして的人為的上皮細胞誘導技術の開発	福本 敏	小児歯科・スペシヤルニーズ歯科	1,040 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的開拓研究)
361	自閉症児由来乳歯歯髄幹細胞を活用した酸化ストレスとミトコンドリアとの関係解明	増田 啓次	小児歯科・スペシヤルニーズ歯科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
362	性染色体数異常における発達障害機序の解析～乳歯歯髄幹細胞による橋渡し研究～	佐藤 浩	小児歯科・スペシヤルニーズ歯科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
363	Rett症候群に対するヒト乳歯由来幹細胞を活用した病態解明及び創薬基盤の開発	廣藤 雄太	小児歯科・スペシヤルニーズ歯科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
364	ヒト脱落乳歯幹細胞を活用した自閉スペクトラム症と概日リズム障害の病態解明	高山 扶美子	小児歯科・スペシヤルニーズ歯科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
365	歯の発生過程におけるオーファン受容体Gpr115の機能解明	千葉 雄太	小児歯科・スペシヤルニーズ歯科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
366	ヒト脱落乳歯幹細胞を用いた自閉症の神経発達におけるメラトニン作用機序の解明研究	木船 崇	小児歯科・スペシヤルニーズ歯科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
367	乳歯を活用したミトコンドリア病創薬モデルの開発	香川 由衣	小児歯科・スペシヤルニーズ歯科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
368	iPS細胞を用いた3次元的歯根膜作製法の確立と人工歯根開発への応用	前田 英史	歯内治療科	715 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
369	iPS由来神経堤細胞によるバイオミメティクスに基づいた新規歯周組織再生療法の開発	友清 淳	歯内治療科	403 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
370	iPS創薬とゲノム創薬の融合による歯根膜幹細胞賦活化物質の創出と再生医療への応用	友清 淳	歯内治療科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
371	歯根膜幹細胞転換を基盤とした歯周組織再生の有用性の検討とそのメカニズムの解明	長谷川 大学	歯内治療科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
372	iPS細胞と歯根膜幹細胞誘導因子FBN2を融合させた革新的歯周組織再生療法の創出	濱野 さゆり	歯内治療科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
373	Activin Aの二極性細胞分化誘導特性を基盤とした新規歯周組織再生療法の開発	杉井 英樹	歯内治療科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
374	ナノハイドロキシアパタイト含有レジンを用いた新規接着性直接覆髄材の創製	吉田 晋一郎	歯内治療科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
375	シュワン細胞由来の因子を用いた新規歯周組織再生療法の開発	糸山 知宏	歯内治療科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
376	食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発に関する研究	前田 英史	歯内治療科	100 万円	補 厚生労働科学研究補助金
377	統合オミクス解析を介した糖尿病性歯周炎の病態解明を目指す国際共同研究	西村 英紀	歯周病科	351 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究費助成事業(国際共同研究強化(B))
378	SPOCK-1生体タンパクを応用した安全性に優れた革新的歯周病予防薬の開発	西村 英紀	歯周病科	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
379	アメロジェニン・GRP78複合体を標的とした歯周歯髄組織再生技術の創生	讃井 彰一	歯周病科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
380	歯肉幹細胞由来エクソソームmiRNAを標的とした次世代歯周病治療の基盤構築	福田 隆男	歯周病科	741 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
381	歯肉増殖症の病態解明～spock1による蓄積と分解抑制のシナジー効果の観点から	山下 明子	歯周病科	52 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
382	炎症誘導性膝β細胞Xa1の役割解明～歯周病一膝β細胞機能の連関	岩下 未咲	歯周病科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
383	アメロジェニンの炎症制御機序の解明ーマクロファージM2極性化の観点から	田中 麗	歯周病科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
384	肥満および歯周炎に共通のmiRNAを標的とした新規抗炎症治療薬の開発	佐野 朋美	歯周病科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
385	血管内皮細胞におけるインスリン抵抗性が歯周炎増悪に寄与する機序の解明	新城 尊徳	歯周病科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
386	歯周病と糖尿病性腎症の関連性についての疫学パイロットスタディ	新城 尊徳	歯周病科	65 万円	補 8020推進財団 8020研究事業(公募研究事業)
387	インプラント周囲硬・軟組織の治癒促進を目指した新規手法の開拓	今井 実喜生	義歯補綴科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
388	薬剤関連顎骨壊死の治療と予防を目指した間葉系幹細胞の新規投与法	熱田 生	義歯補綴科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
389	過硝酸溶液を用いた新規殺菌方法のインプラント周囲炎治療法への応用	江崎 大輔	義歯補綴科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
390	MEMSを用いた口腔内モニタリングによるインプラントリスク診断システムの開発	松下 恭之	義歯補綴科	39 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
391	インプラント治療とMesenchymal stem cell aging.	鮎川 保則	義歯補綴科	338 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
392	埋入時注水冷却で歯科インプラント体の早期脱落を予防する	神野 洋平	義歯補綴科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
393	骨質劣化によるインプラント周囲骨代謝破綻機序の解明と既存薬の骨質制御法への応用	森山 泰子	義歯補綴科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
394	再生医療へ向けた新規3次元的細胞制御への試み	古橋 明大	義歯補綴科	182 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
395	間葉系幹細胞由来エクソソームの解析と治療効果の検討	古谷野 潔	義歯補綴科	871 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
396	顎顔面補綴における皮膚貫通型インプラントの成功率向上を目指した表面処理法の検討	成松 生枝	義歯補綴科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
397	長期に安定したインプラント治療を実現するインプラント周囲骨リモデリングの解明	竹村 陽子	義歯補綴科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
398	薬剤関連顎骨壊死における新規治療法の開拓	安波 礼之	義歯補綴科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
399	直感的インターフェースを有する歯科インプラント手術ナビゲーションシステムの実用化	大内田 理一	咬合補綴科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
400	口腔機能低下症の観点からの顎顔面補綴治療の評価ー妥当性と有効性の包括的評価ー	諸井 亮司	咬合補綴科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
401	IgG4関連疾患の免疫学的特異性を基盤とした病因解明と疾患モデルマウスによる検証	中村 誠司	顎口腔外科	2,197 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
402	唾液中の可溶性マーカーに着目したIgG4関連疾患の新たな診断方法の開発	中村 誠司	顎口腔外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
403	IgG4 関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	中村 誠司	顎口腔外科	2,660 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
404	自己免疫疾患に関する調査研究	中村 誠司	顎口腔外科	20 万円	補 厚生労働科学研究費補助金
405	癌の微小環境構築に関わるkey regulatorを標的とした新しい癌治療戦略	川野 真太郎	顎口腔外科	507 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
406	Toll様受容体を標的としたシェーグレン症候群の新規治療戦略	森山 雅文	顎口腔外科	507 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
407	IgG4関連疾患の病因解明と新規治療戦略ー特異的なT・B細胞を標的としてー	前原 隆	顎口腔外科	442 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)国際共同研究加速基金(国際共同研究強化B)
408	IgG4関連疾患とその世界初モデルマウスにおける臓器線維化メカニズム解明	前原 隆	顎口腔外科	455 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
409	マイクロRNAを介したシェーグレン症候群の新規治療開発に向けた基盤研究	緒方 謙一	顎口腔外科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
410	口腔扁平上皮癌の悪性度に関わるバイオマーカーとしてのWnt5a/Ror2の有用性	坂本 泰基	顎口腔外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
411	IgG4関連涙腺・唾液腺炎の診断における顎下腺超音波検査の有用性	伊東 美穂	顎口腔外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
412	腫瘍会合性マクロファージによる口腔扁平上皮癌の増殖・浸潤促進機構	柿添 乃理子	顎口腔外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
413	スカベンジャー受容体MARCOに着目したIgG4関連疾患の新規分子標的治療の確立	坂本 瑞樹	顎口腔外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
414	歯髄幹細胞由来サイトカインを用いたシェーグレン症候群に対する自己免疫反応の制御	川島 万由	顎口腔外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
415	IgG4関連疾患におけるIRAK4を介した線維化のメカニズムについての解析	鎮守 晃	顎口腔外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
416	器官培養法を用いた抗がん剤副作用回避モデルの構築	鮎田 亜実	顎口腔外科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
417	AIによる撮影技能自動評価に向けた口内法エックス線画像評価システムの開発	岡村 和俊	口腔画像診断科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
418	超音波エラストグラフィを用いた損傷定量化による唾液腺疾患の非侵襲的診断法の確立	清水 真弓	口腔画像診断科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
419	統計学modelを用いた拡散情報と薬物動態解析の総合評価 頭頸部への応用	筑井 徹	口腔画像診断科	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
420	Compressed sensingを用いた頭頸部病変の高時間分解能血流動態評価	加美 由紀子	口腔画像診断科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
421	Dual Energy CTを用いた顎顔面領域腫瘍の薬物動態解析	北本 江梨奈	口腔画像診断科	52 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
422	舌骨上筋群の器質的な違いが嚥下機能に与える影響～嚥下障害の新しい評価法の確立～	水頭 英樹	口腔画像診断科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
423	歯髄幹細胞の神経再生におけるPDGFR β の機能解析と脳梗塞の細胞治療への応用	祐田 明香	口腔総合診療科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
424	オミックス解析を用いた歯根膜発生機構の解明と幹細胞誘導型組織再生技術への応用	和田 尚久	口腔総合診療科	416 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
425	IoTを用いたフレイル予防のための口腔機能向上プログラムの開発	柏崎 晴彦	全身管理歯科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
426	口腔機能低下から認知機能低下に至るまでのプロセスの解明—食と栄養の観点から—	水谷 慎介	全身管理歯科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
427	IoTを活用した口腔機能向上によるフレイル予防効果	水谷 慎介	全身管理歯科	200 万円	補 2020年度上原記念生命科学財団 研究奨励金
428	地域在住高齢者の口腔機能向上プログラムとフレイル改善率に関する介入研究	水谷 慎介	全身管理歯科	70 万円	補 8020推進財団
429	軽度認知障害高齢者における口腔周囲筋訓練を用いた新たな認知症予防法の確立	井上 良介	全身管理歯科	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
430	口腔マイクロバイオームを指標とした心臓移植患者の口腔管理方法の確立	今井 裕子	全身管理歯科	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計5件

合計 430 件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
1	Moriyama S, Fukata M, Tatsumoto R, et al.	第一内科	Refractory constrictive pericarditis caused by an immune checkpoint inhibitor properly managed with infliximab: a case report	Eur Heart J Case Rep. 2021 Feb 1;5(1):ytat002.	Case report
2	Arita T, Maruyama T, Yokoyama T, et al.	第一内科	Impaired deformability and association with density distribution of erythrocytes in patients with type 2 diabetes mellitus under treatment	Clin Hemorheol Microcirc. 2020 Oct;76(1):73-83.	Original Article
3	Moriyama S, Fukata M, Kusaba H, et al.	第一内科	Acute and Chronic Effects of Cancer Drugs on the Cardiovascular System	Heart Fail Clin. 2020 Apr;16(2):231-241.	Review
4	Fukata M.	第一内科	Acute Decompensated Heart Failure in Patients with Heart Failure with Reduced Ejection Fraction	Heart Fail Clin. 2020 Apr;16(2):187-200.	Review
5	Numata A, Kwok HS, Zhou QL et al.	第一内科	Lysine acetyltransferase Tip60 is required for hematopoietic stem cell maintenance	Blood. 2020 Oct 8;136(15):1735-1747.	Original Article
6	Tsuruta N, Tsuchihashi K, Ohmura H, et al.	第一内科	RNA N6-methyladenosine demethylase FTO regulates PD-L1 expression in colon cancer cells	Biochem Biophys Res Commun. 2020 Sep 10;530(1):235-239.	Original Article
7	Hirfoumi Ohmura, Kyoko Yamaguchi, Fumiya Hanamura	第一内科	OX40 and LAG3 are associated with better prognosis in advanced gastric cancer patients treated with anti-programmed death-1 antibody	Br J Cancer. 2020 May;122(10):1507-1517.	Original Article
8	Mori Y, Sasaki K, Ito Y, et al.	第一内科	Outcome predictors after retransplantation in relapsed acute lymphoblastic leukemia: a multicenter, retrospective study	Ann Hematol. 2021 Jan;100(1):197-208.	Original Article
9	Harada T, Kuriyama T, Nishida R, et al.	第一内科	Successful allogeneic stem cell transplantation in a case with acute myeloid leukemia and invasive Schizophrum commune rhinosinuitis	J Infect Chemother. 2020 May;26(5):506-509.	Case report
10	Mori Y, Choi I, Yoshimoto G, et al.	第一内科	Phase I/II study of bortezomib, lenalidomide, and dexamethasone treatment for relapsed and refractory multiple myeloma	Int J Hematol. 2020 May;111(5):673-680.	Original Article
11	Tanoue K, Tamura S, Kusaba H, et al.	第一内科	Predictive impact of C-reactive protein to albumin ratio for recurrent or metastatic head and neck squamous cell carcinoma receiving nivolumab	Sci Rep. 2021 Feb 2;11(1):2741.	Original Article
12	Tsuchihashi K, Kusaba H, Yoshihiro T, et al.	第一内科	Eribulin as a first-line treatment for soft tissue sarcoma patients with contraindications for doxorubicin	Sci Rep. 2020 Dec 1;10(1):20896.	Original Article
13	Taguchi R, Tsuchihashi K, Okumura Y, et al.	第一内科	Thrombocytopenia Caused by Dexamethasone in a Patient with Colorectal Cancer	Intern Med. 2020 Oct;59(20):2571-2575.	Case report
14	Yonekawa A, Miyake N, Minami J, et al.	第一内科	Parotitis caused by Mycobacteroides abscessus subspecies abscessus	Auris Nasus Larynx. 2020 Nov 24;50385-8146(20)30304-7.	Case report

小計14件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
15	Ayano M, Arikobu Y, Tsukamoto H, et al	第一内科	Shoulder ultrasound and serum lactate dehydrogenase predict inadequate response to glucocorticoid treatment in patients with polymyalgia rheumatica	Rheumatol Int. 2020 Jul;40(7):1101-1109.	Original Article
16	Ohya Y, Uwatoko T, Mizokami T, et al	第二内科	Use of middle cerebral artery visualization with coronal computed tomography to access target artery in mechanical thrombectomy	J Stroke Cerebrovasc Dis . 2020 May;29(5):104714.	Original Article
17	Sato N, Matsuo R, Kiyuna F, et al.	第二内科	Anticoagulation and Risk of Stroke Recurrence in Patients with Embolic Stroke of Undetermined Source Having No Potential Source of Embolism	Cerebrovasc Dis . 2020 Nov;49(6):601-608.	Original Article
18	Shibahara T, Ago T, Tachibana M, et al	第二内科	Reciprocal interaction between pericytes and macrophage in poststroke tissue repair and functional recovery	Stroke . 2020 Oct;51(10):3095-3106.	Original Article
19	Ohya Y, Nakamura K, Wakisaka Y, et al	第二内科	Epstein-barr virus-associated encephalopathy presenting with nonconvulsive status epilepticus in an immunosuppressive state	Case Rep Neurol . 2020 Jun 22;12(2):214-221.	Case report
20	Ueki K, Nakamura K, Wakisaka Y, et al	第二内科	An embolic stroke in a patient with PROC p.Lys193del	J Stroke Cerebrovasc Dis . 2020 May;29(5):104597.	Case report
21	Ueki K, Wakisaka Y, Nakamura K, et al	第二内科	Mitochondrial myopathy, encephalopathy, lactic acidosis, and stroke-like episodes due to m.3243A > G mutation in a 76-year-old woman	J Neurol Sci . 2020 May 15;412:116791.	Case report
22	Kenichi Goto, Takanari Kitazono	第二内科	Endothelium-dependent hyperpolarization (EDH) in diet-induced obesity	Endocrine and Metabolic Science Volume 1, Issues 3-4, November 2020, 100062	Review
23	Y. Nakamura, M. Yokoyama, S. Yoshida, et. al	第三内科	Postoperative renal impairment and longitudinal change in renal function after adrenalectomy in patients with Cushing's syndrome	Int J Urol. 2020 May;27(5):395-400.	Original Article
24	A. Matsumoto, H. Kuwata, S. Kimura, et. Al	第三内科	Hollow fiber-combined glucose-responsive gel technology as an in vivo electronics-free insulin delivery system	Commun Biol. 2020 Jun 17;3(1):313.	Original Article
25	Y. Kobayashi, T. Haze, Y. Yano, et. Al	第三内科	Associations Between Changes in Plasma Renin Activity and Aldosterone Concentrations and Changes in Kidney Function After Treatment for Primary Aldosteronism	Kidney Int Rep. 2020 Jun 20;5(8):1291-1297.	Original Article
26	T. Yoshida, A. Tsuchiya, M. Kumagai, et. Al	第三内科	Blocking sphingosine 1-phosphate receptor 2 accelerates hepatocellular carcinoma progression in a mouse model of NASH	Biochem Biophys Res Commun. 2020 Oct 1;530(4):665-672.	Original Article
27	R. Iwagishi, R. Tanaka, M. Seto, et. Al	第三内科	Negatively charged amino acids in the stalk region of membrane proteins reduce ectodomain shedding	J Biol Chem. 2020 Aug 28;295(35):12343-12352.	Original Article
28	M. Tanaka, M. Saka-Tanaka, K. Ochi, et. Al	第三内科	C-type lectin Mincle mediates cell death-triggered inflammation in acute kidney injury	J Exp Med. 2020 Nov 2;217(11):e20192230.	Original Article
29	H. Inada, M. Udono, K. Matsuda-Ito, et. Al	第三内科	Direct reprogramming of human umbilical vein- and peripheral blood-derived endothelial cells into hepatic progenitor cells	Nat Commun. 2020 Oct 21;11(1):5292.	Original Article
30	K. Kawahori, Y. Kondo, X. Yuan, et. Al	第三内科	Ascorbic acid during the suckling period is required for proper DNA demethylation in the liver	Sci Rep. 2020 Dec 4;10(1):21228.	Original Article

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
31	A. Takeno, I. Kanazawa, K.I. Tanaka, et. Al	第三内科	High glucose promotes mineralization via bone morphogenetic protein 4-Smad signals in early stage of osteoblast differentiation	Diabetol Int. 2020 Aug 30;12(2):171-180.	Original Article
32	Y. Hanada, N. Ishihara, L. Wang, et. Al	第三内科	MAVS is energized by Mff which senses mitochondrial metabolism via AMPK for acute antiviral immunity.	Nat. Commun. 2020 Nov; 11: e5711	Original Article
33	K. Amo-Shiinoki, K. Tanabe, Y. Hoshii, et. Al	第三内科	Islet cell dedifferentiation is a pathologic mechanism of long-standing progression of type 2 diabetes	JCI Insight. 2021 Jan 11;6(1):e143791.	Original Article
34	R. Nakamaru, K. Yamamoto, H. Akasaka, et. Al	第三内科	Sex Differences in Renal Outcomes After Medical Treatment for Bilateral Primary Aldosteronism	Hypertension. 2021 Feb;77(2):537-545.	Original Article
35	Y. Kanamori, M. Tanaka, M. Itoh, et. Al	第三内科	Iron-rich Kupffer cells exhibit phenotypic changes during the development of liver fibrosis in NASH	iScience. 2021 Jan 5;24(2):102032.	Original Article
36	N. Hasuzawa, K. Tatsushima, L. Wang, et. Al	第三内科	Clodronate, an inhibitor of the vesicular nucleotide transporter, ameliorates steatohepatitis and acute liver injury	Sci Rep. 2021 Mar 4;11(1):5192.	Original Article
37	R. Nakamaru, K. Yamamoto, H. Akasaka, et. Al	第三内科	Age-stratified comparison of clinical outcomes between medical and surgical treatments in patients with unilateral primary aldosteronism	Sci Rep. 2021 Mar 25;11(1):6925.	Original Article
38	MN, KT, EI, et.al	第三内科	Helicobacter pylori metabolites exacerbate gastritis through C-type lectin receptors	J Exp Med. 2021 Jan 4;218(1):e20200815.	Original Article
39	IY, MS, ST, et. al	第三内科	Intravenous itraconazole compared with liposomal amphotericin B as empirical antifungal therapy in patients with neutropaenia and persistent fever	Mycoses. 2020 Aug;63(8):794-801.	Original Article
40	YT, JK, IC, et. al	第三内科	Efficacy and Safety of the Modified EPOCH Regimen (Etoposide, Vincristine, Doxorubicin, Carboplatin, and Prednisolone) for Adult T-cell Leukemia/Lymphoma: A Multicenter Retrospective Study	Clin Lymphoma Myeloma Leuk. 2020 Jul;20(7):e445-e453.	Original Article
41	Suzuki H, Kohjima M, Tanaka M, et al.	第三内科	Metabolic Alteration in Hepatocellular Carcinoma: Mechanism of Lipid Accumulation in Well-Differentiated Hepatocellular Carcinoma	Can J Gastroenterol Hepatol. 2021 Feb 18;2021:8813410.	Original Article
42	Yoshizaki S, Yokota K, Kubota K, et al..	第三内科	The beneficial aspects of spasticity in relation to ambulatory ability in mice with spinal cord injury	Spinal Cord. 2020 May;58(5):537-543.	Original Article
43	Nakane S, Mukaino A, Ihara E, et al.	第三内科	Autoimmune gastrointestinal dysmotility: the interface between clinical immunology and neurogastroenterology	Immunol Med. 2020 Jul 27;1-12.	Original Article
44	Esaki M, Haraguchi K, Akahoshi K, et al.	第三内科	Endoscopic mucosal resection vs endoscopic submucosal dissection for superficial non-ampullary duodenal tumors	World J Gastrointest Oncol. 2020 Aug 15;12(8):918-930.	Original Article
45	Minoda Y, Ihara E, Komori K, et al.	第三内科	Efficacy of endoscopic ultrasound with artificial intelligence for the diagnosis of gastrointestinal stromal tumors	J Gastroenterol. 2020 Dec;55(12):1119-1126.	Original Article
46	Oyama K, Ohuchida K, Shindo K, et al.	第三内科	Thoracoscopic surgery combined with endoscopic creation of a submucosal tunnel for a large complicated esophageal leiomyoma	Surg Case Rep. 2020 May 6;6(1):92.	Case report

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
47	Minoda Y, Ihara E, Ogino H, et al.	第三内科	The Efficacy and Safety of a Promising Single-Channel Endoscopic Closure Technique for Endoscopic Treatment-Related Artificial Ulcers: A Pilot Study	Gastrointest Tumors. 2020 Apr;7(1-2):21-29.	Original Article
48	Esaki M, Hayashi Y, Ikehara H, et al.	第三内科	The effect of scissor-type versus non-scissor-type knives on the technical outcomes in endoscopic submucosal dissection for superficial esophageal cancer: a multi-center retrospective study	Dis Esophagus. 2020 Apr 15;33(4):doz077.	Original Article
49	Murakami M, Fujimori N, Nagao Y, et al	第三内科	Colonic varices: a rare complication of pancreatic cancer	Clin J Gastroenterol. 2020 Dec;13(6):1355-1359.	Case report
50	Ohno A, Fujimori N, Miki M, et al	第三内科	Collision of a pancreatic ductal adenocarcinoma and a pancreatic neuroendocrine tumor associated with multiple endocrine neoplasm type 1	Clin J Gastroenterol. 2021 Feb;14(1):358-363.	Case report
51	Murakami M, Fujimori N, Suehiro Y, et al	第三内科	Successful endoscopic removal of a fully covered self-expandable metallic stent that fractured above a benign distal bile duct stricture	Endoscopy. 2021 Jan;53(1):E11-E12.	Case report
52	Fujimori N, Miki M, Lee L, et al	第三内科	Natural history and clinical outcomes of pancreatic neuroendocrine neoplasms based on the WHO 2017 classification; a single-center experience of 30 years	Pancreatology. 2020 Jun;20(4):709-715.	Original Article
53	Fujimori N, Osoegawa T, Aso A, et al	第三内科	Efficacy of Early Endoscopic Ultrasound-Guided Transluminal Drainage for Postoperative Pancreatic Fistula	Can J Gastroenterol Hepatol. 2021 Jan 25;2021:6691705.	Original Article
54	Yokomoto-Umakoshi M, Umakoshi H, Sakamoto R et al.	第三内科	Role of deteriorated bone quality in the development of osteoporosis in pheochromocytoma and paraganglioma.	Bone. 2021 Jan;142:115607.	Original Article
55	Kaneko H, Umakoshi H, Ishihara Y et al.	第三内科	Reassessment of Urinary Aldosterone Measurement After Saline Infusion in Primary Aldosteronism	J Endocr Soc. 2020 Jul 22;4(9):bvaa100.	Original Article
56	Yokomoto-Umakoshi M, Umakoshi H, Ogata M et al.	第三内科	Coexistence of osteoporosis and atherosclerosis in pheochromocytoma: new insights into its long-term management	Osteoporos Int. 2020 Nov;31(11):2151-2160.	Original Article
57	Umakoshi H, Sakamoto R, Matsuda Y et al.	第三内科	Role of Aldosterone and Potassium Levels in Sparing Confirmatory Tests in Primary Aldosteronism.	J Clin Endocrinol Metab. 2020 Apr 1;105(4):dglz148.	Original Article
58	Yano S, Ashida K, Sakamoto R et al.	第三内科	Human leucocyte antigen DR15, a possible predictive marker for immune checkpoint inhibitor-induced secondary adrenal insufficiency	Eur J Cancer. 2020 May;130:198-203.	Original Article
59	Fukumoto T, Umakoshi H, Ogata M et al.	第三内科	Significance of Discordant Results Between Confirmatory Tests in Diagnosis of Primary Aldosteronism	J Clin Endocrinol Metab. 2021 Jan 23;106(2):e866-e874.	Original Article
60	Ogata M, Umakoshi H, Fukumoto T et al.	第三内科	Significance of aldosterone gradient within left adrenal vein in diagnosing unilateral subtype of primary aldosteronism	Clin Endocrinol (Oxf). 2021 Jan;94(1):24-33.	Original Article
61	Nagata H, Lyu J, Imachi H et al.	第三内科	AGEs inhibit scavenger receptor class B type I gene expression via Smad1 in HUVECs	J Mol Endocrinol. 2021 Mar;66(3):223-231.	Original Article
62	Yokomoto-Umakoshi M, Umakoshi H, Fukumoto T et al.	第三内科	Pheochromocytoma and paraganglioma: An emerging cause of secondary osteoporosis	Bone. 2020 Apr;133:115221.	Original Article

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
63	Yokomoto-Umakoshi M, Umakoshi H, Miyazawa T et al.	第三内科	Investigating the causal effect of fibroblast growth factor 23 on osteoporosis and cardiometabolic disorders: A Mendelian randomization study	Bone. 2021 Feb;143:115777.	Original Article
64	Kimura-Todani T, Hata T, Miyata N, et al	心療内科	Dietary delivery of acetate to the colon using acylated starches as a carrier exerts anxiolytic effects in mice	Physiol Behav. 2020 Sep 1;223:113004.	Original Article
65	Tatsushima K, Hasuzawa N, Wang L, et al	心療内科	Vesicular ATP release from hepatocytes plays a role in the progression of nonalcoholic steatohepatitis	Biochim Biophys Acta Mol Basis Dis. 2021 Mar 1;1867(3):166013.	Original Article
66	Shibata M, Ohara T, Hosoi M, et al	心療内科	Emotional loneliness is associated with a risk of dementia in a general Japanese older population: the Hisayama Study	J Gerontol B Psychol Sci Soc Sci. 2020 Nov 10;gbaa196.	Original Article
67	Miyata N, Hata T, Takakura S, et al	心療内科	Metabolomics profile of Japanese female patients with restricting-type anorexia nervosa	Physiol Behav. 2021 Jan 1;228:113204.	Original Article
68	Shimizu M, Kawai K, Yamashita M, et al	心療内科	Very long chain fatty acids are an important marker of nutritional status in patients with anorexia nervosa: a case control study	Biopsychosoc Med. 2020 Jul 17;14:14.	Original Article
69	Shibata M, Ninomiya T, Anno K, et al	心療内科	Parenting style during childhood is associated with the development of chronic pain and a patient's need for psychosomatic treatment in adulthood: A case-control study	Medicine (Baltimore). 2020 Jul 17;99(29):e21230.	Original Article
70	Tozaki-Saitoh H, Sasaki I, Yamashita T, et al	心療内科	Involvement of exchange protein directly activated by cAMP and tumor progression locus 2 in IL-1 β production in microglial cells following activation of β -adrenergic receptors	J Pharmacol Sci. 2020 Jul;143(3):133-140.	Original Article
71	Fujii T, Yamasaki R, Miyachi Y, et al	脳神経内科	Painful trigeminal neuropathy associated with anti-Plexin D1 antibody	Neurol Neuroimmunol Neuroinflamm. 2020 Jun 25;7(5):e819.	Original Article
72	Watanabe M*, Nakamura Y*, Isobe N, et al	脳神経内科	Two susceptible HLA-DRB1 alleles for multiple sclerosis differentially regulate anti-JC virus antibody serostatus along with fingolimod	J Neuroinflammation. 2020 Jul 9;17(1):206.	Original Article
73	Hayashida S*, Masaki K*, Suzuki SO, et al	脳神経内科	Distinct microglial and macrophage distribution patterns in the concentric and lamellar lesions in Baló's disease and neuromyelitis optica spectrum disorders	Brain Pathol. 2020 Nov;30(6):1144-1157.	Original Article
74	Imamura T, Yanagihara Y, Ohyagi Y, et al	脳神経内科	Insulin deficiency promotes formation of toxic amyloid- β 42 conformer co-aggregating with hyper-phosphorylated tau oligomer in an Alzheimer's disease model	Neurobiol Dis. 2020 Apr;137:104739.	Original Article
75	Watanabe M, Nakamura Y, Sato S, et al	脳神経内科	HLA genotype-clinical phenotype correlations in multiple sclerosis and neuromyelitis optica spectrum disorders based on Japan MS/NMOSD Biobank data	Sci Rep. 2021 Jan 12;11(1):607.	Original Article
76	Tanaka K, Matsumoto S, Yamada T, et al	脳神経内科	Reduced post-ischemic brain injury in Transient receptor potential vanilloid 4 knockout mice	Front Neurosci. 2020 May 12;14:453.	Original Article
77	Matsushita T, Masaki K, Isobe N, et al	脳神経内科	Genetic factors for susceptibility to and manifestations of neuromyelitis optica	Ann Clin Transl Neurol. 2020 Nov;7(11):2082-2093.	Original Article
78	Hayashi F, Isobe N, Glanville J, et al	脳神経内科	A new clustering method identifies multiple sclerosis-specific T-cell receptors	Ann Clin Transl Neurol. 2021 Jan;8(1):163-176.	Original Article

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
79	Ogata H, Zhang X, Inamizu S, et al	脳神経内科	Optic, trigeminal, and facial neuropathy related to anti-neurofascin 155 antibody	Ann Clin Transl Neurol. 2020 Nov;7(11):2297-2309.	Original Article
80	Matsuse D, Yamasaki R, Maimaitijiang G, et al	脳神経内科	Early decrease in intermediate monocytes in peripheral blood is characteristic of multiple system atrophy-cerebellar type	J Neuroimmunol. 2020 Dec 15;349:577395.	Original Article
81	Fukumoto S, Nakamura Y, Watanabe M, et al	脳神経内科	Risk HLA-DRB1 alleles differentially influence brain and lesion volumes in Japanese patients with multiple sclerosis	J Neurol Sci. 2020 Jun 15;413:116768.	Original Article
82	Sadashima S, Honda H, Suzuki SO, et al	脳神経内科	Accumulation of Astrocytic Aquaporin 4 and Aquaporin 1 in Prion Protein Plaques	J Neuropathol Exp Neurol. 2020 Apr 1;79(4):419-429.	Original Article
83	Inamizu S, Yamada E, Ogata K, et al	脳神経内科	Neuromagnetic correlates of hemispheric specialization for face and word recognition	Neurosci Res. 2020 Jul;156:108-116.	Original Article
84	Tanaka K, Matsumoto S, Furuta K, et al	脳神経内科	Modified diffusion-weighted imaging-Alberta Stroke Program Early Computed Tomography Score including deep white matter lesions predicts symptomatic intracerebral hemorrhage following intravenous thrombolysis	J Thromb Thrombolysis. 2020 Jul;50(1):174-180.	Original Article
85	Tanaka K, Matsumoto S, Furuta K, et al	脳神経内科	Differences between predictive factors for early neurological deterioration due to hemorrhagic and ischemic insults following intravenous recombinant tissue plasminogen activator	J Thromb Thrombolysis. 2020 May;49(4):545-550.	Original Article
86	Prawiroharjo P, Yamashita K, Togao O, et al	脳神経内科	Disconnection of the right superior parietal lobule from the precuneus is associated with memory impairment in oldest-old Alzheimer's disease patients	Heliyon. 2020 Jul 22;6(7):e04516.	Original Article
87	Yanagihara Y, Hayashi S, Koge J, et al	脳神経内科	Immunotherapy-refractory vacuolar myopathy with mucin deposition in scleromyxedema: A possible role of fibroblast growth factor 2	Neuropathology. 2020 Oct;40(5):492-495.	Case report
88	Akiyama Y, Matoba T, Katsuki S, et al.	循環器内科	Comparison of Endothelial Dysfunction in Coronary Arteries with Bare Metal and 2 nd-Generation Drug-Eluting Stents	J Atheroscler Thromb. 2021 Feb 19.	Original Article
89	Deguchi H, Ikeda M, Ide T, et al.	循環器内科	Roxadustat Markedly Reduces Myocardial Ischemia Reperfusion Injury in Mice	Circ J. 2020 May 25;84(6):1028-1033.	Original Article
90	Enzan N, Matsushima S, Ide T, et al.	循環器内科	Clinical Characteristics and Contemporary Management of Patients With Cardiomyopathies in Japan - Report From a National Registry of Clinical Personal Records	Circ Rep. 2021 Feb 11;3(3):142-152.	Original Article
91	Fujino T, Imamura T, Nitta D, et al.	循環器内科	Effect of Concomitant Tricuspid Valve Surgery With Left Ventricular Assist Device Implantation	Ann Thorac Surg. 2020 Sep;110(3):918-924.	Original Article
92	Fujino T, Kumai Y, Nitta D, et al.	循環器内科	Hypogammaglobulinemia following heart transplantation: Prevalence, predictors, and clinical importance	Clin Transplant. 2020 Dec;34(12):e14087.	Original Article
93	Fujino T, Sayer A, Nitta D, et al.	循環器内科	Longitudinal Trajectories of Hemodynamics Following Left Ventricular Assist Device Implantation	J Card Fail. 2020 May;26(5):383-390.	Original Article
94	Hashimoto T, Kamada K, Matsushima S, et al.	循環器内科	Regression of Electrocardiographic Left Ventricular Hypertrophy and Strain Pattern Using Pharmacotherapy in a Patient With Dilated Cardiomyopathy	CJC Open. 2020 Nov 20;3(3):387-389.	Case Report

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
95	Hosokawa K, Abe K, Yamasaki Y, et al.	循環器内科	Multistage Strategy With Perfusion SPECT and CT Pulmonary Angiogram in Balloon Pulmonary Angioplasty for Totally Occluded Lesions in CTEPH	EuroIntervention. 2020 Jul 21;EIJ-D-20-00652.	Case Report
96	Ikeda M, Ide T, Furusawa S, et al.	循環器内科	Heart Rate Reduction with Ivabradine Prevents Cardiac Rupture after Myocardial Infarction in Mice	Cardiovasc Drugs Ther. 2021 Jan 7.	Original Article
97	Ikeda S, Nogami A, Inoue K, et al.	循環器内科	Closed-loop stimulation as a physiological rate-modulated pacing approach based on intracardiac impedance to lower the atrial tachyarrhythmia burden in patients with sinus node dysfunction and atrial fibrillation	J Cardiovasc Electrophysiol. 2020 May;31(5):1187-1194.	Original Article
98	Kai T, Ono Y, Matsushima S, et al.	循環器内科	Undiagnosed Cardiac Sarcoidosis Causing Refractory Heart Failure After Acute Myocardial Infarction due to Thromboembolism	Int Heart J. 2021 Mar 30;62(2):437-440.	Case report
99	Kashihara S, Ohtani K, Sato T, et al.	循環器内科	A Rare Manifestation of Right Ventricular Dysfunction in an Adult Patient With Mucopolipidosis Type III α / β	Can J Cardiol. 2020 Dec;36(12):1978.e1-1978.e3.	Case Report
100	Katsuki M, Hashimoto T, Ushijima T, et al.	循環器内科	Minimized myocardial infarction despite left main coronary artery thrombotic occlusion in a patient with left ventricular assist device	Eur Heart J Case Rep. 2021 Feb 28;5(3):ytab065.	Case Report
101	Katsuki S, Koga JI, Matoba T, et al.	循環器内科	Nanoparticle-Mediated Delivery of Pitavastatin to Monocytes/Macrophages Inhibits Angiotensin II-Induced Abdominal Aortic Aneurysm Formation in Apoe $-/-$ Mice	J Atheroscler Thromb. 2021 Jan 15.	Original Article
102	Matoba T, Sakamoto K, Nakai M, et al.	循環器内科	Institutional Characteristics and Prognosis of Acute Myocardial Infarction With Cardiogenic Shock in Japan - Analysis From the JROAD/JROAD-DPC Database	Circ J. 2021 Mar 4.	Original Article
103	Matoba T.	循環器内科	Influenza and Pneumococcal Vaccination in Coronary Artery Disease	J Atheroscler Thromb. 2021 Feb 5.	Letter
104	Miyake R, Ohtani K, Hashimoto T, et al.	循環器内科	Takotsubo syndrome in a heart transplant recipient with poor cardiac sympathetic reinnervation	ESC Heart Fail. 2020 Jun;7(3):1145-1149.	Case Report
105	Nagata T, Hata J, Sakata S, et al.	循環器内科	Serum N-terminal pro-B-type natriuretic peptide as a predictor for future development of atrial fibrillation in a general population: the Hisayama Study	Int J Cardiol. 2020 Dec 1;320:90-96.	Original Article
106	Okabe K, Matsushima S, Ikeda S, et al.	循環器内科	DPP (Dipeptidyl Peptidase)-4 Inhibitor Attenuates Ang II (Angiotensin II)-Induced Cardiac Hypertrophy via GLP (Glucagon-Like Peptide)-1-Dependent Suppression of Nox (Nicotinamide Adenine Dinucleotide Phosphate Oxidase) 4-HDAC (Histone Deacetylase) 4 Pathway	Hypertension. 2020 Apr;75(4):991-1001.	Original Article
107	Tadokoro T, Ikeda M, Ide T, et al.	循環器内科	Mitochondria-dependent ferroptosis plays a pivotal role in doxorubicin cardiotoxicity	JCI Insight. 2020 May 7;5(9):e132747.	Original Article
108	Tsutsui H, Ide T, Kawasaki Y.	循環器内科	Is High Heart Rate Always Harmful to Heart Failure Patients? - Reply	Circ J. 2020 Aug 25;84(9):1674-1675.	Letter
109	Umemoto S, Sakamoto I, Abe K, et al.	循環器内科	Preoperative Threshold for Normalizing Right Ventricular Volume After Transcatheter Closure of Adult Atrial Septal Defect	Circ J. 2020 Jul 22;84(8):1312-1319.	Original Article
110	Yoshikawa T, Hata J, Sakata S, et al.	循環器内科	Serum High-Sensitivity C-Reactive Protein Levels and the Development of Atrial Fibrillation in a General Japanese Population - The Hisayama Study	Circ J. 2021 Feb 18.	Original Article

小計15件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
111	Okamoto I., Nokihara H., Nomura S. et al	呼吸器科	Comparison of Carboplatin Plus Pemetrexed Followed by Maintenance Pemetrexed With Docetaxel Monotherapy in Elderly Patients With Advanced Nonsquamous Non-Small Cell Lung Cancer: A Phase 3 Randomized Clinical Trial	JAMA Oncol. 2020 May 1;6(5):e196828.	Original Article
112	Iwama E., Goto Y., Murakami H. et al	呼吸器科	Survival Analysis for Patients with ALK Rearrangement-Positive Non-Small Cell Lung Cancer and a Poor Performance Status Treated with Alectinib: Updated Results of Lung Oncology Group in Kyushu 1401	Oncologist. 2020 Apr;25(4):306-e618.	Original Article
113	Otsubo K., Iwama E., Ijichi K. et al	呼吸器科	Paired genetic analysis by next-generation sequencing of lung cancer and associated idiopathic pulmonary fibrosis	Cancer Sci. 2020 Jul;111(7):2482-2487.	Original Article
114	Shiraishi Y., Kishimoto J., Tanaka K. et al	呼吸器科	Treatment Rationale and Design for APPLE (WJOG11218L): A Multicenter, Open-Label, Randomized Phase 3 Study of Atezolizumab and Platinum/Pemetrexed With or Without Bevacizumab for Patients With Advanced Nonsquamous Non-Small-Cell Lung Cancer	Clin Lung Cancer. 2020 Sep;21(5):472-476.	Original Article
115	Ikematsu Y., Tanaka K., Toyokawa G. et al	呼吸器科	NEUROD1 is highly expressed in extensive-disease small cell lung cancer and promotes tumor cell migration	Lung Cancer. 2020 Aug;146:97-104.	Original Article
116	Ando N., Tanaka K., Otsubo K. et al	呼吸器科	Association of Mps one binder kinase activator 1 (MOB1) expression with poor disease-free survival in individuals with non-small cell lung cancer	Thorac Cancer. 2020 Oct;11(10):2830-2839.	Original Article
117	Suzuki K., Yanagihara T., Matsumoto K. et al	呼吸器科	Immune-checkpoint profiles for T cells in bronchoalveolar lavage fluid of patients with immune-checkpoint inhibitor-related interstitial lung disease	Int Immunol. 2020 Jul 28;32(8):547-557.	Original Article
118	Matsumoto K, Yanagihara T, Tanaka K.	呼吸器科	A measuring method for occupancy of immune checkpoint inhibitors in the cell surface.	Biochem Biophys Res Commun. 2020 Jun 18;527(1):213-217.	Original Article
119	Yamamoto N, Kan-o K, Tatsuta M, et al	呼吸器科	Incense smoke-induced oxidative stress disrupts tight junctions and bronchial epithelial barrier integrity and induces airway hyperresponsiveness in mouse lungs	Sci Rep. 2021 Mar 31;11(1):7222.	Original Article
120	Kato M, Onoyama I, Yoshida S, et al	産科婦人科	Dual-specificity phosphatase 6 plays a critical role in the maintenance of a cancer stem-like cell phenotype in human endometrial cancer	Int J Cancer. 2020 Oct 1;147(7):1987-1999.	Original Article
121	Sonoda K, Nogami M, Kodama K, et al	産科婦人科	Re-evaluation of preoperative endometrial smears for the cytodiagnosis of uterine leiomyosarcoma	Eur J Gynaecol Oncol. 2020 Apr; 167-170	Original Article
122	Tomari H, Kawamura T, Asanoma K, et al	産科婦人科	Contribution of senescence in human endometrial stromal cells during proliferative phase to embryo receptivity†	Biol Reprod. 2020 Jun 23;103(1):104-113.	Original Article
123	Okugawa K, Yahata H, Sonoda K, et al	産科婦人科	Safety evaluation of abdominal trachelectomy in patients with cervical tumors ≥2 cm: a single-institution, retrospective analysis	J Gynecol Oncol. 2020 Jul;31(4):e41.	Original Article
124	Yahata H, Sonoda K, Inoue S, et al	産科婦人科	Is Adjuvant Therapy Necessary for Patients with Intermediate-Risk Cervical Cancer after Open Radical Hysterectomy?	Oncology. 2020 Dec; 98(12): 853-858	Original Article
125	Okugawa K, Yahata H, Sonoda K, et al	産科婦人科	Evaluation of adjuvant chemotherapy after abdominal trachelectomy for cervical cancer: a single-institution experience	Int J Clin Oncol. 2021 Jan;26(1):216-224.	Original Article
126	Kato K, Terauchi M	産科婦人科	Annual report of the Women's Health Care Committee, Japan Society of Obstetrics and Gynecology, 2020	J Obstet Gynaecol Res. 2021 Jan;47(1):52-62.	Others

小計15件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
127	Kato M, Onoyama I, Kawakami M, et al	産科婦人科	Downregulation of 5-hydroxymethylcytosine is associated with the progression of cervical intraepithelial neoplasia	PLoS One. 2020 Nov 3;15(11):e0241482.	Original Article
128	Yoshida S, Asanoma K, Yagi H, et al	産科婦人科	Fibronectin mediates activation of stromal fibroblasts by SPARC in endometrial cancer cells	BMC Cancer. 2021 Feb 12;21(1):156.	Original Article
129	Kawamura T, Tomari H, Onoyama I, et al	産科婦人科	Identification of genes associated with endometrial cell ageing	Mol Hum Reprod. 2021 Feb 5;27(2):gaaa078.	Original Article
130	Suzuki I, Yoshida S, Tabu K, et al	産科婦人科	YBX2 and cancer testis antigen 45 contribute to stemness, chemoresistance and a high degree of malignancy in human endometrial cancer	Sci Rep. 2021 Feb 18;11(1):4220.	Original Article
131	Yasunaga M, Yahata H, Okugawa K, et al	産科婦人科	Prognostic impact of the subclassification of Müllerian cancer stage IV in the FIGO 2014 staging system with a focus of extra-abdominal lymph node metastases	Int J Clin Oncol. 2021 Mar 30.	Original Article
132	Nakahara K, Michikawa T, Morokuma S, et al	総合周産期母子医療センター(母性胎児部門)	Association of maternal sleep before and during pregnancy with preterm birth and early infant sleep and temperament	Sci Rep. 2020 Jul 6;10(1):11084.	Original Article
133	Nakahara K, Michikawa T, Morokuma S, et al	総合周産期母子医療センター(母性胎児部門)	Non-reassuring foetal status and sleep problems in 1-year-old infants in the Japan Environment and Children's Study: a cohort study	Sci Rep. 2020 Jul 10;10(1):11432.	Original Article
134	Nitahara K, Hidaka N, Sakai A, et al	総合周産期母子医療センター(母性胎児部門)	The impact of general anesthesia on mother-infant bonding for puerperants who undergo emergency cesarean deliveries	J Perinat Med. 2020 Jun 25;48(5):463-470.	Original Article
135	Maehara K, Morokuma S, Nakahara K, et al	総合周産期母子医療センター(母性胎児部門)	A study on the association between eye movements and regular mouthing movements (RMMs) in normal fetuses between 24 to 39 weeks of gestation	PLoS One. 2020 May 29;15(5):e0233909.	Original Article
136	Hara A, Hidaka N, Nitahara K, et al	総合周産期母子医療センター(母性胎児部門)	Intrathoracic shunt displacement with massive pleural effusion after successful shunt placement in a hydrotic fetus with multilocular macrocystic congenital pulmonary airway malformation	J Clin Ultrasound. 2021 Feb;49(2):149-153.	Case report
137	Katayama Y, Kido S, Kai S, et al	総合周産期母子医療センター(母性胎児部門)	Massive atonic bleeding during cesarean delivery in a patient with chronic idiopathic intestinal pseudo-obstruction: A case report and literature review	J Obstet Gynaecol Res. 2020 Oct;46(10):2153-2158.	Case report
138	Kinoshita K, Ishizaki Y, Yamamoto H, et al.	小児科	De novo p.G696S mutation in COL4A1 causes intracranial calcification and late-onset cerebral hemorrhage: A case report and review of the literature	Eur J Med Genet. 2020 Apr;63(4):103825.	Review
139	Matsuoka R, Furuno K, Nanishi E, et al.	小児科	Delayed Development of Coronary Artery Aneurysm in Patients with Kawasaki Disease Who Were Clinically Responsive to Immunoglobulin	J Pediatr. 2020 Dec;227:224-230.e3.	Original Article
140	Matsuoka R, Muneuchi J, Nagatomo Y, et al.	小児科	Headache and Left Ventricular Efficiency After Transcatheter Closure of Atrial Septal Defect	Headache. 2020 Nov;60(10):2421-2430.	Original Article
141	Egami N, Muta R, Anami A, et al.	小児科	Impact of clinical practice guidelines for vacuum-assisted delivery on maternal and neonatal outcomes in Japan: A single-center observational study	J Obstet Gynaecol Res. 2021 Jan;47(1):167-173.	Original Article
142	Imai T, Nishiyama K, Ueki K, et al.	小児科	Involvement of activated cytotoxic T lymphocytes and natural killer cells in Henoch-Schönlein purpura nephritis	Clin Transl Immunology. 2020 Nov 24;9(11):e1212.	Original Article

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
143	Imai T, Shiraishi A, Nishiyama K, et al.	小児科	Lipopolysaccharide-induced monocyte death in a novel ZnF7 domain mutation of TNFAIP3	J Allergy Clin Immunol Pract. 2020 Jun;8(6):2071-2074.e5.	Original Article
144	Taira R, Inoue H, Sawano T, et al.	小児科	Management of apnea in infants with trisomy 18	Dev Med Child Neurol. 2020 Jul;62(7):874-878.	Original Article
145	Egami N, Muta R, Korematsu T, et al.	小児科	Mild neonatal complications following guideline-compliant vacuum-assisted delivery in Japan: improvements still needed	J Matern Fetal Neonatal Med. 2020 Sep 13;1-7.	Original Article
146	Torio M, Iwayama M, Sawano T, et al.	小児科	Neurodevelopmental outcomes of high-risk preterm infants: A prospective study in Japan	Neurology Clin Prac. 2020 Aug;28	Original Article
147	Nishiyama K, Watanabe Y, Ishimura M, et al.	小児科	Parvovirus B19-Infected Tubulointerstitial Nephritis in Hereditary Spherocytosis	Open Forum Infect Dis. 2020 Jul 6;7(8):ofaa288.	Original Article
148	Koga Y, Sekimizu M, Iguchi A, et al.	小児科	Phase I study of brentuximab vedotin (SGN-35) in Japanese children with relapsed or refractory CD30-positive Hodgkin's lymphoma or systemic anaplastic large cell lymphoma.	Int J Hematol. 2020 May;111(5):711-718.	Original Article
149	Nagata H, Yamamura K, Sakamoto I, et al.	小児科	Portosystemic venous shunt in the patients with Fontan circulation	Heart Vessels. 2021 Feb;36(2):285-290.	Original Article
150	Uike K, Saku K, Nishikawa T, et al.	小児科	Prediction of hemodynamics after atrial septal defect closure using a framework of circulatory equilibrium in dogs	Am J Physiol Heart Circ Physiol. 2020 Nov 1;319(5):H938-H947.	Original Article
151	Nagata H, Glick L, Loughheed J, et al.	小児科	Prenatal Diagnosis of Transposition of the Great Arteries Reduces Postnatal Mortality: A Population-Based Study	Can J Cardiol. 2020 Oct;36(10):1592-1597.	Original Article
152	Nishiyama K, Kurokawa M, Torio M, et al.	小児科	Gastrointestinal symptoms as an extended clinical feature of Pierson syndrome: a case report and review of the literature	BMC Med Genet. 2020 Apr 15;21(1):80.	Case report
153	Yada Y, Koga Y, Ono H, et al.	小児科	Acute isolated Aspergillus appendicitis in pediatric leukemia	J Infect Chemother. 2020 Nov;26(11):1229-1231.	Original Article
154	Matsuoka R, Muneuchi J, Sugitani Y.	小児科	Successful coil embolisation for an arterio-bronchial fistula in a child presenting catastrophic haemoptysis	Cardiol Young. 2020 Nov;30(11):1744-1746.	Others
155	Mori Y, Nakata K, Ideno N, et al.	第一外科	Efficacy of Distal Pancreatectomy Combined With Modified DuVal Procedure in Patients With a High Risk of Postoperative Pancreatic Fistula	Am Surg. 2021 Feb 10;3134821995088.	Original Article
156	Ichimiya S, Onishi H, Nagao S, et al.	第一外科	GLI2 but not GLI1/GLI3 plays a central role in the induction of malignant phenotype of gallbladder cancer	Oncol Rep. 2021 Mar;45(3):997-1010.	Original Article
157	Noguchi H, Hisadome Y, Sato Y, et al.	第一外科	Impact of the introduction of pure retroperitoneoscopic living-donor nephrectomy on perioperative donor outcomes: A propensity score matching comparison with hand-assisted laparoscopic living-donor nephrectomy	Asian J Endosc Surg. 2021 Feb 9.	Original Article
158	Sadakari Y, Hisano K, Sada M, et al.	第一外科	Long-term effects of laparoscopic lateral pelvic lymph node dissection on urinary retention in rectal cancer	Surg Endosc. 2021 Feb 22.	Original Article

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
159	Tomihara K, Hisadome Y, Noguchi H, et al.	第一外科	Serum pancreatic enzymes in the early postoperative period predict complications associated with pancreatic fluid after pancreas transplantation: A retrospective, single-center, observational cohort study	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2021 Jan 18.	Original Article
160	Doi Y, Hibino M, Hase R, et al.	第一外科	A Prospective, Randomized, Open-Label Trial of Early versus Late Favipiravir Therapy in Hospitalized Patients with COVID-19	Antimicrob Agents Chemother. 2020 Nov 17;64(12):e01897-20.	Original Article
161	Hisadome Y, Noguchi H, Nakafusa Y, et al.	第一外科	Association of Pretransplant BK Polyomavirus Antibody Status with BK Polyomavirus Infection After Kidney Transplantation: A Prospective Cohort Pilot Study of 47 Transplant Recipients	Transplant Proc. Jul-Aug 2020;52(6):1762-1768.	Original Article
162	Nagayoshi K, Nagai S, Hisano K, et al.	第一外科	Atrophic change of the abdominal rectus muscle significantly influences the onset of parastomal hernias beyond existing risk factors after end colostomy	Hernia. 2021 Feb;25(1):141-148.	Original Article
163	Matsuda R, Miyasaka Y, Yamada Y, et al.	第一外科	Chronic Inflammatory Changes and Oxidative Stress in the Background of "Pancreatic Ductal Adenocarcinoma Concomitant With Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm"	Virchows Arch. 2020 Dec;477(6):799-806.	Original Article
164	Kubota K, Jang JY, Nakanuma Y, et al.	第一外科	Clinicopathological characteristics of intraductal papillary neoplasm of the bile duct: a Japan-Korea collaborative study	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2020 Sep;27(9):581-597.	Original Article
165	Kawaji H, Kubo M, Yamashita N, et al.	第一外科	Comprehensive molecular profiling broadens treatment options for breast cancer patients	Cancer Med. 2021 Jan;10(2):529-539.	Original Article
166	Matsuda R, Miyasaka Y, Ohishi Y, et al.	第一外科	Concomitant Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma Is an Independent Predictive Factor for the Occurrence of New Cancer in the Remnant Pancreas	Ann Surg. 2020 May;271(5):941-948.	Original Article
167	Mori Y, Nakata K, Ideno N, et al.	第一外科	Congenital biliary dilatation in the era of laparoscopic surgery, focusing on the high incidence of anatomical variations of the right hepatic artery	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2020 Nov;27(11):870-876.	Original Article
168	Macgregor-Das A, Yu J, Tamura K, et al.	第一外科	Detection of Circulating Tumor DNA in Patients with Pancreatic Cancer Using Digital Next-Generation Sequencing	J Mol Diagn. 2020 Jun;22(6):748-756.	Original Article
169	Ueki K, Tsuchimoto A, Matsukuma Y, et al.	第一外科	Development and validation of a risk score for the prediction of cardiovascular disease in living donor kidney transplant recipients	Nephrol Dial Transplant. 2021 Jan 25;36(2):365-374.	Original Article
170	Fujiwara K, Abe A, Masatsugu T, et al.	第一外科	Effect of gallbladder polyp size on the prediction and detection of gallbladder cancer	Surg Endosc. 2020 Sep 24.	Original Article
171	Mei T, Noguchi H, Suetsugu K, et al.	第一外科	Effects of Concomitant Administration of Vonoprazan Fumarate on the Tacrolimus Blood Concentration in Kidney Transplant Recipients	Biol Pharm Bull. 2020 Oct;43(10):1600-1603.	Original Article
172	Abe T, Koi C, Kohi S, et al.	第一外科	Gene Variants That Affect Levels of Circulating Tumor Markers Increase Identification of Patients With Pancreatic Cancer	Clin Gastroenterol Hepatol. 2020 May;18(5):1161-1169.e5.	Original Article
173	Araki T, Noguchi H, Kaku K, et al.	第一外科	Hand-Assisted Laparoscopic vs Hand-Assisted Retroperitoneoscopic Living-Donor Nephrectomy: A Retrospective, Single-Center, Propensity-Score Analysis of 840 Transplants Using 2 Techniques	Transplant Proc. Jul-Aug 2020;52(6):1655-1660.	Original Article
174	Mei T, Noguchi H, Hisadome Y, et al.	第一外科	Hepatitis B virus reactivation in kidney transplant patients with resolved hepatitis B virus infection: Risk factors and the safety and efficacy of preemptive therapy	Transpl Infect Dis. 2020 Apr;22(2):e13234.	Original Article

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
175	Miyasaka Y, Ohtsuka T, Matsuda R, et al.	第一外科	High-risk lesions in the remnant pancreas: fate of the remnant pancreas after pancreatic resection for pancreatic cancer and intraductal papillary mucinous neoplasms	Surg Today. 2020 Aug;50(8):832-840.	Original Article
176	Meier RPH, Noguchi H, Kelly YMD, Sarwal, et al.	第一外科	Impact of Sarcopenia on Simultaneous Pancreas and Kidney Transplantation Outcomes: A Retrospective Observational Cohort Study	Transplant Direct. 2020 Sep 25;6(10):e610.	Original Article
177	Fujiwara K, Saung MT, Jing H, et al.	第一外科	Interrogating the immune-modulating roles of radiation therapy for a rational combination with immune-checkpoint inhibitors in treating pancreatic cancer	J Immunother Cancer. 2020 Jul;8(2):e000351.	Original Article
178	Miyasaka Y, Ohtsuka T, Kimura R, et al.	第一外科	Is remnant pancreatic cancer after pancreatic resection more frequent in early-stage pancreatic cancer than in advanced-stage cancer?	Ann Gastroenterol Surg. 2020 May 5;4(4):448-454.	Original Article
179	Kurata K, Kubo M, Kai M, et al.	第一外科	Microsatellite instability in Japanese female patients with triple-negative breast cancer	Breast Cancer. 2020 May;27(3):490-498.	Original Article
180	Yoshida Y, Tamura T, Otani K, et al.	第一外科	Mortality related to drug-resistant organisms in surgical sepsis-3: an 8-year time trend study using sequential organ failure assessment scores	Eur J Clin Microbiol Infect Dis. 2021 Mar;40(3):535-540.	Original Article
181	Nakayama K, Onishi H, Fujimura A, et al.	第一外科	NF κ B and TGF β contribute to the expression of PTPN3 in activated human lymphocytes	Cell Immunol. 2020 Dec;358:104237.	Original Article
182	Fujiwara K, Masatsugu T, Abe A, et al.	第一外科	Preoperative diagnoses and identification rates of unexpected gallbladder cancer	PLoS One. 2020 Sep 18;15(9):e0239178.	Original Article
183	Kawai M, Yamaue H, Jang JY, et al.	第一外科	Propensity score-matched analysis of internal stent vs external stent for pancreatojejunostomy during pancreaticoduodenectomy: Japanese-Korean cooperative project	Pancreatol. 2020 Jul;20(5):984-991.	Original Article
184	Noguchi H, Tsuchimoto A, Ueki K, et al.	第一外科	Reduced Recurrence of Primary IgA Nephropathy in Kidney Transplant Recipients Receiving Everolimus With Corticosteroid: A Retrospective, Single-Center Study of 135 Transplant Patients	Transplant Proc. 2020 Dec;52(10):3118-3124.	Original Article
185	Ishida S, Makihara Y, Watanabe, et al.	第一外科	Risk Factors for Gemcitabine-Induced Vascular Pain in Patients With Pancreatic Cancer	Ann Pharmacother. 2020 Oct 23;1060028020969354.	Original Article
186	Kimura R, Moriyama T, Ohuchida K, et al.	第一外科	Risk factors for postoperative pneumonia after laparoscopic gastrectomy in patients aged 75 years and over with gastric cancer	Asian J Endosc Surg. 2020 Nov 3.	Original Article
187	Nakagawa K, Tsuchimoto A, Ueki K, et al. Okumi M, Nakamura M, Nakano T, Tanabe K, Kitazono T	第一外科	Significance of revised criteria for chronic active T cell-mediated rejection in the 2017 Banff classification: Surveillance by 1-year protocol biopsies for kidney transplantation	Am J Transplant. 2021 Jan;21(1):174-185.	Original Article
188	Valencia S, Shindo K, Moriyama T, et al.	第一外科	Subcutaneous fat area as a risk factor for extraction site incisional hernia following gastrectomy for gastric cancer	Surg Today. 2020 Nov;50(11):1418-1426.	Original Article
189	Yamamoto M, Yoshida M, Furuse J, et al.	第一外科	Clinical practice guidelines for the management of liver metastases from extrahepatic primary cancers 2021	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2021 Jan;28(1):1-25.	Review
190	Ideno N, Mori Y, Nakamura M, Ohtsuka T	第一外科	Early Detection of Pancreatic Cancer: Role of Biomarkers in Pancreatic Fluid Samples	Diagnostics (Basel). 2020 Dec 6;10(12):1056.	Review

小計15件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
191	Miyasaka Y, Ohtsuka T, Nakamura M	第一外科	Minimally invasive surgery for pancreatic cancer	Surg Today. 2021 Feb;51(2):194-203.	Review
192	Mori M, Ikeda N, Taketomi A, et al.	第二外科	COVID-19: clinical issues from the Japan Surgical Society	Surg Today. 2020 Aug;50(8):794-808.	Review
193	Oki E, Kawahira M, Kusumoto T, et al.	第二外科	Multicenter Cohort Study to Assess the Association between Changes on Imaging and Outcome after Regorafenib Treatment (KSCC1603)	Oncology. 2020 OCT; 98:719-726.	Original Article
194	Oki E, Makiyama A, Miyamoto Y, et al.	第二外科	Trifluridine/tipiracil plus bevacizumab as a first-line treatment for elderly patients with metastatic colorectal cancer (KSCC1602): A multicenter phase II trial	Cancer Med. 2021 Jan;10(2):454-461.	Original Article
195	Kimura Y, Saeki H, Hu Q, et al.	第二外科	Thoracoscopic esophagectomy in total pharyngolaryngoesophagectomy for esophageal cancer; A case series	Ann Med Surg (Lond). 2020 Oct 12;60:9-13.	Original Article
196	Ando K, Kuriyama N, Fujimoto Y, et al.	第二外科	New Anastomosis Technique to Prevent Anastomotic Leakage in Laparoscopic Anterior Resection for Rectal Cancer, Especially Upper Rectal Cancer	In Vivo. Nov-Dec 2020;34(6):3533-3538.	Original Article
197	Nakanishi R, Konishi T, Nakaya E, et al.	第二外科	Predisposing factors and clinical impact of high-output syndrome after sphincter-preserving surgery with covering ileostomy for rectal cancer: a retrospective single-center cohort study	Int J Clin Oncol. 2021 Jan;26(1):118-125.	Original Article
198	Nakanishi R, Akiyoshi T, Toda S, et al.	第二外科	Radiomics Approach Outperforms Diameter Criteria for Predicting Pathological Lateral Lymph Node Metastasis After Neoadjuvant (Chemo)Radiotherapy in Advanced Low Rectal Cancer	Ann Surg Oncol. 2020 Oct;27(11):4273-4283.	Original Article
199	Nakanishi R, Fukunaga Y, Nagasaki T, et al.	第二外科	Laparoscopic-endoscopic cooperative surgery for ileal lipoma: A case report	Asian J Endosc Surg. 2020 Apr;13(2):219-222.	Case report
200	Hu Q, Hasuda H, Ueki K, et al.	第二外科	Reintroduction of nivolumab in a patient with gastric cancer after improvement of nivolumab-induced acute interstitial nephritis: a case report	Int Cancer Conf J. 2020 May 22;9(3):127-132.	Case Report
201	Hu Q, Masuda T, Kuramitsu S, et al.	第二外科	Potential association of LOXL1 with peritoneal dissemination in gastric cancer possibly via promotion of EMT	PLoS One. 2020 Oct 23;15(10):e0241140.	Original Article
202	Nonaka K, Kudou K, Sasaki S, et al.	第二外科	Primary anorectal malignant melanoma with laparoscopic abdominoperineal resection: a case study and review of the relevant literature.	Int Cancer Conf J. 2020 Apr 17;9(3):116-122.	Case Report
203	Fujimoto Y, Nakanishi R, Nukatsuka M, et al.	第二外科	Detection of trifluridine in tumors of patients with metastatic colorectal cancer treated with trifluridine/tipiracil	Cancer Chemother Pharmacol. 2020 Jun;85(6):1029-1038.	Original Article
204	Kuriyama N, Ando K, Hu Q, et al.	第二外科	Obstructive rectal endometriosis treated by robot-assisted laparoscopic surgery: a case report	Surg Case Rep. 2020 Aug 14;6(1):211.	Case Report
205	Toyota S, Kimura Y, Fujimoto Y, et al.	第二外科	A rare case of esophageal adenocarcinoma with urinary bladder metastasis	Int Cancer Conf J. 2020 Jul 18;9(4):231-234.	Case Report
206	Toyota S, Naito H, Motoyoshi S, et al.	第二外科	Extended total gastrectomy after nivolumab for unresectable multivisceral invasive gastric cancer	Surg Case Rep. 2020 Nov 25;6(1):298.	Case Report
207	Toyota S, Nakanishi R, Miyashita Y, et al.	第二外科	Quadruple gastrointestinal cancer with discordance of mismatch repair protein deficiency and microsatellite instability suggesting Lynch syndrome	Int Cancer Conf J. 2020 Nov 24;10(1):2-5.	Case Report

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
208	Hasuda H, Hu Q, Miyashita Y, et al.	第二外科	Gastric glomus tumor with a preoperative diagnosis by endoscopic ultrasonography-guided fine needle aspiration: a case report	Int Cancer Conf J. 2020 Sep 15;10(1):35-40.	Case Report
209	Takenaka T, Shoji F, Tagawa T, et al.	第二外科	Does short-term cessation of smoking before lung resections reduce the risk of complications?	J Thorac Dis. 2020 Dec;12(12):7127-7134.	Original Article
210	Kinoshita F, Takada K, Yamada Y, et al.	第二外科	Combined Evaluation of Tumor-Infiltrating CD8 + and FoxP3 + Lymphocytes Provides Accurate Prognosis in Stage IA Lung Adenocarcinoma	Ann Surg Oncol. 2020 Jun;27(6):2102-2109.	Original Article
211	Kinoshita F, Tagawa T, Akamine T, et al.	第二外科	Interleukin-38 promotes tumor growth through regulation of CD8 + tumor-infiltrating lymphocytes in lung cancer tumor microenvironment	Cancer Immunol Immunother. 2021 Jan;70(1):123-135.	Original Article
212	Furuyama T, Yamashita S, Yoshiya K, et al.	第二外科	The Controlling Nutritional Status Score is Significantly Associated with Complete Ulcer Healing in Patients with Critical Limb Ischemia	Ann Vasc Surg. 2020 Jul;66:510-517.	Original Article
213	Morisaki K, Furuyama T, Yoshiya K, et al.	第二外科	Frailty in patients with abdominal aortic aneurysm predicts prognosis after elective endovascular aneurysm repair	J Vasc Surg. 2020 Jul;72(1):138-143.	Original Article
214	Morisaki K, Furuyama T, Matsubara Y, et al.	第二外科	Thigh sarcopenia and hypoalbuminemia predict impaired overall survival after infrainguinal revascularization in patients with critical limb ischemia	Vascular. 2020 Oct;28(5):542-547.	Original Article
215	Itoh S, Yoshizumi T, Mori M	第二外科	Is sarcopenic obesity superior to sarcopenia as a predicting indicator in patients with hepatocellular carcinoma following hepatic resection?	Hepatobiliary Surg Nutr. 2020 Apr;9(2):202-204.	Letter
216	Itoh S, Yoshizumi T, Yugawa K, et al.	第二外科	Impact of Immune Response on Outcomes in Hepatocellular Carcinoma: Association With Vascular Formation	Hepatology. 2020 Dec;72(6):1987-1999.	Original Article
217	Takeishi K, Yoshizumi T, Itoh S, et al.	第二外科	Surgical Indications for Hepatocellular Carcinoma with Non-hypervascular Hypointense Nodules Detected by Gd-EOB-DTPA-Enhanced MRI	Ann Surg Oncol. 2020 Sep;27(9):3344-3353.	Original Article
218	Takeishi K, Mori M	第二外科	ASO Author Reflections: Impact of Borderline Nodules Incidentally Detected by MRI for Prognosis of Hepatocellular Carcinoma After Hepatectomy	Ann Surg Oncol. 2020 Sep;27(9):3354-3355.	Letter
219	Takeishi K, de l'Hortet AC, Wang Y, et al.	第二外科	Assembly and Function of a Bioengineered Human Liver for Transplantation Generated Solely from Induced Pluripotent Stem Cells	Cell Rep. 2020 Jun 2;31(9):107711.	Original Article
220	Iseda K, Itoh S, Yoshizumi T, et al.	第二外科	ARID1A Deficiency Is Associated With High Programmed Death Ligand 1 Expression in Hepatocellular Carcinoma	Hepatol Commun. 2020 Dec 30;5(4):675-688.	Original Article
221	Toshida K, Minagawa R, Kayashima H, et al.	第二外科	The Effect of Prone Positioning as Postoperative Physiotherapy to Prevent Atelectasis After Hepatectomy	World J Surg. 2020 Nov;44(11):3893-3900.	Original Article
222	Yoshizumi T, Itoh S, Shimokawa M, et al.	第二外科	Simultaneous splenectomy improves outcomes after adult living donor liver transplantation	J Hepatol. 2021 Feb;74(2):372-379.	Original Article
223	Harada N, Yoshizumi T, Matsuura T, et al.	第二外科	Usefulness of microsurgical back-table angioplasty for multiple hepatic arteries in living donor liver transplantation	Ann Gastroenterol Surg. 2020 Jul 6;4(6):735-740.	Original Article

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
224	Harada N, Yoshizumi T, Yoshiya S, et al.	第二外科	Use of Mycophenolate Mofetil Suspension as Part of Induction Therapy After Living-Donor Liver Transplant	Exp Clin Transplant. 2020 Aug;18(4):485-490.	Original Article
225	Toshima T, Yoshizumi T, Inokuchi S, et al.	第二外科	Risk factors for the metabolic syndrome components of hypertension, diabetes mellitus, and dyslipidemia after living donor liver transplantation	HPB (Oxford). 2020 Apr;22(4):511-520.	Original Article
226	Toshima T, Yoshizumi T, Harada N, et al.	第二外科	Hepatobiliary and Pancreatic: A new strategy of endoscopic ultrasonography-guided internal drainage for a refractory hepatic abscess after liver transplantation	J Gastroenterol Hepatol. 2020 Nov;35(11):1854.	Review
227	Toshima T, Yoshizumi T, Harada N, et al.	第二外科	Authors' Reply: Prognostic Impact of Osteopenia in Patients Who Underwent Living Donor Liver Transplantation for Hepatocellular Carcinoma	World J Surg. 2020 Sep;44(9):3184-3185.	Letter
228	Toshima T, Yoshizumi T, Shimagaki T, et al.	第二外科	Which is better to use "body weight" or "standard liver weight", for predicting small-for-size graft syndrome after living-donor liver transplantation?	Ann Gastroenterol Surg. 2020 Dec;11:1-10.(オンライン)	Original Article
229	Endo M, Takahashi S, Araki N, et al.	整形外科	Time lapse analysis of tumor response in patients with soft tissue sarcoma treated with trabectedin: A pooled analysis of two phase II clinical trials	Cancer Med. 2020 Jun;9(11):3656-3667.	Original Article
230	Ichigatani A, Hanada M, Kadota H, et al.	整形外科	Appropriate Wound Closure after Malignant Soft Tissue Tumor Excision: Need for Flap Surgery in Recurrent Tumors.	Fukuoka Acta Med:2020 Jun; 111(2):86-91.	Original Article
231	Hara D, Hamai S, Miller KR	整形外科	How does transtrochanteric anterior rotational osteotomy change the dynamic three-dimensional intact ratio in hips with osteonecrosis of the femoral head?	Clin Biomech. 2021 Feb; 82: 105284	Original Article
232	Shiomoto K, Hamai S, Hara D	整形外科	In vivo kinematics, component alignment and hardware variables influence on the liner-to-neck clearance during chair-rising after total hip arthroplasty	J Orthop Sci. 2020 May;25(3):452-459.	Original Article
233	Saiwai H, Okada S, Hayashida M, et al.	整形外科	Long-term outcomes of spinal meningioma resection with outer layer of dura preservation technique	J Clin Neurosci. 2021 Jan;83:68-70.	Original Article
234	Yamaguchi R, Nakamura T, Yamamoto T, et al.	整形外科	Subchondral fracture of the femoral head in children: Differential diagnosis of pediatric hip pain	J Orthop Surg (Hong Kong). Jan-Apr 2020;28(2):2309499020937862.	Case report
235	Yamaguchi R, Kamiya N, Kuroyanagi G, et al.	整形外科	Development of a murine model of ischemic osteonecrosis to study the effects of aging on bone repair	J Orthop Res. 2021 Feb 12.	Original Article
236	Higashioka K, Yoshimura M, Sakuragi T, et al.	整形外科	Human PD-1 hi CD8 + T Cells Are a Cellular Source of IL-21 in Rheumatoid Arthritis	Front Immunol. 2021 Mar 19;12:654623.	Original Article
237	Nakayama T, Yoshimura M, Higashioka K, et al.	整形外科	Type 1 helper T cells generate CXCL9/10-producing T-bet + effector B cells potentially involved in the pathogenesis of rheumatoid arthritis	Cell Immunol. 2021 Feb;360:104263.	Original Article
238	Yahiro K, Matsumoto Y, Yamada H, et al.	整形外科	Activation of TLR4 signaling inhibits progression of osteosarcoma by stimulating CD8-positive cytotoxic lymphocytes	Cancer Immunol Immunother. 2020 May;69(5):745-758.	Original Article
239	Yamada H, Tsuru T, Otsuka T, et al.	整形外科	Abatacept reduces disease activity of rheumatoid arthritis independently of modulating anti-citrullinated peptide antibody production	Immunol Med. 2020 Jun;43(2):87-91.	Original Article

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
240	Matsumoto Y, Saiwai H, Iida K, et al	整形外科	Shape Factor of the Spinal Cord: A Possible Predictor of Surgical Outcome for Intradural Extramedullary Spinal Tumors in the Thoracic Spine.	Global Spine J. 2021 Jan 7;2192568220982571.	Original article
241	Toda Y, Matsumoto Y, Morimoto T, et al	整形外科	En Bloc Resection for a Malignant Spine Tumor After Balloon Kyphoplasty: Histological Findings of a Retrieved Vertebral Body: A Case Report	JBJS Case Connect. 2021 Feb 23;11(1).	Case report
242	Hirose T, Ikegami M, Endo M, et al	整形外科	Extensive functional evaluation of exon 20 insertion mutations of EGFR	Lung Cancer. 2021 Feb;152:135-142.	Original article
243	Takeuchi N, Kozono N, Nishii A, et al.	整形外科	Stump classification was correlated with retear in the suture-bridge and double-row repair techniques for arthroscopic rotator cuff repair	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2021 Jan 18.	Original Article
244	Fujiwara T, Tokuda K, Momii K, et al	整形外科	Prognostic factors for the short-term mortality of patients with rheumatoid arthritis admitted to intensive care units	BMC Rheumatol. 2020 Dec 4;4(1):64.	Original Article
245	Fujiwara T, Ebihara T, Kitade K, et. al	整形外科	Risk Factors of Periprosthetic Infection in Patients with Tumor Prostheses Following Resection for Musculoskeletal Tumor of the Lower Limb	J Clin Med. 2020 Sep 28;9(10):3133.	Original Article
246	Motomura G, Hamai S, Ikemura S, et al	整形外科	Contemporary indications for first-time revision surgery after primary cementless total hip arthroplasty with emphasis on early failures	J Orthop Surg Res. 2021 Feb 17;16(1):140.	Original Article
247	Xu M, Motomura G, Ikemura S, et al	整形外科	Proximal femoral morphology after transtrochanteric posterior rotational osteotomy for osteonecrosis of the femoral head: A three-dimensional simulation study	Orthop Traumatol Surg Res. 2020 Dec;106(8):1569-1574.	Original Article
248	Kubo Y, Motomura G, Utsunomiya T, et al	整形外科	Distribution of Femoral Head Subchondral Fracture Site Relates to Contact Pressures, Age, and Acetabular Structure.	AJR Am J Roentgenol. 2020 Aug;215(2):448-457.	Original Article
249	Hatanaka H, Motomura G, Ikemura S, et al	整形外科	Effect of a Specific Questionnaire Sheet on Subclassification of Osteonecrosis of the Femoral Head	Med Sci Monit. 2020 May 4;26:e921327.	Original Article
250	Baba S, Motomura G, Ikemura S, et al	整形外科	Is bone mineral density lower in the necrotic lesion in pre-collapse osteonecrosis of the femoral head?	J Orthop Res. 2020 Nov;38(11):2434-2442.	Original Article
251	Motomura G, Yamamoto T, Kubo Y, et al	整形外科	Transtrochanteric Anterior Rotational Osteotomy Combined with Re-Sphericalization of the Collapsed Femoral Head Using Calcium Phosphate Cement Filling	Surg Technol Int. 2020 May 28;36:347-350.	Original Article
252	Komiyama K, Hamai S, Motomura G, et al.	整形外科	Total hip arthroplasty after periacetabular osteotomy versus primary total hip arthroplasty: a propensity-matched cohort study	Arch Orthop Trauma Surg. 2021 Feb 24.	Original Article
253	Kozono N, Takeuchi N, Okada T, et al.	整形外科	Dynamic scapulohumeral rhythm: Comparison between healthy shoulders and those with large or massive rotator cuff tear	J Orthop Surg (Hong Kong). Sep-Dec 2020;28(3):2309499020981779.	Original Article
254	Sueishi T, Akasaki Y, Goto N et al	整形外科	GRK5 Inhibition Attenuates Cartilage Degradation via Decreased NF- κ B Signaling	Arthritis Rheumatol. 2020 Apr;72(4):620-631.	Original Article
255	Akasaki Y, Kitade K, Motomura G et al	整形外科	Morphological changes affecting ipsilateral and contralateral leg alignment after total hip arthroplasty	J Orthop. 2020 Dec 29;23:73-77.	Original Article

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
256	Kawahara S, Hara T, Sato T, et al.	整形外科	Digitalized analyses of intraoperative acetabular component position using image-matching technique in total hip arthroplasty	Bone Joint Res. 2020 Jul 23;9(7):360-367.	Original Article
257	Yoshizaki S, Tamaru T, Hara M, et al	整形外科	Microglial inflammation after chronic spinal cord injury is enhanced by reactive astrocytes via the fibronectin/ β 1 integrin pathway	J Neuroinflammation. 2021 Jan 6;18(1):12.	Original Article
258	Yoshimoto K, Fukushi JI, Tsushima H	整形外科	Does Preparation of the Subtalar Joint for Primary Union Affect Clinical Outcome in Patients Undergoing Intramedullary Nail for Rheumatoid Arthritis of the Hindfoot and Ankle?	J Foot Ankle Surg. Sep-Oct 2020;59(5):984-987.	Original Article
259	Kawahara S, Mawatari T, Matsui G	整形外科	Malrotation of whole-leg radiograph less than 10 degrees does not influence preoperative planning in open-wedge high tibial osteotomy	J Orthop Res. 2020 Sep 3.	Original Article
260	P.J, L.T, N.A, et al	整形外科	Interleukin-4 repairs wear particle induced osteolysis by modulating macrophage polarization and bone turnover	J Biomed Mater Res A. 2020 Dec 19.	Original Article
261	Kawamura Y, Oketani H, Mizoguchi M, et al	脳神経外科	A Dorsally Located Endodermal Cyst in the Foramen Magnum Mimicking an Arachnoid Cyst: A Case Report	Pediatr Neurosurg. 2020 Nov;55(4):197-202.	Case report
262	Kusunoki M, Kikuchi K, Togao O, et al	脳神経外科	Differentiation of high-grade from low-grade diffuse gliomas using diffusion-weighted imaging: a comparative study of mono-, bi-, and stretched-exponential diffusion models	Neuroradiology. 2020 Jul;62(7):815-823.	Original Article
263	Sangatsuda Y, Miura F, Araki H, et al	脳神経外科	Base-resolution methylomes of gliomas bearing histone H3.3 mutations reveal a G34 mutant-specific signature shared with bone tumors	Sci Rep. 2020 Sep 30;10(1):16162.	Original Article
264	Funakoshi Y, Shono T, Kurogi A, et al	脳神経外科	Intraoperative Tissue Expansion Using a Foley Catheter for a Scalp Defect: Technical Note	World Neurosurg. 2020 Nov;143:62-67.	Original Article
265	Sadashima S, Suzuki SO, Haruyama H, et al	脳神経外科	A juvenile case of epilepsy-associated, isocitrate dehydrogenase wild-type/histone 3 wild-type diffuse glioma with a rare BRAF A598T mutation	Neuropathology. 2020 Dec;40(6):646-650.	Case report
266	Funakoshi Y, Hata N, Kuga D, et al	脳神経外科	Update on Chemotherapeutic Approaches and Management of Bevacizumab Usage for Glioblastoma	Pharmaceuticals (Basel). 2020 Dec 16;13(12):470.	Review
267	Amemiya T, Hata N, Mizoguchi M, et al	脳神経外科	Mesenchymal glioblastoma-induced mature de-novo vessel formation of vascular endothelial cells in a microfluidic device	Mol Biol Rep. 2021 Jan;48(1):395-403.	Original Article
268	Funakoshi Y, Hata N, Kuga D, et al	脳神経外科	Pediatric Glioma: An Update of Diagnosis, Biology, and Treatment	Cancers (Basel). 2021 Feb 12;13(4):758.	Review
269	Fujioka Y, Hata N, Akagi Y, et al	脳神経外科	Molecular diagnosis of diffuse glioma using a chip-based digital PCR system to analyze IDH, TERT, and H3 mutations in the cerebrospinal fluid	J Neurooncol. 2021 Mar;152(1):47-54.	Original Article
270	Ido K, Kurogi R, Kurogi A et al.	脳神経外科	Effect of treatment modality and cerebral vasospasm agent on patient outcomes after aneurysmal subarachnoid hemorrhage in the elderly aged 75 years and older	PLoS One. 2020 Apr 9;15(4):e0230953.	Original Article
271	Kurogi A, Nishimura A, Nishimura K et al.	脳神経外科	Temporal trends and geographical disparities in comprehensive stroke centre capabilities in Japan from 2010 to 2018	BMJ Open. 2020 Aug 6;10(8):e033055.	Original Article

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
272	Ren N, Nishimura A, Kurogi A et al.	脳神経外科	Measuring Quality of Care for Ischemic Stroke Treated With Acute Reperfusion Therapy in Japan – The Close The Gap-Stroke	Circ J. 2021 Jan 25;85(2):201–209.	Original Article
273	Mukae N, Morioka T, Torio M, et al.,	脳神経外科	Periodic discharges with high frequency oscillations recorded from a cerebellar gangliocytoma in an epileptic infant	Surg Neurol Int. 2021 Mar 17;12:98.	Case report
274	Mukae N, Morioka T, Suzuki SO, et al.,	脳神経外科	Two Cases of Large Filari Cyst Associated with Terminal Lipoma: Relationship with Retained Medullary Cord	World Neurosurg. 2020 Oct;142:294–298.	Case report
275	Abe K, Mukae N, Morioka T, et al.,	脳神経外科	Nonconvulsive status epilepticus associated with Alzheimer's disease mimicking symptomatic focal epilepsy following the resection of a frontal parasagittal meningioma	Surg Neurol Int. 2020 Dec 29;11:469.	Case report
276	Abe K, Mukae N, Morioka T, et al.,	脳神経外科	Tail-like cutaneous appendage at the upper thoracic region with a continuous stalk of limited dorsal myeloschisis	Interdisciplinary Neurosurgery 2020 December (22), 100823	Case report
277	Maehara N, Morioka T, Shimogawa T et al.	脳神経外科	Massive Ossification with Hematopoietic Marrow on Both Surfaces of the Expanded Polytetrafluoroethylene Artificial Dura Mater	World Neurosurg. 2020 Jul;139:405–409.	Case report
278	Murakami N, Morioka T, Suzuki SO et al.	脳神経外科	Clinicopathological findings of limited dorsal myeloschisis associated with spinal lipoma of dorsal-type	Interdisciplinary Neurosurgery. 2020 Sep;21:100781	Original Article
279	Morioka T, Murakami N, Suzuki SO et al.	脳神経外科	Neurosurgical Pathology and Management of Limited Dorsal Myeloschisis Associated with Congenital Dermal Sinus in Infancy	Pediatr Neurosurg. 2020 Aug;55(2):113–125.	Original Article
280	Motomatsu Y, Sakurai M, Onitsuka H, et al	心臓血管外科	Hypothermia Inhibits the Expression of Receptor Interacting Protein Kinases 1 and 3 After Transient Spinal Cord Ischemia in Rabbits	Eur J Vasc Endovasc Surg. 2020 May;59(5):824–833.	Original Article
281	Shiose A, Tanoue Y, Ushijima T, et al	心臓血管外科	Simultaneous performance of implantable left ventricular assist device implantation and the Fontan operation in a patient with fulminant myocarditis leading to asystole	J Heart Lung Transplant. 2020 Sep;39(9):988–990.	Original Article
282	Ushijima T, Sonoda H, Tanoue Y, et al	心臓血管外科	A therapeutic concept to resolve a possible coronary desaturation under Ecpella support and maximize the potential for myocardial recovery: combination of veno-arteriovenous extracorporeal membrane oxygenation and Impella (VAVEcpella)	Perfusion. 2020 Sep 15;267659120956540.	Case Report
283	Ushijima T, Tanoue Y, Hirayama K, et al	心臓血管外科	Pneumopericardium suggesting left ventricular assist device-related gastrointestinal complication	J Artif Organs. 2020 Sep;23(3):275–277.	Case Report
284	Oishi Y, Yamashita Y, Kimura S, et al	心臓血管外科	Preoperative distal aortic diameter is a significant predictor of late aorta-related events after endovascular repair for chronic type B aortic dissection	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2020 Oct;68(10):1086–1093.	Original Article
285	Tatewaki H, Fujita S, Kimura S, et al	心臓血管外科	Modification of Glenn anastomosis for total cavopulmonary connection conversion after atriopulmonary Fontan	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2020 Nov;68(11):1357–1359.	Case Report
286	Ushijima T, Tanoue Y, Oishi Y, et al	心臓血管外科	Chronological changes in residual false lumen under continuous-flow circulation	Ann Thorac Surg. 2020 Nov 26;S0003-4975(20)32017-8.	Case Report
287	Tatewaki H, Sakamoto I, Ushijima T, et al	心臓血管外科	Pulmonary Valve Replacement via Left Thoracotomy as an Alternative to Resternotomy	Ann Thorac Surg. 2020 Dec;110(6):e537–e539.	Case Report

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
288	Yamashita Y, Oishi Y, Matsuyama S, et al	心臓血管外科	Determinants of Changes in Arterial Stiffness after Thoracic Endovascular Aortic Repair	Annals of Vascular Surgery Volume 70, January 2021, Pages 474-480	Original Article
289	Ushijima T, Fujita S, Shingu N, et al	心臓血管外科	Aortic root morphology can cause early bioprosthetic valve failure of externally mounted pericardial bioprosthesis	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2021 Jan;69(1):107-109.	Case Report
290	Tanoue Y, Sonoda H, Ushijima T, et al	心臓血管外科	Successful papillary muscle approximation for severe mitral regurgitation via apical cuff hole in HeartMate 3 implantation via left anterior thoracotomy.	J Artif Organs. 2021 Jan 3.	Case Report
291	Nishijima T, Tanoue Y, Ushijima T, et al	心臓血管外科	A staged surgical strategy for cardiogenic shock and iatrogenic ventricular septal perforation due to malpositioned catheter	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2021 Feb;69(2):336-339.	Case Report
292	Kimura S, Ushijima T, Fujita S, et al	心臓血管外科	Efficacy of preoperative electrocardiographic-gated computed tomography in predicting the accurate aortic annulus diameter in surgical aortic valve replacement	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2021 Mar;69(3):466-471.	Original Article
293	Takahashi Y, Obata S, Matsuura T, et al.	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	The experiences of interval appendectomy for inflammatory appendiceal mass	Pediatr Int. 2021 Jan;63(1):88-93.	Original Article
294	Obata S, Souzaki R, Fukuta A, et al.	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	Which Is the Better Approach for Late-Presenting Congenital Diaphragmatic Hernia: Laparoscopic or Thoracoscopic? A Single Institution's Experience of more than 10 Years	J Laparoendosc Adv Surg Tech A. 2020 Sep;30(9):1029-1035.	Original Article
295	Fukuta A, Kakiuchi T, Sadashima E, et al.	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	Reference growth curves for normal appendiceal diameter in childhood	Sci Rep. 2020 Jul 22;10(1):12206.	Original Article
296	Fukuta A, Inoue T, Kawakubo N, et al.	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	Congenital intestinal atresia associated with a mesenteric cystic lymphangioma in a low birth weight neonate: A case report	Int J Surg Case Rep. 2020 Sep;75:136-139.	Case report
297	Fukuta A, Kamimura T, Furuno W, et al.	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	Abdominal esophageal banding for esophageal atresia with tracheoesophageal fistula in neonates with severe associated anomalies	Pediatr Surg Int. 2021 Feb;37(2):261-266.	Original Article
298	Matsuura T, Kohashi K, Kawano Y, et al.	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	Successful management to prevent early graft loss due to Seventh-day Syndrome after liver retransplantation: A case report and literature review	Pediatr Transplant. 2020 Nov 2;e13907.	Case report
299	Yoshimaru K, Yanagi Y, Obata S, et al.	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	Acetylcholinesterase staining for the pathological diagnosis of Hirschsprung's disease	Surg Today. 2021 Feb;51(2):181-186.	Review
300	Yoshimaru K, Matsuura T, Uchida Y, et al.	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	Ultrasound-guided double central venous access for azygos vein via the ninth and tenth intercostal veins	J Vasc Access. 2021 Mar;22(2):304-309.	Original Article
301	Yoshimaru K, Matsuura T, Yanagi Y, et al.	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	Successful Urgent Living Donor Liver Transplantation for Massive Liver Necrosis Accompanied by Nonocclusive Mesenteric Ischemia in a Biliary Atresia Infant: A Case Report	Transplant Proc. 2020 Nov;52(9):2802-2808.	Case report
302	Kawakubo N, Hishiki T, Shirakawa N, et al.	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	Surgical management of intertumor abscesses caused by fistulous communications with the intestine: rare complication in pediatric malignant tumor: 2 case reports.	Int J Surg. 2020 Dec 5(6):98	Case report
303	Kawano Y, Yoshimaru K, Uchida Y, et al.	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	Biliary atresia in a preterm and extremely low birth weight infant: a case report and literature review	Surg Case Rep. 2020 Dec 14;6(1):321.	Case report

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
304	Nakahara T, Kido-Nakahara M, Ulzii D,他	皮膚科	Topical application of endothelin receptor a antagonist attenuates imiquimod-induced psoriasiform skin inflammation	Sci Rep. 2020 Jun 11;10(1):9510.	Original Article
305	Nakahara T, Izuahara K, Onozuka D,他	皮膚科	Exploration of biomarkers to predict clinical improvement of atopic dermatitis in patients treated with dupilumab: A study protocol	Medicine (Baltimore). 2020 Sep 8;99(38):e22043.	Original Article
306	Kido-Nakahara M, Nakahara T, Yasukochi Y,他	皮膚科	Patient-Oriented Eczema Measure score: A Useful Tool for Web-Based Surveys in Patients with Atopic Dermatitis	Acta Derm Venereol. 2020 May 28;100(10):adv00159.	Original Article
307	Kido-Nakahara M, Wang B, Ohno F, 他	皮膚科	Inhibition of mite-induced dermatitis, pruritus, and nerve sprouting in mice by the endothelin receptor antagonist bosentan	Allergy. 2021 Jan;76(1):291-301.	Original Article
308	Itoh E, Furumura M, Furue M.	皮膚科	Rate of actual metal allergy prior to dental treatment in subjects complaining of possible metal allergy	Asian Pac J Allergy Immunol. 2020 Sep;38(3):186-189.	Original Article
309	Kurihara Y, Koji Kawamura, Furue M.	皮膚科	A Case of Epidermal Cyst with Underlying Lipoma on the Back: A Rare Presentation.	Case Reports in Dermatology.2021;March 18,Volume 13, pp 171-175	Original Article
310	Chiba T, Nagai T, Kohda F, 他.	皮膚科	The Connection between Urinary Equol Levels and the Prevalence of Atopic Dermatitis	Int Arch Allergy Immunol. 2021 Jan;182(1):32-38.	Original Article
311	Ito T, Kaku-Ito Y, Wada-Ohno M,他	皮膚科	Narrow-Margin Excision for Invasive Acral Melanoma: Is It Acceptable?	J Clin Med. 2020 Jul 16;9(7):2266.	Original Article
312	Murata M, Ito T, Tanaka Y, 他.	皮膚科	NECTIN4 Expression in Extramammary Paget's Disease: Implication of a New Therapeutic Target	Int J Mol Sci. 2020 Aug 16;21(16):5891.	Original Article
313	Jinnai S, Yamazaki N, Hirano Y, 他.	皮膚科	The Development of a Skin Cancer Classification System for Pigmented Skin Lesions Using Deep Learning	Biomolecules. 2020 Jul 29;10(8):1123.	Original Article
314	Eto A, Nakahara T, Kido-Nakahara M, 他.	皮膚科	Acrosyringeal endothelin-1 expression: Potential for fostering melanocytes in volar sites	J Dermatol. 2020 Aug;47(8):924-925.	Original Article
315	Eto A, Nakahara T, Furue M.	皮膚科	Repeated infliximab injection may shift delayed infusion reactions to acute infusion reactions in patients with psoriasis	J Dermatol. 2021 Jan;48(1):e41-e42.	Letter
316	Furue K, Ito T, Tsuji G, 他.	皮膚科	Scratch wound-induced CXCL8 upregulation is EGFR-dependent in keratinocytes	J Dermatol Sci. 2020 Sep;99(3):209-212.	Original Article
317	Hashimoto H, Ito T, Yamada Y, 他.	皮膚科	Eosinophilic infiltration discriminates lichen-planus-like eruption caused by an immune checkpoint inhibitor from ordinary lichen planus	J Dermatol. 2021 Feb;48(2):e102-e103.	Letter
318	Tanaka Y, Ito T, Tsuji G, 他.	皮膚科	Baicalein Inhibits Benzo[a]pyrene-Induced Toxic Response by Downregulating Src Phosphorylation and by Upregulating NRF2-HMOX1 System.	Antioxidants (Basel). 2020 Jun 9;9(6):507.	Original Article
319	Yumine A, Tsuji G, Furue M.	皮膚科	Selective PPAR α agonist pemafibrate inhibits TNF- α -induced S100A7 upregulation in keratinocytes	J Dermatol Sci. 2020 Jul;99(1):69-72.	Letter

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
320	Vu YH, Hashimoto-Hachiya A, Takemura M, 他.	皮膚科	IL-24 Negatively Regulates Keratinocyte Differentiation Induced by Tapinarof, an Aryl Hydrocarbon Receptor Modulator: Implication in the Treatment of Atopic Dermatitis	Int J Mol Sci. 2020 Dec 10;21(24):9412.	Original Article
321	Shiota M, Onozawa M, Hinotsu S, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Family history in primary hormone therapy for prostate cancer: Analysis from a community-based multi-institutional Japan-wide database	Int J Urol. 2020 Apr;27(4):313-318.	Original Article
322	Kashiwagi E, Abe T, Kinoshita F, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	The role of adipocytokines and their receptors in bladder cancer: expression of adiponectin or leptin is an independent prognosticator	Am J Transl Res. 2020 Jun 15;12(6):3033-3045.	Original Article
323	Kobayashi S, Cho B, Mutaguchi J, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Surgical Navigation Improves Renal Parenchyma Volume Preservation in Robot-Assisted Partial Nephrectomy: A Propensity Score Matched Comparative Analysis	J Urol. 2020 Jul;204(1):149-156.	Original Article
324	Shiota M, Fujimoto N, Yamamoto Y, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Genome-wide association study of genetic variations associated with treatment failure after intravesical bacillus Calmette-Guérin therapy for non-muscle invasive bladder cancer	Cancer Immunol Immunother. 2020 Jul;69(7):1155-1163.	Original Article
325	Kinoshita F, Kohashi K, Sugimoto M, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	The SWI/SNF chromatin-remodeling complex status in renal cell carcinomas with sarcomatoid or rhabdoid features	Virchows Arch. 2020 Nov;477(5):651-660.	Original Article
326	Shiota M, Endo S, Fujimoto N, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Polymorphisms in androgen metabolism genes with serum testosterone levels and prognosis in androgen-deprivation therapy	Urol Oncol. 2020 Nov;38(11):849.e11-849.e18.	Original Article
327	Ieiri K, Shiota M, Kashiwagi E, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	The prognosis and the impact of radiotherapy in clinically regional lymph node-positive prostate cancer: Which patients are candidates for local therapy with radiation?	Urol Oncol. 2020 Dec; 38(12): 931.e1-931.e7.	Original Article
328	Shiota M, Machidori A, Abe T, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Impact of antiandrogen withdrawal syndrome in castration-resistant prostate cancer patients treated with abiraterone or enzalutamide	Int J Urol. 2020 Dec;27(12):1109-1115.	Original Article
329	Shiota M, Sekino Y, Tsukahara S, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Gene amplification of YB-1 in castration-resistant prostate cancer in association with aberrant androgen receptor expression	Cancer Sci. 2021 Jan;112(1):323-330.	Original Article
330	Matsumoto T, Shiota M, Uchiumi T, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Genomic characteristics revealed by targeted exon sequencing of testicular germ cell tumors in Japanese men	Int J Urol. 2021 Jan;28(1):40-46.	Original Article
331	Shiota M, Narita S, Habuchi T, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Validated prognostic significance of YB-1 genetic variation in metastatic prostate cancer	Pharmacogenomics J. 2021 Feb;21(1):102-105.	Original Article
332	Inokuchi J, Kuroiwa K, Nishiyama H, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Significance of the timing of ureteral ligation on prognosis during radical nephroureterectomy for upper urinary tract urothelial cancer	Int J Urol. 2021 Feb;28(2):208-214.	Original Article
333	Naganuma H, Miike K, Ohmori T, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Molecular detection of maturation stages in the developing kidney	Dev Biol. 2021 Feb;470:62-73.	Original Article
334	Hirano Y, Oribe N, Onitsuka T, Kanba S 他	精神科神経科	Auditory Cortex Volume and Gamma Oscillation Abnormalities in Schizophrenia	Clin EEG Neurosci. 2020 Jul;51(4):244-251.	Original Article
335	Hirano Y, Tamura S, Nakamura I, Onitsuka T	精神科神経科	Long-Term Test-Retest Reliability of Auditory Gamma Oscillations Between Different Clinical EEG Systems	Front Psychiatry. 2020 Sep 2;11:876.	Original Article

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
336	Hirano Y	精神科神経科	PCN Art Brut Series No. 16, Artwork Description	Psychiatry and Clinical Neurosciences.2020 Aug;74(8), 448.	Others
337	Hirano, Y. & Uhlhaas, P. J. Editorial	精神科神経科	Editorial: Current MEG Research in Psychiatry	Front Psychiatry. 2021 Feb 2;12:647085.	Letter
338	Kato TA*, Shinfuku N, Tateno M	精神科神経科	Internet society, internet addiction, and pathological social withdrawal: the chicken and egg dilemma for internet addiction and hikikomori	Curr Opin Psychiatry. 2020 May;33(3):264-270.	Review
339	Kato TA*, Sartorius N, Shinfuku N	精神科神経科	Forced social isolation due to COVID-19 and consequent mental health problems: Lessons from hikikomori	Psychiatry Clin Neurosci. 2020 Sep;74(9):506-507.	Letter
340	Daisuke Katsukil, Hiroshi Yamashita, Kenichi Yamane et al	精神科神経科	Clinical Subtypes in Children with Attention-Deficit Hyperactivity Disorder According to Their Child Behavior Checklist Profile	Child Psychiatry Hum Dev. 2020 Dec;51(6):969-977.	Original Article
341	Murayama K, Nakao T, Ohono A他	精神科神経科	Impacts of Stressful Life Events and Traumatic Experiences on Onset of Obsessive-Compulsive Disorder	Front Psychiatry. 2020 Dec 3;11:561266.	Original Article
342	Onitsuka T, Spencer KM, Nakamura I, Hirano Y他	精神科神経科	Altered P3a Modulations to Emotional Faces in Male Patients With Chronic Schizophrenia	Clin EEG Neurosci. 2020 Jul;51(4):215-221.	Original Article
343	Sagata N, Kano S, Ohgidani M, Inamine S他	精神科神経科	Forskolin rapidly enhances neuron-like morphological change of directly induced-neuronal cells from neurofibromatosis type 1 patients	Neuropsychopharmacol Rep. 2020 Dec;40(4):396-400.	Others
344	Tamura S, Sung Y	精神科神経科	Brainstem and early cortical auditory activities associated with language differences in acoustic cue weighting for voicing perception	Neurosci Lett. 2020 Sep 14;735:135154.	Original Article
345	Hirakawa N, Kuga H, Hirano Y 他	精神科神経科	Neuroanatomical substrate of chronic psychosis in epilepsy: an MRI study	Brain Imaging Behav. 2020 Oct;14(5):1382-1387.	Original Article
346	Oribe N, Hirano Y, Del Re E他	精神科神経科	Longitudinal evaluation of visual P300 amplitude in clinical high-risk subjects: An event-related potential study	Psychiatry Clin Neurosci. 2020 Oct;74(10):527-534.	Original Article
347	Ohara N, Hirano Y, Oribe N他	精神科神経科	Neurophysiological Face Processing Deficits in Patients With Chronic Schizophrenia: An MEG Study	Front Psychiatry. 2020 Sep 3;11:554844.	Original Article
348	Yawata N, Shirane M, Woon K et al	眼科	Molecular Signatures of Natural Killer Cells in CMV-Associated Anterior Uveitis, A New Type of CMV-Induced Disease in Immunocompetent Individuals	Int J Mol Sci. 2021 Mar 31;22(7):3623.	Original Article
349	Sonoda KH, Hasegawa E, Namba K et al	眼科	Epidemiology of uveitis in Japan: a 2016 retrospective nationwide survey	Jpn J Ophthalmol. 2021 Mar;65(2):184-190.	Original Article
350	Murakami Y, Koyanagi Y, Fukushima M et al	眼科	Genotype and Long-term Clinical Course of Bietti Crystalline Dystrophy in Korean and Japanese Patients	Ophthalmol Retina. 2021 Feb 23;S2468-6530(21)00063-4.	Original Article
351	Arima M, Nakao S, Kaizu Y et al	眼科	Diabetic vascular hyperpermeability: optical coherence tomography angiography and functional loss assessments of relationships among retinal vasculature changes	Sci Rep. 2021 Feb 18;11(1):4185.	Original Article

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
352	Oshima Y, Ishibashi Y, Umeda N et al	眼科	Correlation between improvement in visual acuity and QOL after Ranibizumab treatment for age-related macular degeneration patients: QUATRO study	BMC Ophthalmol. 2021 Jan 23;21(1):58.	Original Article
353	Arima M, Fujii Y, Sonoda KH et al	眼科	Translational Research in Retinopathy of Prematurity: From Bedside to Bench and Back Again	J Clin Med. 2021 Jan 18;10(2):331.	Review
354	Akiyama M	眼科	Multi-omics study for interpretation of genome-wide association study	J Hum Genet. 66(1):3-10, 2021/01/01	Review
355	Nakamura S, Nakao S, Shiose S et al	眼科	Optical coherence tomography angiography of choroidal neovascularization in immune choroiditis following acute retinal necrosis	Eur J Ophthalmol. 2020 Nov 27;1120672120977349.	Original Article
356	Mori Y, Arima M, Ueda E et al	眼科	Risk factors for myopia at 1-year corrected age following laser photocoagulation for retinopathy of prematurity	Eye (Lond). 2020 Nov 30.	Original Article
357	Mori K, Ishikawa K, Wada I et al	眼科	Changes in metamorphopsia after the treat-and-extend regimen of anti-VEGF therapy for macular edema associated with branch retinal vein occlusion	PLoS One. 2020 Oct 28;15(10):e0241343.	Original Article
358	Shimokawa S, Fujiwara K, Murakami Y et al	眼科	Effect of Topical Dorzolamide on Cystoid Macular Edema in Retinitis Pigmentosa	Ophthalmol Retina. 2020 Oct;4(10):1036-1039.	Case report
359	Takeda A, Hasegawa E, Nakao S et al	眼科	Vitreous levels of interleukin-35 as a prognostic factor in B-cell vitreoretinal lymphoma	Sci Rep. 2020 Sep 24;10(1):15715.	Original Article
360	Okita A, Murakami Y, Shimokawa S et al	眼科	Changes of Serum Inflammatory Molecules and Their Relationships with Visual Function in Retinitis Pigmentosa	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2020 Sep 1;61(11):30.	Original Article
361	Koyanagi Y, Ueno S, Ito Y et al	眼科	Relationship Between Macular Curvature and Common Causative Genes of Retinitis Pigmentosa in Japanese Patients	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2020 Aug 3;61(10):6.	Original Article
362	Ueda E, Yasuda M, Fujiwara K et al	眼科	Five-Year Incidence of Myopic Maculopathy in a General Japanese Population: The Hisayama Study	JAMA Ophthalmol. 2020 Aug 1;138(8):887-893.	Original Article
363	Fujiwara K, Ikeda Y, Murakami Y et al	眼科	Aqueous Flare and Progression of Visual Field Loss in Patients With Retinitis Pigmentosa	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2020 Jul 1;61(8):26.	Original Article
364	Kubo Y, Ishikawa K, Mori K et al	眼科	Periostin and tenascin-C interaction promotes angiogenesis in ischemic proliferative retinopathy	Sci Rep. 2020 Jun 9;10(1):9299.	Original Article
365	Arima M, Nakao S, Yamaguchi M et al	眼科	Claudin-5 Redistribution Induced by Inflammation Leads to Anti-VEGF-Resistant Diabetic Macular Edema	Diabetes. 2020 May;69(5):981-999.	Original Article
366	Mori K, Yoshida S, Kobayashi Y et al	眼科	Decrease in the number of microaneurysms in diabetic macular edema after anti-vascular endothelial growth factor therapy: implications for indocyanine green angiography-guided detection of refractory microaneurysms	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2020 Apr;258(4):735-741.	Original Article
367	Murakami Y, Nakabeppu Y, Sonoda KH et al	眼科	Oxidative Stress and Microglial Response in Retinitis Pigmentosa	Int J Mol Sci. 2020 Sep 28;21(19):7170.	Review

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
368	Takeda A, Yanai R, Murakami Y et al	眼科	New Insights Into Immunological Therapy for Retinal Disorders	Front Immunol. 2020 Jul 3;11:1431.	Review
369	M.M,Y.R,M.M et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Drug-induced interstitial lung disease in recurrent and/or metastatic head and neck cancer patients treated with cetuximab and/or nivolumab	Oral Oncol. 2021 Feb;113:105129.	Original Article
370	Y.R,M.M,W.T et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Clinical outcome in recurrent and/or metastatic head and neck cancer patients after discontinuation of nivolumab monotherapy due to immune-related adverse events	Acta Otolaryngol. 2020 Dec;140(12):1043-1048.	Original Article
371	N.T,K.N,Y.R et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Therapeutic effect of Nivolumab for advanced / recurrent temporal bone squamous cell carcinoma	Auris Nasus Larynx. 2020 Oct;47(5):864-869.	Original Article
372	K.N,M.M,A.K et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Prognostic Impact of Tumor Extension in Patients With Advanced Temporal Bone Squamous Cell Carcinoma	Front Oncol. 2020 Aug 7;10:1229.	Original Article
373	R.Y,R.J,T.H et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	A clinical analysis of sinonasal squamous cell carcinoma: a comparison of de novo squamous cell carcinoma and squamous cell carcinoma arising from inverted papilloma	Acta Otolaryngol. 2020 Aug;140(8):706-711.	Original Article
374	K.Y,U.T,A.K et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Awareness of stuttering in Japanese children aged 3-7 years	Pediatr Int. 2021 Feb;63(2):150-153.	Original Article
375	W.T,Y.R,M.M et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Prognostic Biomarkers of Salvage Chemotherapy Following Nivolumab Treatment for Recurrent and/or Metastatic Head and Neck Squamous Cell Carcinoma	Cancers (Basel). 2020 Aug 15;12(8):2299.	Original Article
376	K.N,N.T,K.R et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Primary Advanced Squamous Cell Carcinoma of the Temporal Bone: A Single-Center Clinical Study	Laryngoscope. 2021 Feb;131(2):E583-E589.	Original Article
377	Tsurumaru D, Nisimuta Y, Kai S et al	放射線科	Factors of incomplete colonoscopy for stenosing colorectal cancer: CT colonography features	Jpn J Radiol. 2020 Oct;38(10):973-978.	Original Article
378	Hino T, Kamitani T, Sagiya K, et al.	放射線科	Detectability of the artery of Adamkiewicz on computed tomography angiography of the aorta by using ultra-high-resolution computed tomography	Jpn J Radiol. 2020 Jul;38(7):658-665.	Original Article
379	Yamasaki Y, Abe K, Kamitani T, et al.	放射線科	Balloon pulmonary angioplasty improves right atrial reservoir and conduit functions in chronic thromboembolic pulmonary hypertension	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2020 Aug 1;21(8):855-862.	Original Article
380	Kamitani T, Sagiya K, Togao O, et al.	放射線科	Amide proton transfer (APT) imaging of parotid tumors: Differentiation of malignant and benign tumors	Eur J Radiol. 2020 Aug;129:109047.	Original Article
381	Yabuuchi H, Kamitani T, Sagiya K, et al.	放射線科	Characterization of parotid gland tumors: added value of permeability MR imaging to DWI and DCE-MRI	Eur Radiol. 2020 Dec;30(12):6402-6412.	Original Article
382	Yamasaki Y, Kamitani T, Sagiya K, et al.	放射線科	Model-based iterative reconstruction for 320-detector row CT angiography reduces radiation exposure in infants with complex congenital heart disease	Diagn Interv Radiol. 2021 Jan;27(1):42-49.	Original Article
383	Yamasaki Y, Abe K, Kamitani T, et al.	放射線科	Right Ventricular Extracellular Volume with Dual-Layer Spectral Detector CT: Value in Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension	Radiology. 2021 Mar;298(3):589-596.	Original Article

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
384	Yamasaki Y, Abe K, Hosokawa K, et al.	放射線科	A novel pulmonary circulation imaging using dynamic digital radiography for chronic thromboembolic pulmonary hypertension	Eur Heart J. 2020 Jul 7;41(26):2506.	Case report
385	Yamasaki Y, Yoshikawa M, Sagiya K, et al.	放射線科	Active cardiac sarcoidosis imitating cardiac metastases	Radiol Cardiothorac Imaging. 2020 Dec 3;2(6):e200310.	Case report
386	Morita K, Nishie A, Ushijima Y, et al	放射線科	Noninvasive assessment of liver fibrosis by dual-layer spectral detector CT	Eur J Radiol. 2021 Mar;136:109575.	Original Article
387	Ushijima Y, Asayama Y, Nishie A, et al	放射線科	Cryoablation for Secondary Renal Cell Carcinoma After Surgical Nephrectomy	Cardiovasc Intervent Radiol. 2021 Mar;44(3):414-420.	Original Article
388	Fujita N, Nishie A, Asayama Y, et al	放射線科	Quantitative evaluation of liver function and pathology with hepatocyte fraction on Gadoteric acid-enhanced MR imaging	Magn Reson Imaging. 2020 Nov;73:125-129.	Original Article
389	Machitori A, Noguchi T, Kawata Y, et al	放射線科	Computed tomography surveillance helps tracking COVID-19 outbreak	Jpn J Radiol. 2020 Dec;38(12):1169-1176.	Original Article
390	Fujita N, Nishie A, Asayama Y, et al	放射線科	Increased and More Heterogeneous Gadoteric Acid Uptake of the Liver Parenchyma after Hepatitis C Virus Eradication by Direct Antiviral Agent	Magn Reson Med Sci. 2020 Dec 1;19(4):389-393.	Original Article
391	Takao S, Nishie A, Asayama Y, et al	放射線科	Improved visualization of a fine intrahepatic biliary duct on drip infusion cholangiography-computed tomography: Impact of knowledge-based iterative model reconstruction	Hepatol Res. 2020 May;50(5):629-634.	Original Article
392	Fujita N, Nishie A, Asayama Y, et al	放射線科	Intravoxel incoherent motion magnetic resonance imaging for assessment of chronic pancreatitis with special focus on its early stage	Acta Radiol. 2020 May;61(5):579-585.	Original Article
393	van der Velde N, Hurrman R, Yamasaki Y et al.	放射線科	Frequency and Significance of Coronary Artery Disease and Myocardial Bridging in Patients With Hypertrophic Cardiomyopathy	Am J Cardiol. 2020 May 1;125(9):1404-1412.	Original Article
394	Nous F, Budde R, Lubbers M et al.	放射線科	Impact of machine-learning CT-derived fractional flow reserve for the diagnosis and management of coronary artery disease in the randomized CRESCENT trials	Eur Radiol. 2020 Jul;30(7):3692-3701.	Original Article
395	Yamasaki Y, Hosokawa K, Tsutsui H et al.	放射線科	Pulmonary ventilation-perfusion mismatch demonstrated by dynamic chest radiography in giant cell arteritis	Eur Heart J. 2021 Jan 7;42(2):208-209.	Others
396	Mikayama R, Yabuuchi H, Matsumoto R et al.	放射線科	Development of a new phantom simulating extracellular space of tumor cell growth and cell edema for diffusion-weighted magnetic resonance imaging	MAGMA. 2020 Aug;33(4):507-513.	Original Article
397	Kimura M, Yabuuchi H, Matsumoto R et al.	放射線科	The reproducibility of measurements using a standardization phantom for the evaluation of fractional anisotropy (FA) derived from diffusion tensor imaging (DTI)	MAGMA. 2020 Apr;33(2):293-298.	Original Article
398	Togao O, Obara M, Helle M, et al.	放射線科	Vessel-selective 4D-MR angiography using super-selective pseudo-continuous arterial spin labeling may be a useful tool for assessing brain AVM hemodynamics	Eur Radiol. 2020 Dec;30(12):6452-6463.	Original Article
399	Togao O, Chikui T, Tokumori K, et al.	放射線科	Gamma distribution model of diffusion MRI for the differentiation of primary central nerve system lymphomas and glioblastomas	PLoS One. 2020 Dec 14;15(12):e0243839.	Original Article

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
400	Yugawa, K., Itoh, S., Iseda, N., et al	放射線科	Obesity is a risk factor for intrahepatic cholangiocarcinoma progression associated with alterations of metabolic activity and immune status	Sci Rep. 2021 Mar 12;11(1):5845.	Original Article
401	Kazuo Kubota・ Noriko Tanaka・ Yoko Miyata・et al	放射線科	Comparison of 18 F-FDG PET/CT and 67 Ga-SPECT for the diagnosis of fever of unknown origin: a multicenter prospective study in Japan	Ann Nucl Med. 2021 Jan;35(1):31-46.	Original Article
402	Nakagawa T, Yasaka T, Nakashima N, et al.	麻酔科・手術 部	Expression of the pacemaker channel HCN4 in excitatory interneurons in the dorsal horn of the murine spinal cord	Mol Brain. 2020 Sep 18;13(1):127.	Original Article
403	Higashi M, Kaku K, Okabe Y, et al.	麻酔科・手術 部	Anesthetic Management of Living-Donor Renal Transplantation in a Patient With Epstein Syndrome Using Rotational Thromboelastometry: A Case Report	A A Pract. 2020 Nov;14(13):e01350.	Case report
404	Kimura M, Shiokawa H, Karashima Y, et al.	麻酔科・手術 部	Antinociceptive effect of selective G protein-gated inwardly rectifying K ⁺ channel agonist ML297 in the rat spinal cord	PLoS One. 2020 Sep 11;15(9):e0239094.	Original Article
405	Fujimoto Y, Hamachi R, Motoyama Y, et al.	麻酔科・手術 部	Acute limb ischemia by a pulmonary vein stump thrombus after left lower lobectomy: a case report	JA Clin Rep. 2021 Jan 6;7(1):4.	Case report
406	Mizuta Y, Tokuda K, Guo J, Zhang S, et al	麻酔科・手術 部	Sodium thiosulfate prevents doxorubicin-induced DNA damage and apoptosis in cardiomyocytes in mice	Life Sci. 2020 Sep 15;257:118074.	Original Article
407	Shirozu K, Umebara K, Watanabe M, et al.	麻酔科・手術 部	Evaluation of postoperative kidney function after administration of 6% hydroxyethyl starch during living- donor nephrectomy for transplantation	J Anesth. 2021 Feb;35(1):59-67.	Original Article
408	Shirozu K, Umebara K, Ikeda M, et al.	麻酔科・手術 部	Incidence of postoperative shivering decreased with the use of acetaminophen: a propensity score matching analysis	J Anesth. 2020 Jun;34(3):383-389.	Original Article
409	Shirozu K, Setoguchi H, Araki K, et al	麻酔科・手術 部	Impact of air-conditioner outlet layout on the upward airflow induced by forced air warming in operating rooms	Am J Infect Control. 2021 Jan;49(1):44-49.	Original Article
410	Kamura Y, Fujita A, Nakayama S, et al.	麻酔科・手術 部	Anesthetic management of laparoscopy-assisted total proctocolectomy in a cardiac sarcoidosis patient with a cardiac resynchronization therapy-defibrillator: a case report	JA Clin Rep. 2020 Jun 6;6(1):43.	Case report
411	Maeda A, Watanabe M, Chiaki S, et al.	麻酔科・手術 部	Spinal cord stimulation alleviates intractable pain due to malignant pleural mesothelioma: a case report	JA Clin Rep. 2020 Oct 6;6(1):78.	Case report
412	Kawasaki S, Kiyohara C, Karashima Y, et al.	麻酔科・手術 部	Blood Pressure Management After Reperfusion in Living- Donor Kidney Transplantation	Transplant Proc. 2020 Dec;52(10):3009-3016.	Original Article
413	Shirozu K, Takamori S, Setoguchi H, et al.	麻酔科・手術 部	Effects of forced air warming systems on the airflow and sanitation quality of operating rooms with non-laminar airflow systems	Perioper Care Oper Room Manag. 2020 Dec;21:100119.	Original Article
414	Takamori R, Shirozu K, Hamachi R, et al.	麻酔科・手術 部	Intubation Technique in a Patient with Tracheobronchopathia Osteochondroplastica	Am J Case Rep. 2021 Jan 18;22:e928743.	Case report
415	Hiroaki Ikezaki	総合診療科	Small Dense Low-Density Lipoprotein Cholesterol and Carotid Intimal Medial Thickness Progression	J Atheroscler Thromb. 2020 Oct 1;27(10):1108- 1122.	Original Article

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
416	Hiroaki Ikezaki	総合診療科	Small Dense Low-Density Lipoprotein Cholesterol Is the Most Atherogenic Lipoprotein Parameter in the Prospective Framingham Offspring Study	J Am Heart Assoc. 2021 Feb;10(5):e019140.	Original Article
417	Ogawa E, Yeo YH, Dang N, et al	総合診療科	Diagnosis Rates of Chronic Hepatitis B in Privately Insured Patients in the United States	JAMA Netw Open. 2020 Apr 1;3(4):e201844.	Original Article
418	Ogawa E, Nomura H, Nakamura M	総合診療科	Tenofovir alafenamide after switching from entecavir or nucleos(t)ide combination therapy for patients with chronic hepatitis B	Liver Int. 2020 Jul;40(7):1578-1589.	Original Article
419	Ogawa E, Wei MT, Nguyen MH	総合診療科	Hepatitis B Virus Reactivation Potentiated by Biologics	Infect Dis Clin North Am. 2020 Jun;34(2):341-358.	Review
420	Ogawa E, Takayama K, Hiramane S, et al	総合診療科	Association between steatohepatitis biomarkers and hepatocellular carcinoma after hepatitis C elimination	Aliment Pharmacol Ther. 2020 Sep;52(5):866-876.	Original Article
421	Ogawa E, Toyoda H, Iio E, et al	総合診療科	Hepatitis C Virus Cure Rates Are Reduced in Patients With Active but Not Inactive Hepatocellular Carcinoma: A Practice Implication	Clin Infect Dis. 2020 Dec 31;71(11):2840-2848.	Original Article
422	Ogawa E, Nomura H, Nakamura M, et al	総合診療科	Incidence of Hepatocellular Carcinoma after Treatment with Sofosbuvir-based or Sofosbuvir-free Regimens in Patients with Chronic Hepatitis C	Cancers (Basel). 2020 Sep 11;12(9):2602.	Original Article
423	Ogawa E	総合診療科	Editorial: FAST score- a new predictive marker for HCC after SVR-author's reply	Aliment Pharmacol Ther. 2020 Oct;52(7):1224.	Letter
424	Kadota H, Fukuchima J, Yochida S 他	形成外科	Larynx-preserving reconstruction after extended base of the tongue resection	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2020 Apr;73(4):740-748.	Original Article
425	Kadota H, Ishida K	形成外科	Coaptation of Cutaneous Nerves for Intractable Stump Pain and Phantom Limb Pain after Upper Limb Amputation	Strategies Trauma Limb Reconstr. Jan-Apr 2020;15(1):50-53.	Case report
426	Imaizumi A, Kadota H	形成外科	Perforator Branch Flaps	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2020 Jul;73(7):1255-1262.	Original Article
427	Kadota H, Miyashita K, Fukushima S 他	形成外科	Successful Management of a Severe Sacral Pressure injury Penetrating to the Retroperitoneum.	Wounds. 2021 Mar;33(3):E24-E27.	Case report
428	Sakata A, Mukae N, Morioka T, et al	検査部	Simultaneous Electroencephalographic and Electrocorticographic Recordings of Lateralized Periodic Discharges in Temporal Lobe Epilepsy	Clin EEG Neurosci. 2020 Nov 11;1550059420972266.	Original Article
429	Gotoh K, Kunisaki Y, Mizuguchi S, et al	検査部	Mitochondrial Protein Synthesis Is Essential for Terminal Differentiation of CD45 - TER119 - Erythroid and Lymphoid Progenitors	iScience. 2020 Oct 7;23(11):101654.	Original Article
430	Yoshihiro S, Ishigaki T, Ookurano H, et al	検査部	New colorimetric method with bromocresol purple for estimating the redox state of human serum albumin	J Clin Biochem Nutr. 2020 Nov;67(3):257-262.	Original Article
431	Do Y, Matsuda S, Inatomi T, et al	検査部	The accessory subunit of human DNA polymerase γ is required for mitochondrial DNA maintenance and is able to stabilize the catalytic subunit	Mitochondrion. 2020 Jul;53:133-139.	Original Article

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
432	Fang Y, Akimoto M, Mayanagi K,	検査部	Chemical acetylation of mitochondrial transcription factor A occurs on specific lysine residues and affects its ability to change global DNA topology	Mitochondrion. 2020 Jul;53:99-108.	Original Article
433	Tsukasa Kojima, Takashi Shirasaka, Masatoshi Kondo, et al.	放射線部	A novel fast kilovoltage switching dual-energy CT with deep learning: Accuracy of CT number on virtual monochromatic imaging and iodine quantification	Phys Med. 2021 Jan;81:253-261.	Original Article
434	Taka-aki Hirose, Hidetaka Arimura, Kenta Ninomiya, et al.	放射線部	Radiomic prediction of radiation pneumonitis on pretreatment planning computed tomography images prior to lung cancer stereotactic body radiation therapy	Sci Rep. 2020 Nov 24;10(1):20424.	Original Article
435	Sakai Y, Okamura K, Kitamoto E, et al	放射線部	Improved scan method for dental imaging using multidetector computed tomography: a phantom study	Dentomaxillofac Radiol. 2020 Sep 1;49(6):20190462.	Original Article
436	Tatsuhiko Wada, Chiaki Tokunaga, Osamu Togao, et al.	放射線部	Optimization of the refocusing flip angle in the characterization of cerebrospinal fluid dynamics using multi-spin echo acquisition cine imaging (MUSACI)	Magn Reson Imaging. 2021 Feb;76:87-95.	Original Article
437	Hitoshi Miyazaki, Yoshiyuki Umezaki, Emi Kinoshita, et al.	放射線部	Effectiveness of a radiation protective device for anesthesiologists and transesophageal echocardiography operators in structural heart disease interventions	Cardiovasc Interv Ther. 2020 Sep 15.	Original Article
438	Momii K, Shono Y, Osaki K, et al	救命救急センター	Use of venovenous extracorporeal membrane oxygenation for perioperative management of acute respiratory distress syndrome caused by fat embolism syndrome: A case report and literature review	Medicine (Baltimore). 2021 Feb 26;100(8):e24929.	Case report
439	Mizuta Y, Akahoshi T, Guo J, et al	救命救急センター	Exosomes from adipose tissue-derived mesenchymal stem cells ameliorate histone-induced acute lung injury by activating the PI3K/Akt pathway in endothelial cells	Stem Cell Res Ther. 2020 Nov 27;11(1):508.	Original Article
440	Iwasaka S, Shono Y, Tokuda K, et al	救命救急センター	Clinical improvement in a patient with severe coronavirus disease 2019 after administration of hydroxychloroquine and continuous hemodiafiltration with nafamostat mesylate	J Infect Chemother. 2020 Dec;26(12):1319-1323.	Case report
441	Kinoshita I, Yamada Y, Kohashi K, et al.	病理診断科・病理部	Frequent MN1 Gene Mutations in Malignant Peripheral Nerve Sheath Tumor	Anticancer Res. 2020 Nov;40(11):6221-6228.	Original Article
442	Kiyozawa D, Takamatsu D, Kohashi K, et al.	病理診断科・病理部	Programmed death ligand 1/indoleamine 2,3-dioxygenase 1 expression and tumor-infiltrating lymphocyte status in renal cell carcinoma with sarcomatoid changes and rhabdoid features	Hum Pathol. 2020 Jul;101:31-39.	Original Article
443	Nozaki Y, Yamamoto H, Iwasaki T, et al.	病理診断科・病理部	Clinicopathological features and immunohistochemical utility of NTRK, ALK and ROS1-rearranged papillary thyroid carcinomas and anaplastic thyroid carcinomas.	Hum Pathol. 2020 Dec;106:82-92.	Original Article
444	Okumura Y, Kohashi K, Tanaka Y, et al.	病理診断科・病理部	Activation of the Akt/mammalian target of rapamycin pathway in combined hepatocellular carcinoma and cholangiocarcinoma: significant correlation between p-4E-BP1 expression in cholangiocarcinoma component and prognosis	Virchows Arch. 2020 Jun;476(6):881-890.	Original Article
445	Toda Y, Kohashi K, Yamada Y, et al.	病理診断科・病理部	PD-L1 and IDO1 expression and tumor-infiltrating lymphocytes in osteosarcoma patients: comparative study of primary and metastatic lesions	J Cancer Res Clin Oncol. 2020 Oct;146(10):2607-2620.	Original Article
446	Yamamoto H, Nozaki Y, Kohashi K, et al.	病理診断科・病理部	Diagnostic utility of pan-Trk immunohistochemistry for inflammatory myofibroblastic tumours	Histopathology. 2020 Apr;76(5):774-778.	Original Article
447	Yoshimoto M, Yamada Y, Ishihara S, et al.	病理診断科・病理部	Retroperitoneal Myxofibrosarcoma: A Controversial Entity	Pathol Res Pract. 2020 Jun;216(6):152969.	Original Article

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
448	Hongo T, Yamamoto H, Jiromaru R, et al.	病理診断科・病理部	Clinicopathologic Significance of EGFR Mutation and HPV Infection in Sinonasal Squamous Cell Carcinoma	Am J Surg Pathol. 2021 Jan;45(1):108-118.	Original Article
449	Ishihara S, Yamada Y, Iwasaki T, et al.	病理診断科・病理部	PD-L1 and IDO-1 expression in undifferentiated pleomorphic sarcoma: The associations with tumor infiltrating lymphocytes, dMMR and HLA class I	Oncol Rep. 2021 Jan;45(1):379-389.	Original Article
450	Yamamoto H, Nozaki Y, Sugii A, et al.	病理診断科・病理部	Pan-tropomyosin receptor kinase immunoreactivity, ETV6-NTRK3 fusion subtypes, and RET rearrangement in salivary secretory carcinoma	Hum Pathol. 2021 Mar;109:37-44.	Original Article
451	Yugawa K, Kohashi K, Itoh S, et al.	病理診断科・病理部	Combined hepatocellular-cholangiocarcinoma after tetralogy of Fallot repair: a case report and review of literature	Pathol Res Pract. 2020 May;216(5):152908.	Case report
452	Yoshimura M, Honda H, Sasagasaki N, et al.	病理診断科・病理部	PCBP2 Is Downregulated in Degenerating Neurons and Rarely Observed in TDP-43-Positive Inclusions in Sporadic Amyotrophic Lateral Sclerosis	J Neuropathol Exp Neurol. 2021 Feb 22;80(3):220-228.	Original Article
453	Matsuzono K, Kim Y, Honda H, et al.	病理診断科・病理部	Prion Gene PRNP Y162X Truncation Mutation Can Induce a Refractory Esophageal Achalasia	Am J Gastroenterol. 2020 Nov 3.	Original Article
454	Yaginuma T., Gao J., Nagata K., et al.	病理診断科・病理部	p130Cas induces bone invasion by oral squamous cell carcinoma by regulating tumor epithelial-mesenchymal transition and cell proliferation	Carcinogenesis. 2020 Aug 12;41(8):1038-1048.	Original Article
455	Hasegawa K, Fujii S, Matsumoto S et al.	病理診断科・病理部	YAP signaling induces PIEZO1 to promote oral squamous cell carcinoma cell proliferation	J Pathol. 2021 Jan;253(1):80-93.	Original Article
456	Yoshikane Kikushige	遺伝子・細胞療法部	Pathophysiology of chronic lymphocytic leukemia and human B1 cell development	Int J Hematol. 2020 May;111(5):634-641.	Review
457	Yoshikane Kikushige	遺伝子・細胞療法部	Pathogenesis of chronic lymphocytic leukemia and the development of novel therapeutic strategies	J Clin Exp Hematop. 2020 Dec 15;60(4):146-158.	Review
458	Kinoshita F, Yamashita T, Oku Y, et al.	メディカル・インフォメーションセンター	Prognostic Impact of Albumin-bilirubin (ALBI) Grade on Non-small Lung Cell Carcinoma: A Propensity-score Matched Analysis	Anticancer Res. 2021 Mar;41(3):1621-1628.	Original Article
459	Okui T, Nojiri C, Kimura S, et al.	メディカル・インフォメーションセンター	Performance evaluation of case definitions of type 1 diabetes for health insurance claims data in Japan	BMC Med Inform Decis Mak. 2021 Feb 11;21(1):52.	Original Article
460	Izokura R, Nakahara T, Ito T, et al.	メディカル・インフォメーションセンター	An Electronic Phenotyping Algorithm to Identify Cases of Stevens-Johnson Syndrome/Toxic Epidermal Necrolysis in the MID-NET Database.	Asia-Pacific Association for Medical Informatics (APAMI2020) Proceedings: 2020 Nov; 208-209.	Original Article
461	Yamashita T, Wakata Y, Nakaguma H, et al.	メディカル・インフォメーションセンター	Machine Learning for Classification of Postoperative Patient Status Using Standardized Medical Data.	Asia-Pacific Association for Medical Informatics (APAMI2020) Proceedings: 2020 Nov; 131.	Original Article
462	Okui Tasuku	メディカル・インフォメーションセンター	Age-period-cohort Analysis of Cardiovascular Disease Mortality in Japan, 1995-2018	J Prev Med Public Health. 2020 May;53(3):198-204.	Others
463	Okui Tasuku	メディカル・インフォメーションセンター	Age-period-cohort analysis of asthma, allergic rhinitis, and atopic dermatitis prevalence in Japan	Environ Anal Health Toxicol. 2020 Sep;35(3):e2020012.	Others

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
464	Okui Tasuku	メディカル・インフォメーションセンター	Age-Period-Cohort Analysis of the Sex Differences in Cancer Mortality Rates in Japan from 1995 to 2015	Asian Pac J Cancer Prev. 2020 Jun 1;21(6):1759-1765.	Original Article
465	Okui Tasuku	メディカル・インフォメーションセンター	Differences in Cancer Mortality Trends between Metropolitan and Non-Metropolitan Areas in Japan, 1999-2018	Asian Pac J Cancer Prev. 2020 Nov 1;21(11):3241-3250.	Original Article
466	Okui Tasuku	メディカル・インフォメーションセンター	Age-period-cohort Analysis of Healthy Lifestyle Behaviors Using the National Health and Nutrition Survey in Japan	J Prev Med Public Health. 2020 Nov;53(6):409-418.	Original Article
467	Okui Tasuku	メディカル・インフォメーションセンター	An analysis of disparities in the changes of cancer mortality rates among prefectures in Japan using age-period-cohort analysis	Nihon Koshu Eisei Zasshi. 2020 Nov;67(11):781-790.	Original Article
468	Okui Tasuku	メディカル・インフォメーションセンター	An Age-Period-Cohort Analysis of Biomarkers of Lifestyle-Related Diseases Using the National Health and Nutrition Survey in Japan, 1973-2018	Int J Environ Res Public Health. 2020 Nov 4;17(21):8159.	Others
469	Okui Tasuku	メディカル・インフォメーションセンター	An age-period-cohort analysis of mortality rates for stomach, colorectal, liver, and lung cancer among prefectures in Japan, 1999-2018	Environ Health Prev Med. 2020 Dec 5;25(1):80.	Original Article
470	Kan-o K.	光学医療診療部	Letter from Japan.	Respirology. 2021 Feb;26(2):206-207.	Letter
471	Tokunou T, Ando S.	睡眠時無呼吸センター	Recent Advances in the Management of Secondary Hypertension-Obstructive Sleep Apnea	Hypertens Res. 2020 Dec;43(12):1338-1343.	Review
472	Shin Ushiro	医療安全管理部	No-fault compensation for cerebral palsy associated with pregnancy care in Japan	BJOG. 2020 Dec;127(13):1717.	Original Article
473	Ishida S, Masuguchi K, Kawashiri T, et al.	薬剤部	Effects of diluent volume and administration time on the incidence of anaphylaxis following docetaxel therapy in breast cancer	Biol Pharm Bull. 2020.04; 43(4):663-8.	Original Article
474	Hata K, Suetsugu K, Egashira N, et al.	薬剤部	Association of lenvatinib plasma concentration with clinical efficacy and adverse events in patients with hepatocellular carcinoma	Cancer Chemother Pharmacol. 2020 Dec;86(6):803-813.	Original Article
475	Sasaki K, Tsuji T, Kimoto Y, et al.	薬剤部	Usefulness of daily folic acid supplementation during methotrexate treatment of Japanese patients with rheumatoid arthritis	Mod Rheumatol. 2021 Jan;31(1):108-113.	Original Article
476	Yoneshima Y, Kato K, Minami H, et al.	薬剤部	HTLV-1 seropositive patients with lung cancer treated with PD-1 inhibitors	Cancer Sci. 2020 Sep;111(9):3395-3396.	Case report
477	Matsukane R, Watanabe H, Minami H, et al.	薬剤部	Continuous monitoring of neutrophils to lymphocytes ratio for estimating the onset, severity, and subsequent prognosis of immune related adverse events	Sci Rep. 2021 Jan 14;11(1):1324.	Original Article
478	Shigematsu T, Suetsugu K, Yamamoto N, et al.	薬剤部	Comparison of 4 Commercial Immunoassays Used in Measuring the Concentration of Tacrolimus in Blood and Their Cross-Reactivity to Its Metabolites	Ther Drug Monit. 2020 Jun;42(3):400-406.	Original Article
479	Shimizu S, Tomimatsu S, Kudo K, et al.	国際医療部	Remote Medical Education in Indonesia: Analysis of 10 Years of Activities	Journal of the International Society for Telemedicine and eHealth 2020 Dec; 8: e6(1-6).	Original Article

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
480	Tomimatsu S, Kudo K, Moriyama T, et al	国際医療部	Technical Support for Rapid Replacement of Face-to-Face Events with Online Events due to the COVID-19 Pandemic: A Case Study from Kyushu University Hospital	Asia-Pacific Association for Medical Informatics (APAMI2020) Proceedings: 2020 Nov; 66-70.	Original Article
481	Kudo K, Ueda S, Shitoh H, et al	国際医療部	Participants' Evaluation of a Virtual Academic Conference: Report from the 24th Japan Association of Medical Informatics Spring Symposium	Asia-Pacific Association for Medical Informatics (APAMI2020) Proceedings: 2020 Nov; 71-76.	Original Article
482	Ueda S, Kudo K, Moriyama T, et al	国際医療部	Barriers Against and Improvement Measures of Discussion During Bilateral Video-Conferencing in an Early Gastric Cancer Case Study	Asia-Pacific Association for Medical Informatics (APAMI2020) Proceedings: 2020 Nov; 77-81.	Original Article
483	Maruf RI, Rahman M, Sultana N, et al	国際医療部	COVID-19 System in Portable Health Clinic for Patient Follow-up Ensuring Clinical Safety of Both Patients and Health Workers.	Asia-Pacific Association for Medical Informatics (APAMI2020) Proceedings: 2020 Nov; 98.	Original Article
484	Nishikitani M, Nohara Y, Maruf RI, et al	国際医療部	Effects of Renal Dysfunction on the Improvement of Anemia in Bangladesh: An Epidemiological Analysis of Health Checkup Data with ICT Intervention.	Asia-Pacific Association for Medical Informatics (APAMI2020) Proceedings: 2020 Nov; 144-148.	Original Article
485	Tomimatsu S, Kudo K, Shimizu S, et al	国際医療部	An Exploratory Analysis of Technical Issues in Remote Education Between International Medical Institutions	Applied Human Factors and Ergonomics (AHFE2020) Proceedings: 2020 July; 181-188.	Original Article
486	Sun X, Kato H, Sato H et al	小児歯科・スペシアルニーズ歯科	Impaired neurite development and mitochondrial dysfunction associated with calcium accumulation in dopaminergic neurons differentiated from the dental pulp stem cells of a patient with metatropic dysplasia	Biochem Biophys Rep. 2021 Mar 9;26:100968.	Original Article
487	Masuda K, Han X, Kato H et al	小児歯科・スペシアルニーズ歯科	Dental Pulp-Derived Mesenchymal Stem Cells for Modeling Genetic Disorders	Int J Mol Sci. 2021 Feb 25;22(5):2269.	Review
488	Chiba Y, Saito K, Martin D et al	小児歯科・スペシアルニーズ歯科	Single-Cell RNA-Sequencing From Mouse Incisor Reveals Dental Epithelial Cell-Type Specific Genes	Front Cell Dev Biol. 2020 Sep 1;8:841.	Original Article
489	Chiba Y, Yoshizaki K, Saito K et al	小児歯科・スペシアルニーズ歯科	G protein-coupled receptor Gpr115 (Adgrf4) is required for enamel mineralization mediated by ameloblasts	J Biol Chem. 2020 Nov 6;295(45):15328-15341.	Original Article
490	Hasegawa D, Hasegawa K, Kaneko H	歯内治療科	MEST Regulates the Stemness of Human Periodontal Ligament Stem Cells	Stem Cells Int. 2020 Jul 8;2020:9672673.	Original Article
491	Hamano S, Tomokiyo A, Hasegawa D	歯内治療科	Functions of beta2-adrenergic receptor in human periodontal ligament cells	Journal of Cellular Biochemistry: 2020 Dec; 121(12):4798-4808	Original Article
492	Fujino S, Hamano S, Tomokiyo A	歯内治療科	Expression and function of dopamine in odontoblasts	J Cell Physiol. 2020 May;235(5):4376-4387.	Original Article
493	Itoyama T, Yoshida S, Tomokio A	歯内治療科	Possible function of GDNF and Schwann cells in wound healing of periodontal tissue	J Periodontal Res. 2020 Dec;55(6):830-839.	Original Article
494	Ono T, Tomokiyo A, Ipposhi K	歯内治療科	Generation of biohybrid implants using a multipotent human periodontal ligament cell line and bioactive core materials.	J Cell Physiol. 2021 Feb 19.	Original Article
495	Yoshida S, Tomokiyo A, Hasegawa D	歯内治療科	Insight into the Role of Dental Pulp Stem Cells in Regenerative Therapy	Biology (Basel). 2020 Jul 9;9(7):160.	Review

小計15件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
496	Maeda H	歯内治療科	Mass acquisition of human periodontal ligament stem cells	World J Stem Cells. 2020 Sep 26;12(9):1023-1031.	Review
497	Maeda H	歯内治療科	Aging and Senescence of Dental Pulp and Hard Tissues of the Tooth	Front Cell Dev Biol. 2020 Nov 30;8:605996.	Review
498	Yotsumoto K, Sanui T, Tanaka U, et al	歯周病科	Amelogenin Downregulates Interferon Gamma-Induced Major Histocompatibility Complex Class II Expression through Suppression of Euchromatin Formation in the Class II Transactivator Promoter IV Region in Macrophages.	Front Immunol. 2020 Apr 21;11:709.	Original Article
499	Yuki Nakao, Takao Fukuda, Qunzhou Zhang, et al	歯周病科	Exosomes from TNF- α -treated human gingiva-derived MSCs enhance M2 macrophage polarization and inhibit periodontal bone loss	Acta Biomater. 2021 Mar 1;122:306-324.	Original Article
500	Alshargabi R, Shinjo T, Iwashita M et al.,	歯周病科	SPOCK1 induces adipose tissue maturation: New insights into the function of SPOCK1 in metabolism	Biochem Biophys Res Commun. 2020 Dec 17;533(4):1076-1082.	Original Article
501	Alshargabi R, Sano T, Yamashita A et al.,	歯周病科	SPOCK1 is a novel inducer of epithelial to mesenchymal transition in drug-induced gingival overgrowth	Sci Rep. 2020 Jun 17;10(1):9785.	Original Article
502	Sanada T, Sano T, Sotomaru Y et al.,	歯周病科	Anti-inflammatory effects of miRNA-146a induced in adipose and periodontal tissues	Biochem Biophys Res Commun. 2020 Apr 21;22:100757.	Original Article
503	Chika Arimizu, Yasunori Ayukawa, Rika Kuwatsuru, et al.	義歯補綴科	Factors associated with discontinuation and resumption of implant maintenance therapy.	J Oral Sci. 2020 Sep 26;62(4):356-359.	Original Article
504	Jiangqi Hu, Ikiru Atsuta, Yasunori Ayukawa, et al.	義歯補綴科	Effect of titanium or zirconia implant abutments on epithelial attachments after ultrasonic cleaning.	J Oral Sci. 2020 Jul;62(3):331-334.	Original Article
505	Haraguchi T, Ayukawa Y, Shibata Y, et al.	義歯補綴科	Effect of Calcium Chloride Hydrothermal Treatment of Titanium on Protein, Cellular, and Bacterial Adhesion Properties	J Clin Med. 2020 Aug 13;9(8):2627.	Original Article
506	Ayukawa Y, Atsuta I, Moriyama Y, et al.	義歯補綴科	Localization of Integrin Beta-4 Subunit at Soft Tissue-Titanium or Zirconia Interface.	J Clin Med. 2020 Oct 17;9(10):3331.	Original Article
507	Suzuki H, Ayukawa Y, Ueno Y, et al.	義歯補綴科	Relationship between Maximum Tongue Pressure Value and Age, Occlusal Status, or Body Mass Index among the Community-Dwelling Elderly.	Medicina (Kaunas). 2020 Nov 19;56(11):623.	Original Article
508	Ogino Y, Fujikawa N, Koga S et al.	咬合補綴科	A retrospective cross-sectional analysis of swallowing and tongue functions in maxillectomy patients	Support Care Cancer. 2021 Mar 31.	Original Article
509	Oki K, Ogino Y, Tsukiyama Y et al.	咬合補綴科	The impacts of prosthetic interventions on mastication predominance in Kennedy Class II patients	J Prosthodont Res. 2020 Dec 25.	Original Article
510	Fujikawa N, Ogino Y, Koga S et al.	咬合補綴科	Validation of masticatory function and related factors in maxillectomy patients based on the concept of "oral hypofunction": A retrospective cross-sectional study	J Prosthodont Res. 2020 Dec 25.	Original Article
511	Koga S, Ogino Y, Fujikawa N et al.	咬合補綴科	Oral health-related quality of life and oral hygiene condition in patients with maxillofacial defects: A retrospective analysis	J Prosthodont Res. 2020 Oct;64(4):397-400.	Original Article

小計16件

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
512	Takashi Maehara, Naoki Kaneko, Cory A Perugino 他	顎口腔外科	Cytotoxic CD4+ T lymphocytes may induce endothelial cell apoptosis in systemic sclerosis	J Clin Invest. 2020 May 1;130(5):2451-2464.	Original Article
513	Mayu Matsumura-Kawashima, Kenichi Ogata, Masafumi Moriyama 他	顎口腔外科	Secreted factors from dental pulp stem cells improve Sjögren's syndrome via regulatory T cell-mediated immunosuppression	Stem Cell Res Ther. 2021 Mar 16;12(1):182.	Original Article
514	T Hattori, S Kawano, S Tanaka 他	顎口腔外科	Elevated expression of protease-activated receptor 1 via Δ Np63 down-regulation contributes to nodal metastasis in oral squamous cell carcinoma	Int J Oral Maxillofac Surg. 2021 Feb;50(2):163-170.	Original Article
515	Ifuku T, Hitosugi T, Kawakubo Y et.al	歯科麻酔科	Effective Method Using a Stool in Cardiopulmonary Resuscitation (CPR) on Dialysis Chair	Emerg Med Int. 2020 Jul 27;2020:5691607.	Original Article
516	Mizuno J, Otsuji M, Fukuoka Y et.al	歯科麻酔科	Hybrid logistic function characterization of left ventricular pressure-time curve in left heart catheterization	Gazzetta Medica Italiana - Archivio per le Scienze Mediche 2020 May;179(5):326-34	Original Article
517	Chikui T, Tokumori K, Panyarak W, et al.	口腔画像診断科	The application of a gamma distribution model to diffusion-weighted images of the orofacial region	Dentomaxillofac Radiol. 2021 Feb 1;50(2):20200252.	Original Article
518	Okamura K, Yoshiura K.	口腔画像診断科	The missing link in image quality assessment in digital dental radiography	Oral Radiol. 2020 Oct;36(4):313-319.	Review
519	Kami Y, Chikui T, Togao O, et al.	口腔画像診断科	Comparison of image quality of head and neck lesions between 3D gradient echo sequences with compressed sensing and the multi-slice spin echo sequence.	Acta Radiologica Open.2020;9(9):205846012095664	Original Article
520	Chikui T, Panyarak W, Tokumori K,et al.	口腔画像診断科	Utility of a diffusion kurtosis model in the differential diagnosis of orofacial tumours.	Clin Radiol. 2020 Jul;75(7):507-519.	Original Article
521	Osaki A, Sanematsu K, Yamazoe J, et al	口腔総合診療科	Drinking Ice-Cold Water Reduces the Severity of Anticancer Drug-Induced Taste Dysfunction in Mice.	Int J Mol Sci . 2020 Nov 25;21(23):8958.	Original Article
522	Rui Egashira, Yojiro Umezaki, Shinsuke Mizutani et al	全身管理歯科	Relationship between cerebral atrophy and number of present teeth in elderly individuals with cognitive decline.	Exp Gerontol. 2021 Feb;144:111189.	Original Article
523	Rui Egashira, Shinsuke Mizutani, Masahiro Yamaguchi et al	全身管理歯科	Low Tongue Strength and the Number of Teeth Present Are Associated with Cognitive Decline in Older Japanese Dental Outpatients: A Cross-Sectional Study	Int J Environ Res Public Health. 2020 Nov 23;17(22):8700.	Original Article
524	Saori Oku, Kiyomi Iyota, Shinsuke Mizutani et al	全身管理歯科	The Association of Oral Function with Oral Health-Related Quality of Life in University Students: A Cross-Sectional Pilot Study	Int J Environ Res Public Health. 2020 Jul 6;17(13):4863.	Original Article
525	Yoshihiro Kobayashi, Yuko Imai, Shinsuke Mizutani et al	全身管理歯科	Opportune time of tooth extraction in individuals requiring ventricular assist device implantation: a retrospective cohort study	J Oral Maxillofac Surg. 2020 Nov;78(11):1921.e1-1921.e9.	Original Article
526	Fan Zeng, Yicong Liu, Wanyi Huang, Hong Qing et al	全身管理歯科	Receptor for Advanced Glycation End Products Upregulation in Cerebral Endothelial Cells Mediates Cerebrovascular-related Amyloid β Accumulation After Porphyromonas Gingivalis Infection	J Neurochem. 2020 May 22.	Original Article

小計16件

小計4件

合計 526 件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
1	後藤健一	第二内科	高血圧と血管内皮依存性過分極(EDH)	福岡医学雑誌, 2020.12	Review
2	乙成 淳, 朝野泰成, 吉原 一文, 他	心療内科	共分散構造分析を用いた性格、コーピング、および主観的ストレスの関連の検討 男女別の解析	心身医学, 2020年10月, 60巻7号, 608-616頁	Original Article
3	前田泰宏, 渡邊充, 前田教寿, 他	脳神経内科	免疫抑制薬使用患者に生じた重症水痘。帯状疱疹ウイルス関連脳脊髄炎の1割検例	臨床神経学, 2020年5月;60, 351-357.	Case report
4	吉良潤一	脳神経内科	多発性硬化症の病態におけるグリアのコネクション蛋白の役割	脳神経内科, 2020 Oct; 93(4), 410-424	Others
5	磯部紀子, 吉良潤一	脳神経内科	免疫性神経疾患update —基礎・臨床研究の最新知見—。多発性硬化症・視神経脊髄炎の疫学	日本臨牀, 2020年11月; 78 (11), 1811-1816	Others
6	山崎亮, 吉良潤一	脳神経内科	慢性炎症性脱髄性多発神経炎(CIDP)と多巣性運動性ニューロパチー(MMN)	別冊BIO Clinica 慢性炎症と疾患, 2020年12月; 25 (9), 34-39	Others
7	渡邊充, 吉良潤一	脳神経内科	ミエリンベースック蛋白(MBP)	内科(増大号:検査値を読む2020), 2020年4月; 125 (4), 1116	Others
8	藤井敬之, 宮地佑希野	脳神経内科	抗Plexin D1抗体	日本臨牀 2020年11月; 78: 1945-1950	Others
9	藤井敬之, 山崎亮, 宮地佑希野, 他	脳神経内科	抗plexin D1抗体に関連した神経障害性疼痛	末梢神経 2020年6月; 31: 62-68	Others
10	今村友裕	脳神経内科	精神疾患(認知症, うつ, 睡眠障害など)の予防・治療における漢方の役割	PROGRESS IN MEDICINE. 2020年9月; 40 (9), 955-959	Others
11	福元尚子, 渡邊充, 吉良潤一, 他	脳神経内科	ライム病(スピロヘータ)	Clinical Neuroscience, 2020年10月; 38 (10), 1234-1235	Others
12	安永 昌史, 矢幡 秀昭, 小玉 敬亮, 他	産科婦人科	腹腔鏡下前方骨盤除臓術を施行した外陰悪性黒色腫の一例	福岡産科婦人科学会雑誌. 2020 Jul; 44(1): 08-11	Case report
13	兼城 英輔, 堀 絵美子, 貴島 雅子, 他	産科婦人科	腹腔鏡下子宮体癌手術後に緊急筋膜切開術を要した下腿コンパートメント症候群の1例	福岡産科婦人科学会雑誌. 2020 Jul; 44(1): 12-16	Case report
14	加藤 聖子	産科婦人科	女性の一生を診る	日本女性医学学会雑誌. 2020 Jul; 27(4): 529-532	Review
15	野田 龍之介, 佐藤 由佳, 蜂須賀 信孝 他	総合周産期母子医療センター(母性胎児部門)	後遺症なき生存を得た流産期前期破水の一例	福岡産科婦人科学会雑誌. 2021 Jan; 44(2): 07-11	Case report

小計14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
16	藤田 恭之	総合周産期母子医療センター(母性胎児部門)	特集【必携】専攻医と指導医のための産科診療到達目標診療技術編 超音波検査 胎盤	周産期医学. 2020 Aug; 50(8): 1229-1232	Review
17	城戸 咲	総合周産期母子医療センター(母性胎児部門)	〈シンポジウム 総排泄腔遺残症管理への産婦人科の役割〉周産期医療における総排泄腔遺残	日本女性医学学会雑誌. 2020 Jul; 27(4): 557-561	Review
18	日高 庸博	総合周産期母子医療センター(母性胎児部門)	〈シンポジウム 心臓疾患の移行期医療(周産期-小児循環器-循環器内科-周産期)〉先天性心疾患女性に対する妊娠前相談	日本女性医学学会雑誌. 2020 Jul; 27(4): 604-609	Review
19	坂井 淳彦, 藤田 恭之, 加藤 聖子	総合周産期母子医療センター(母性胎児部門)	周産期の薬 III. 疾患に対する薬剤の選び方・使い方・注意点「合併症妊娠」胃潰瘍	周産期医学. 2020 Dec; 50(増刊号): 155-158	Review
20	坂井 淳彦, 藤田 恭之, 加藤 聖子	総合周産期母子医療センター(母性胎児部門)	抗甲状腺薬: 治療目標・催奇形性をどのように考えればよいのか(妊娠・分娩時の薬物治療: 最新の使い方は? 留意点は?)	臨床婦人科産科. 2021 Mar; 75(2): 199-203	Review
21	山本俊亮, 西山慶, 是松辰哉, 他	小児科	胎児エコーと特徴的な腎外症状から早期に診断し得たPierson症候群の1例	小児腎不全学会誌. 2020年9月; 40: 173-175.	Case report
22	松岡良平, 宗内淳, 江崎大起, 他	小児科	先天性心疾患に合併した肺静脈狭窄に対する薬剤コーティングバルーン治療	心臓. 2020年10月; 52(10):1184-1191	Case report
23	北出一季, 藤原稔史, 薛宇孝, et.al	整形外科	当科における腫瘍用人工膝関節置換術の術後成績	整形外科と災害外科 69巻3号 Page461-465(2020.09)	Original Article
24	松浦俊治, 河野雄紀, 高橋良彰, 他	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	特集 小児外科臨床研究の基礎と展望 脾・門脈疾患	小児外科. 2020Jul 52(7): 743-748,	Original Article
25	松浦俊治, 内田康幸, 河野雄紀, 他	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	特集 そこが知りたいシリーズ: 手術に必要な局所解剖(腹壁・後腹膜・泌尿器・腫瘍編) 肝左外側区域切除	小児外科. 2020 Oct 52(10):1109-1112,	Original Article
26	永田公二	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	【小児外科臨床研究の基本と展望】先天性横隔膜ヘルニア	小児外科. 2020Jul 52(7): 718-722.	Original Article
27	武本 淳吉, 小幡 聡, 渋井 勇一, 他	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	小児陰茎尖圭コンジローマの1例	日小外会誌. 2020 Oct.56(6):977-981,	Case report
28	玉城昭彦, 吉丸耕一郎, 入江敬子, 他	小児外科、生 育外科、小腸 移植外科	Hirschsprung病およびHirschsprung病類縁疾患の病理と臨床 特集: 小児非腫瘍性疾患の病理と臨床	病理と臨床. 2020 Aug;38(8):677-686	Original Article
29	山名智志, 武田篤信, 長谷川英一 他	眼科	ピリメタミンにより加療した眼トキソプラズマ症の2例	日本眼科学会雑誌 125:122-128, 2021/02/10	Case report
30	白根茉莉子, 田邊美香, 吉川洋 他	眼科	急速増大を来した涙嚢部脂腺癌の1例	日本眼科学会雑誌 125:117-121, 2021/02/10	Case report

小計14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
31	田邊美香	眼科	眼瞼腫瘍の鑑別と手術	眼科グラフィック 10:64-73, 2021/02/10	Original Article
32	園田康平	眼科	眼トキソプラズマ症	臨床眼科 75:42-45, 2021/01/15	Original Article
33	田邊美香	眼科	亜急性の眼瞼腫脹と眼球突出	眼科鑑別診断実力アップ Q&A 1:231-233, 2021/02/15	Original Article
34	船津治彦, 中 尾新太郎	眼科	散瞳後に水晶体の偏位を確認	眼科鑑別診断実力アップ Q&A 1:94-96, 2021/02/15	Original Article
35	田邊美香	眼科	静脈圧亢進による続発緑内障	眼科鑑別診断実力アップ Q&A 1:223-225, 2021/02/15	Original Article
36	田川楓, 関正 佳, 高木健一 他	眼科	治療前後で視機能改善を確認出来た霰粒腫の 1例	眼科臨床紀要 13(12):788- 791, 2020/12/15	Case report
37	永吉美月, 塩 瀬聡美, 和田 伊織 他	眼科	ポリープ状脈絡膜血管症に対する光線力学的 療法併用抗血管内皮増殖因子治療後短期にお ける治療成績と再発予測因子	臨床眼科 74:1241-1249, 2020/10/15	Original Article
38	長谷川英一, 園田康平	眼科	ぶどう膜炎の疫学	日本の眼科 91(10):1396- 1400, 2020/10/20	Original Article
39	田邊美香	眼科	眼瞼・結膜乳児血管腫に対する β 遮断薬による 治療	眼科 62:931-935, 2020/10/05	Original Article
40	上田瑛美, 安 田美穂	眼科	近視発症の疫学と環境因子	あたらしい眼科 37:513- 518, 2020/05/01	Original Article
41	秋山雅人	眼科	加齢黄斑変性の薬理遺伝学研究	あたらしい眼科 37 (4):451- 452, 2020/04/30	Original Article
42	秋山雅人	眼科	加齢黄斑変性から探る多因子疾患のゲノム解析 の潮流	生体の科学 71 (2):108- 113, 2020/04/15	Original Article
43	武田篤信, 園 田康平	眼科	両眼性に重篤な閉塞性網膜血管炎を発症した 全身疾患	症例から学ぼう ぶどう膜炎 診療のストラテジー 1:257- 63, 2020/04/20	Original Article
44	八幡信代, 園 田康平	眼科	免疫回復ぶどう膜炎に移行したサイトメガロウイ ルス網膜炎	症例から学ぼう ぶどう膜 炎診療のストラテジー 1:147-151, 2020/04/20	Original Article
45	長谷川英一, 園田康平	眼科	全身検査が診断に重要なぶどう膜炎	症例から学ぼう ぶどう膜 炎診療のストラテジー 1:16-22, 2020/04/20	Original Article

小計14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
46	山名智志, 園田康平	眼科	白内障手術後の再発性ぶどう膜炎	症例から学ぼう ぶどう膜炎診療のストラテジー 1:113--118, 2020/04/20	Original Article
47	白根茉莉子, 波多野誠, 内翔平	眼科	視神経乳頭腫脹を合併する小児ぶどう膜炎	症例から学ぼう ぶどう膜炎診療のストラテジー 1:130-135, 2020/04/20	Original Article
48	吉富景子, 園田康平	眼科	視神経炎と鑑別が困難なぶどう膜炎	症例から学ぼう ぶどう膜炎診療のストラテジー 1:171-176, 2020/04/20	Original Article
49	M.M,W.T,Y.R 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	レンパチニブ投与中に心筋障害を発症した甲状腺癌例	耳鼻咽喉科臨床.2020 May;113(5) 309-314	Case report
50	M.M,U.R,T.M 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	頭頸部癌治療中に様々な血栓症を発症した4症例	頭頸部癌.2020 May;46(1):41-45	Case report
51	Takao S, Nishie A, Hidaka H, et al.	放射線科	オキサリプラチン誘発性肝障害:造影CTによる評価	「肝臓」2020年7月;61(7):358-366	Original Article
52	Kadota H,Fukushima S,Inatomi Y他	形成外科	高度・中等度 リンパ浮腫治療update 2020 リンパ漏関連疾患および顔面リンパ浮腫に対するリンパ管静脈吻合術の有用性	形成外科;2020年10月:63(10)1258-1266	Original Article
53	Hanada M,Kadota H他	形成外科	悪性軟部腫瘍切除後の適切な創閉鎖:再発症例での皮弁の必要性(Appropriate Wound Closure after Malignant Soft Tissue Tumor Excision:Need for Flap Surgery in Recurrent Tumors)	福岡医学雑誌;2020 Jun;111(2), 86-91	Original Article
54	瀬戸山大樹	検査部	臨床検査診断支援システム(DSS)の開発を目指した検査値データの活用事例について	日本医療検査科学会誌.2020 Aug;45	Original Article
55	服部佳奈子, 木部泰志, 諸熊由子, et al	検査部	VITEK MSでNeisseria meningitidisと誤同定されたNeisseria polysacchareaとNeisseria meningitidisとの鑑別法およびVITEK MSの同定精度の検証	日本医療検査科学会誌.2020 Jun;45	Original Article
56	松本信也, 野田望, 藤本明子,	検査部	乳幼児期の血栓症症例においてプロテインS活性に対するプロテインC活性の比でプロテインC遺伝子バリエーションの有無を推測できる	臨床病理.2020 Nov;68(11):883-888	Original Article
57	後藤和人, 康東天	検査部	樹状細胞の成熟化におけるミトコンドリアp32の役割	臨床化学.2020 Apr;49(2):117-123	Others
58	瀬戸山大樹, 加藤隆弘	検査部	バイオマーカーへの期待 診断バイオマーカーうつ病の血液バイオマーカー開発の試み-	精神科(心療内科).2020 Dec;37(6):592-598	Others
59	清祐麻紀子	検査部	微生物検査の最新機器と日常検査への導入効果 バイテックMSの導入とその臨床的な有用性	臨床と微生物.2020 Jul;47(4):301-305	Others
60	清祐麻紀子	検査部	見直そう,日常微生物検査-その課題と解決策を考える 検体採取・輸送・保存	臨床と微生物.2020 Oct;47	Others

小計14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
61	木下 絵美, 宮崎 仁志, 小川 和久, 他	放射線部	CT透視におけるhalf scanを用いた術者被ばく低減と画質評価	日本診療放射線技師会誌:2020 Dec;76(12):1266-1275	Original Article
62	井上晃太, 立石悠基, 本村 良知, 他	病理診断科・病理部	病理解剖によって診断し得た川崎病血管炎の一例	脈管学. 2020 May;60(5):71-73	Case report
63	井上晃太, 成富文哉, 大城 由美, 他	病理診断科・病理部	急性心筋梗塞を発症した超高齢者の血管炎の一例	脈管学. 2020 Apr;60(4):57-60	Case report
64	久保山雄介, 山田裕一, 小田義直, 他	病理診断科・病理部	希少がんの病理診断コンサルテーション体制について	腫瘍内科. 2020 Oct;26(4):425-431	Review
65	古賀 裕	病理診断科・病理部	IPMN由来癌と併存膵癌の鑑別 (GNAS/KRAS変異解析, 予後が異なるなどの鑑別の意義も含めて)	胆と膵. 2020 Oct;41(臨時増刊特大号):1223-1228	Review
66	玉城昭彦, 吉丸耕一朗, 入江敬子, 他	病理診断科・病理部	Hirschsprung病およびHirschsprung病類縁疾患の病理と臨床	病理と臨床. 2020 Aug;38(8):677-686	Review
67	戸田雄, 小田 義直	病理診断科・病理部	肉腫の病理診断 WHO診断基準(2020)	日本臨床. 2020 Oct;78増刊号(5):168-182	Review
68	成富文哉, 山元英崇, 小田義直	病理診断科・病理部	遺伝子変異特異的抗体 免疫組織化学の治療への展開	病理と臨床. 2020 Apr;38(臨時増刊号):384-391	Review
69	本郷貴大, 山元英崇	病理診断科・病理部	病理がめずらしい リンパ上皮癌	Journal of Otolaryngology, Head and Neck Surgery. 2020 Nov;36(11):1488-1490	Review
70	山元英崇	病理診断科・病理部	消化器腫瘍 I 新WHO分類のポイント 消化管 編 間葉系腫瘍	病理と臨床. 2020 Nov;38(11):1026-1032	Review
71	山元英崇, 石原新, 戸田雄, 他	病理診断科・病理部	線維性・線維組織球性骨腫瘍の病理 特集 骨軟部腫瘍の病理 II	病理と臨床. 2020 Apr;38(4):320-324	Review
72	立石悠基, 小田 義直	病理診断科・病理部	ゲノム診療用病理組織検体取扱い規程	検査と技術. 2020 Jun;48(6):575-577	Review
73	奥井佑, 朴珍相, 中島直樹	メディカル・インフォメーションセンター	中断時系列解析を用いた向精神薬の多剤併用に対する診療報酬改定の効果の検証	医療情報学会誌: 2020 Oct; 40(1):62-71	Original Article
74	末次王卓, 山本奈々絵, 重松智博, 他	薬剤部	新規抗てんかん薬血中濃度測定の内製化による効果	薬学雑誌: 2020年8月 140(8)1035-1040.	Original Article
75	白濱雅史, 石田茂, 永田健一郎, 他	薬剤部	アリピプラゾールによる急性アカシジア発現のリスク因子に関する臨床調査	医療薬学: 2020年8月 46(8)414-420.	Original Article

小計14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
76	永田健一郎, 辻敏和, 村岡香代子, 他	薬剤部	医薬品情報の一元管理・共有化システムの構築と評価	医薬品情報学: 2020年8月22(2)83-90.	Original Article
77	入佐俊弘, 秦晃二郎, 中嶋一恵, 他	薬剤部	大気中に浮遊する抗がん薬の微粒子を検出するためのフィルター抽出法の検討	癌と化学療法: 2020年9月47(9)1337-40.	Original Article
78	富松俊太, 工藤孔梨子, 上田真太郎, 他	国際医療部	リアルタイム双方向型オンラインでの学術集会に対する技術支援の実施および参加者からの評価: 日本泌尿器科学会福岡地方会の例	日本遠隔医療学会雑誌: 2020 12月, 16(2): 141-144	Original Article
79	杉井英樹, 吉田晋一郎, 友清淳	歯内治療科	未重合レジンセメントと未重合フロアブルレジンの結合力.	日本歯科保存学会誌: 2020.07:63(1): 44-51	Original Article
80	中嶋真理子, 中山朋子, 前濱和佳奈 他	全身管理歯科	障害者施設利用者の齲蝕罹患歯数および現在歯数の状況(臨床集計)	日本障害者歯科学会雑誌, 2020年5月(印刷中)	Original Article

小計10件

合計 80 件

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有
・ 手順書の主な内容 目的、適用範囲、設置、役割・責務、構成、委員長及び副委員長、守秘義務、審査、審査結果、実施状況報告、迅速審査、情報公開、記録の保存、事務	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 12 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
 2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有
・ 規定の主な内容 目的、定義、対象者、対象事象、委員会、審議事項、ガイドライン、自己申告、審議・勧告等の手続、関係機関との連携、啓発運動、相談受付、守秘義務、情報公開、事務	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 12 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 8 回
・ 研修の主な内容 臨床研究の概要（必須知識）、臨床研究の立案から遂行まで、研究医療と規制、企業主導治験の適正な遂行、ガイダンス「ARO次世代医療センターの活用法」、認定試験	

臨床研究とP Iの責務、研究倫理（臨床研究法/倫理指針/プレ審査/IRB）、医師主導治験、プロジェクト管理、試験デザイン、データマネジメント、モニタリング・監査/安全性管理、P I認定試験

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

別紙のとおり

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	1,193人
-------------	--------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
宮本 敏弘	血液・腫瘍・心血管内科	副診療科長	31年	
有信 洋二郎	免疫・膠原病・感染症内科	副診療科長	27年	
北園 孝成	消化管内科	診療科長	37年	
北園 孝成	腎・高血圧・脳血管内科	診療科長	37年	
小川 佳宏	内分泌代謝・糖尿病内科	診療科長	34年	
小川 佳宏	肝臓・膵臓・胆道内科	診療科長	34年	
須藤 信行	心療内科	診療科長	33年	
山崎 亮	脳神経内科	副診療科長	23年	
筒井 裕之	循環器内科	診療科長	39年	
松元 幸一郎	呼吸器科	副診療科長	32年	
加藤 聖子	産科婦人科	診療科長	36年	
大賀 正一	小児科	診療科長	37年	
中村 雅史	第一外科	診療科長	33年	
森 正樹	第二外科	診療科長	41年	
中島 康晴	整形外科	診療科長	31年	
溝口 昌弘	脳神経外科	副診療科長	31年	
塩瀬 明	心臓血管外科	診療科長	26年	
吉丸 耕一朗	小児外科	副診療科長	15年	
古江 増隆	皮膚科	診療科長	41年	
江藤 正俊	泌尿器科・前立腺・腎臓・副腎外科	診療科長	36年	
中尾 智博	精神科神経科	診療科長	26年	
園田 康平	眼科	診療科長	31年	
中川 尚志	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	診療科長	33年	
石神 康生	放射線科	診療科長	27年	
山浦 健	麻酔科蘇生科	診療科長	29年	
下野 信行	総合診療科	診療科長	35年	
門田 英輝	形成外科	診療科長	24年	
水野 晋一	先端分子・細胞治療科	診療科長	32年	
小田 義直	病理診断科・病理部	診療科長	35年	
北園 孝成	救急科	診療科長	37年	
中島 康晴	リハビリテーション科	診療科長	31年	
福本 敏	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	診療科長	27年	
高橋 一郎	矯正歯科	診療科長	32年	
前田 英史	歯内治療科	診療科長	31年	

西村 英紀	歯周病科	診療科長	36年
古谷野 潔	義歯補綴科・咬合補綴科	診療科長	41年
中村 誠司	顎口腔外科	診療科長	38年
森 悦秀	顔面口腔外科	診療科長	40年
横山 武志	歯科麻酔科	診療科長	35年
吉浦 一紀	口腔画像診断科	診療科長	38年
和田 尚久	口腔総合診療科	診療科長	24年
柏嶋 晴彦	高齢者歯科・全身管理歯科	診療科長	31年

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・ 別紙「令和2年度看護職員教育プログラム」のとおり
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・ 研修の主な内容：看護管理者研修1（副看護師長）、看護管理者研修2（看護師長） 中間管理者育成研修（リーダークラスの看護師） 入職時研修（新人看護師）
・ 研修の期間・実施回数：期間は令和2年度、実施回数は20回
・ 研修の参加人数：看護師長41名、副看護師長98名、看護師161名（合計300名）
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・ 研修の主な内容：がん看護
・ 研修の期間・実施回数：期間は令和2年度 11回
・ 研修の参加人数：1名

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 赤司浩一
管理担当者氏名	各診療科長 放射線部長・診療録管理室長 石神康生 薬剤部長 家入一郎 総務課長 田邊圭二 医療連携センター長 中川尚志 医療管理課長 染矢朋宏 患者サービス課長 大賀美喜

		保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	病棟
		処方せん	薬剤部
		手術記録	
		看護記録	
		検査所見記録	
		エックス線写真	
		紹介状	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	
			・診療に関する諸記録及びエックス線写真は、平成20年2月1日以降の外来及び入院診療分から、電子カルテ及びPACS（医用画像）にて電子媒体保存している。平成20年2月1日～平成24年12月31日までの一部診療に関する各科の記録書類（紹介状、入院診療計画書等）については、外来・入院文書フォルダーで診療録管理室により一括中央管理している。平成25年1月1日からは全て電子媒体保存している。 ・本学で定められた保存期間（10年）内の紙カルテは診療録管理室により一括中央管理しており、保存期間を超過した紙カルテは原則廃棄している。 ・電子化前のエックス線写真は各検査の種類により、各診療科及び放射線部が保管管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	患者サービス課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	患者サービス課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携センター
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	患者サービス課
	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療管理課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療管理課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療管理課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療管理課

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療管理課	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療管理課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療管理課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医療管理課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療管理課	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療管理課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療管理課	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療管理課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療管理課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療管理課
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療管理課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療管理課
		医療安全管理部門の設置状況	医療管理課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療管理課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療管理課
		監査委員会の設置状況	医療管理課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療管理課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療管理課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療管理課 患者サービス課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医療管理課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療管理課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 藤江 進
閲覧担当者氏名	総務課長 田邊 圭二
閲覧の求めに応じる場所	総務課

閲覧の手続の概要
九州大学が保有する法人文書について「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づき、九州大学に対し開示を請求することができる。

【開示請求できる文書】
九州大学の役員又は職員が職務上作成又は取得した文書、図面、電磁的記録で職員が組織的に用いるものとして、九州大学において保有しているものが対象となる。
ただし、書籍等の市販物や、一般の閲覧に供するために特別の管理がなされている機関として総務省の指定を受けている九州大学附属図書館、九州大学大学文書館が保有する歴史的資料又は学術研究用資料等は開示請求の対象から除く。

【不開示となる文書】
開示請求を受けた法人文書は原則としてすべてを開示するが、不開示となる情報が記録されている場合は、その部分を除いて開示する。九州大学では、開示請求を受けた法人文書について、「九州大学における法人文書の開示基準」に基づき、開示・不開示を決定する。

【開示・不開示決定の通知】
法人文書の開示・不開示の決定は、原則として開示請求があった日から30日以内に行われ、その後速やかに開示請求者に通知する。開示決定期限が30日を超えて延長となる場合はその旨開示請求者に通知する。

【開示請求手数料、開示実施手数料】
○開示請求手数料 開示請求に係る法人文書1件につき300円
○開示実施手数料 開示決定後、開示の実施に際して、実施方法ごとに定められた開示実施手数料を納めなければならない。例として、閲覧による場合は100頁単位ごとに100円、写しの交付による場合は、1頁ごとに10円。なお、開示実施手数料は法人文書1件につき通常300円まで控除される。

【開示請求方法】
法人文書開示請求書に必要な事項を記載し、九州大学情報公開事務室に提出する（郵送可）。

(注) 既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

1 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
・ 指針の主な内容： 1. 安全管理に関する基本的考え方 2. 医療安全管理のための委員会等の組織に関する基本的事項 3. 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針 4. 医療事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6. 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 7. 患者からの相談への対応に関する基本方針 8. その他本院における医療安全管理の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・ 設置の有無（ 有 ） ・ 開催状況：年12回 ・ 活動の主な内容： (1) 医療事故防止のための具体的措置に関すること。 (2) 医療安全管理マニュアルに関すること。 (3) 医療安全に係る職員の教育及び研修に関すること。 (4) 医療事故等発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知に関すること。 (5) 改善策の実施状況調査及び見直しに関すること。 (6) 医療事故等発生時の診療録や看護記録等に関すること。 (7) 医療事故等発生時の患者及び家族への説明に関すること。 (8) インシデントレポート及び事故報告書の分析に関すること。 (9) 医療安全管理部の業務に関すること。 (10) 医療事故調査に関すること。 (11) その他事故防止及び医療の安全性の向上等にかかる医療安全管理に関すること。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	主にe-learning研修により実施
・ 研修の内容（すべて）： 当院の医療安全管理体制について 新型コロナウイルス肺炎患者に使用する人工呼吸器と安全なモニタリング 人工呼吸器の安全使用-使用前チェックリストの使用活用 酸素療法の実践 前年度発生した事例 再活性化B型肝炎発生予防と管理システムについて 医薬品の適正使用 せん妄予防対策	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備（ 有 ） 院内報告制度においては事故の影響度レベルを0～5の8段階（3、4は夫々a、bの別有り）に分類して医療安全管理部への報告を義務づけている（報告書類は電子システムによる）。3b以上の事例においては、臨床試験（治験を含む）対象者の場合にはARO安全性情報管理室への報告も義務づけている。報告に迷うことがないように報告が必要な事例を例示しており、マニュアルの改訂毎に見直しと周知を実施している。 ・ その他の改善のための方策の主な内容： ○インシデント情報の発信 報告されたインシデント事例から特に警鐘を促すべき内容について、毎月1回インシデント情報（ポスター）を作成、また日本医療機能評価機構からの医療安全情報や報道事例について院内職員へ注意喚起している	

- リスクマネージャーを対象とした研修会の開催
- 医療安全管理マニュアルとホームページの改訂
- 「M&Mカンファレンス」の開催、検討結果のホームページへの掲載
- 説明書と同意書の取り扱いについて、改訂と周知
- 陰圧個室管理を要する患者の急変時について、改訂と周知
- 輸血過誤発生時の対応について、改訂と周知
- 抗がん剤の血管外漏出について、基本的対応フロー図の作成と周知

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
・ 指針の主な内容： 平成19年7月に制定した「九州大学病院における院内感染対策のための指針」の主な内容は次のとおり。 1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項 3. 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 感染症発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. その他本院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
・ 活動の主な内容： 1. 院内感染防止対策のための措置に関すること。 2. 院内感染防止対策に係る職員の研修及び教育に関すること。 3. 院内感染発生時の原因の分析・究明、改善策の立案、実施及び職員への周知等に関すること。 4. グローバル感染症センター業務のうち、院内における業務に関すること。 5. その他院内感染防止対策に関すること。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	主にe-learning研修により実施
・ 研修の内容（すべて）： 新型コロナウイルス感染症と感染対策 エビネットの年度集計報告 ASTによる抗菌薬適正使用 アンチバイオグラムの活用 感染症への対策（新型コロナウイルス感染症を中心に）	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備（有） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 感染症法に基づく院内報告基準の改訂と職員への指導 感染情報レポート等活用による情報共有と部署への指導 アウトブレイク予兆ラウンド、早期介入 ICT教育ラウンド・環境ラウンドでの標準予防策の遵守確認 経路別予防策の指導・教育 手指消毒剤使用量モニタリングと手指衛生遵守率確認 ベストプラクティスの作成、遵守状況確認 抗菌薬適正使用に向けた介入（血液培養陽性症例、抗MRSA薬・広域抗菌薬使用症例、カルバペネム系抗菌薬長期使用症例） 感染症予防のためのワクチン接種の推進 血液培養複数	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年13回
・ 研修の主な内容： 医薬品の適正使用 薬剤のオーダーと運用について 薬剤部の紹介 薬剤部におけるリスクマネジメント 薬剤のオーダー演習 医薬品の管理・薬剤の基礎知識 薬剤に対する基礎知識 糖尿病患者の理解とケア～糖尿病患者の薬物療法 等	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成 職員に対する医薬品の安全使用のための研修の実施 医薬品の業務手順書に基づく業務の実施 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全確保を目的とした改善のための方策の実施	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例(あれば)： 未承認：治療抵抗性造血幹細胞移植後BKウイルス性出血性膀胱炎に対するシドフォビル膀胱内注入療法 適応外：眼内悪性リンパ腫に対する注射用メソトレキセートの硝子体内投与 気管支鏡検査におけるプロポフォールの使用 一般病棟における呼吸管理時の鎮静を目的としたデクスメデトミジンの使用等、68件 禁忌：特筆すべき事例なし ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ その他の改善のための方策の主な内容： 毎月疑義照会報告を医療安全委員会等で実施し、リスクマネージャーを通じて周知 麻薬、向精神薬、筋弛緩薬、毒薬は業務手順チェック表に基づき管理状況を点検。 4半期に1回定数配置薬チェックシートに基づき、管理状況点検 ハイリスク薬の見直し	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年56回
・ 研修の主な内容： 医療機器の安全について 新型コロナウイルス肺炎患者に使用する人工呼吸器と安全なモニタリング 人工呼吸器の安全使用-使用前チェックリストの使用活用 NPPV、NHFの安全管理 各種機器の新規導入時研修及び安全使用のための研修	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (有) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： (1) 人工心肺装置・補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置等の保守点検を行っている。 (2) 日常点検（始業、使用中、終業）と定期点検を添付文書、取扱説明書、操作手順により実施している	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： 人工肛門造設時に使用する電気刺激装置 VFコード 一酸化窒素コントローラー ・ その他の改善のための方策の主な内容： (1) 院内情報は医療安全管理部に報告され、管理者及び医療安全管理責任者に情報が伝達される。 (2) 院内情報は医薬品医療機器総合機構配信サービス等により情報を収集している。 (3) 収集した情報は医療機器安全管理専門委員会において各委員会に報告し、関連部署へ周知している。 ○医療機器の安全使用を目的とした情報については、独立行政法人医薬品医療機器総合機構のホームページ上に掲載されているPMDAの医療安全情報、公益財団法人日本医療機能評価機構のホームページ上に掲載されている医療安全情報などから情報収集を行い、管理者及び医療安全管理責任者、医療機器安全管理責任者へ報告されている。また、医療機器安全管理専門委員会において内容を審議し、各委員に周知、関連部署の職員に通知している。なお、医療安全管理部とも連携し、リスクマネージャー会議を通じて各部署のリスクマネージャーに周知、リスクマネージャーより各部署の職員へも周知している。	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有
・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全管理責任者として、「安全管理・危機管理」を担当する副病院長を配置している。 医療安全管理部長、医薬品安全管理専門委員会委員長（医薬品安全管理責任者）、医療機器安全管理専門委員会委員長（医療機器安全管理責任者）も委員として組織される医療安全管理委員会に委員として参画している。 なお、平成28年9月に、医療安全管理体制に医療安全管理を担当する副病院長の位置づけを明確化した。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（7名）
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 医薬品安全管理手順書の情報提供管理規定ならびに院内情報提供マニュアルに従い、情報の整理、周知している。なお、周知状況については、該当診療科のリスクマネージャー宛に配信した情報について確認記録を残している。 ・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 適応外使用については、疑義照会入力の徹底、病棟薬剤師から情報収集、倫理委員会への申請・承認情報の共有、インシデント報告書等により把握を行っている。禁忌については、併用禁忌、病名禁忌ともに処方時警告表示される。必要に応じて薬剤師が疑義照会している。 なお、疑義照会で得られた適応外使用、禁忌情報は毎月確認し、医療安全管理部会と医療安全委員会で結果を報告・共有し、必要時指導を行っている。 未承認薬については原則該当倫理委員会承認後の使用となっている。 ・担当者の指名の有無（有） ・担当者の所属・職種： （所属：薬剤部，職種 薬剤師）	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有
・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（有） ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容： 九州大学病院インフォームド・コンセントガイドライン インフォームド・コンセントの成立の要件 説明すべき基本的事項 文書による説明・同意の注意点 インフォームド・コンセントの取得における一般的な留意点	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 全ての診療録を対象として、退院サマリー、手術記録、指導管理料、研修医カルテ承認について定期的に監査を行っている。また、毎月複数の診療科の一部の診療録を対象とし、入院から退院までの流れに沿って、入院診療計画書、IC 記録・説明同意書、手術記録、退院サマリー、死亡診断書の適正な記載について監査を行っている。監査結果はカルテ委員会で報告し、必要に応じて修正依頼を行っている。退院サマリーや診療録については、これを業務として閲覧している多部署（診療録管理室、診断書作成補助室、がん登録室、DPC 管理室）で監査し、不備が見つかった場合は診療科へ修正依頼を行っている。医療安全上問題となった症例、死亡症例、先進医療症例については、医師、看護師、診療情報管理士等の多職種によりカルテ記載の確認を行い、医療安全管理委員会、カルテ委員会、診療録管理室による合同での院内公開型カルテレビューを定期的に開催している。 （カルテレビューは令和2年度新型コロナウイルス感染防止対策の為休止。オンライン等での開催を検討中）	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有
・所属職員：専従（5）名、専任（ ）名、兼任（1）名 うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち看護師：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： ■事故防止に関すること インシデントレポートを分析し、結果を各医療現場にフィードバック、事故防止に繋げる ■医療安全に係る職員の教育・研修に関すること 基本的な考え方や具体的方策について職員に周知徹底を行い、安全に対する意識の向上や、安全な業務の遂行につながるような研修を企画・実施 ■院内の事故に関すること 状況の確認、患者さんへの対応確認、状況に応じた指導 診療録や改善策の検討、必要があれば病院全体への周知徹底 原因究明・改善策の確認や必要な指導 ○医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についてのモニタリングは以下の項目を毎月の医療安全管理委員会において報告している。 転倒・転落総件数、部署別件数、要因別件数、転倒割合等 注射薬インシデント件数 患者誤認件数 肺血栓塞栓症予防対策実施割合や発生数 せん妄疑い有りの件数	

再活性化リスク薬剤使用患者に関する診療科別適性検査状況報告
画像診断報告書未読件数
必須研修・選択研修の出席回数ゼロの所属ごと集計

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（7件）、及び許可件数（6件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有）
- ・ 活動の主な内容：
 - （1）診療科の長から高難度新規医療技術を用いた医療の申請が行われた場合、申請内容を確認するとともに諮問委員会（九州大学病院高難度新規医療技術審査委員会）に対して当該高難度新規医療技術の提供の適否、実施を認める条件等に意見を求めること。
 - （2）（1）の意見の求めに応じ、諮問委員会が述べた意見を踏まえ、高難度新規医療技術の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を適否結果通知書により通知すること。
 - （3）高難度新規医療技術が適正な手続に基づいて提供されていることについて定期的に確認すること。
 - （4）高難度新規医療技術の提供の適否について決定したとき及び高難度新規医療技術が適正な手続に基づいて提供されていることについて確認したとき、その内容について病院長に報告すること。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（1件）、及び許可件数（1件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有）
- ・ 活動の主な内容；
 - （1）診療科の長から未承認新規医薬品等を用いた医療の申請が行われた場合、申請内容を確認するとともに諮問委員会（九州大学病院臨床倫理委員会）に対して当該未承認新規医薬品等の提供

の適否、実施を認める条件等に意見を求めること。 (2) (1)の意見の求めに応じ、諮問委員会が述べた意見を踏まえ、未承認新規医薬品等の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を適否結果通知書により通知すること。 (3) 未承認新規医薬品等が適正な手続に基づいて提供されていることについて定期的に確認すること。 (4) 未承認新規医薬品等の使用の適否について決定したとき及び未承認新規医薬品等が適正な手続に基づいて提供されていることについて確認したとき、その内容について病院長に報告すること。 ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有) ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (有)
⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況 ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年201件 ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年207件 ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 死亡例の報告については、死亡報告様式を医療安全管理部ホームページに作成し、平成28年9月から実施している。 有害事象（報告範囲）についての報告は、基準を影響度分類3b以上とした上で死亡例も含め既に実施している。 確認結果の管理者への報告については、医療安全管理部で確認し、医療安全管理委員会（委員長：病院長）で報告している。
⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況 ・ 他の特定機能病院等への立入り (有 (病院名：広島大学病院)) ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ (有 (病院名：山口大学医学部附属病院)) ・ 技術的助言の実施状況 特になし
⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 ・ 体制の確保状況 ○ 「患者相談支援室」：患者相談対応を目的として設置 ・ 医療安全に係る相談があった場合には、速やかに医療安全管理部へ対応を依頼 ○ 「意見箱」：患者からの率直な意見を受け、改善に繋げることを目的として設置 ・ 外来診療棟1階総合案内、北棟1階エレベーターホール、北棟・南棟5～11階のラウンジ、

ウエストウイング 1・2 階に設置し、病院に対する意見を投書いただくよう明記

- ・医療安全に係る内容に関する意見があった場合には速やかに医療安全管理部へ報告

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

医療に係る安全管理のための研修を、主に e-learning システムを用いて実施し、年 2 回以上の受講を義務付けている他、新規採用者・中途採用者を対象とした研修を、以下の内容で実施している。

医療安全管理について (25 分)

医療機器の安全について (15 分)

感染防止について (30 分)

薬剤のオーダーと運用について

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する特定機能病院管理者研修に参加

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価一般病院 3 (3rdG:Ver. 2.0) の更新審査を平成 30 年 10 月に受審し、平成 31 年 4 月 5 日付で認定

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

公表しておらず、機構の定める認定基準を達成したことのみ、本院ウェブサイトに掲載

・評価を踏まえ講じた措置

画像・病理診断レポートに係る未読状況の把握対策については、モニタリングにより未読状況の軽減に努め、平成 31 年 10 月より「画像診断レポート既読システム」を導入し、簡単かつリアルタイムに状況を確認できるようにした。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

- ・ 基準の主な内容

◎九州大学病院長候補者選考実施規程

第2条 九州大学部局長の任命等に関する規則（平成27年度九大規則第29号）第3条別表の規定に基づく病院長となることができる者は、次の各号のいずれにも該当する者とする。

- (1) 医療法（昭和23年法律第205号）第10条第2項に基づき主として医業を行う病院を管理することができる者
- (2) 医療安全確保のために必要な資質・能力を有する者
- (3) 病院の管理運営上必要な資質・能力を有する者

2 九州大学病院長候補者選考会議（以下「選考会議」という。）は、病院長候補者の選考に際し、前項第2号及び第3号に掲げる資質・能力に係る具体的な基準についてあらかじめ定めるものとする。

◎九州大学病院長に求められる資質・能力等について（平成29年10月4日九州大学病院長候補者選考会議）

九州大学病院長候補者選考会議は、病院長候補者の選考にあたり、九州大学病院長候補者選考実施規程第2条第2項の規定に基づき、病院長に求められる資質・能力等について次のとおり定める。

■求められる資質・能力等

人格が高潔で学識に優れ、かつ、次に掲げる資質・能力を有すること。

1. 医療安全確保のために必要な資質・能力

医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力等を有すること。

2. 病院の管理運営上必要な資質・能力

当院又は当院以外の病院での組織管理経験など、高度な医療を司る特定機能病院の管理運営上必要な資質・能力を有すること。

3. 九州大学及び九州大学病院の理念等を実現するために必要な資質・能力

九州大学アクションプランや九州大学病院が掲げる理念・基本方針の実現を目指す強い意思とこれらを継続的かつ確実に推進する強力なリーダーシップを有すること。

- ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（有）

- ・ 公表の方法

本学Webサイトに掲載

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				無
・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（有・無） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（有・無） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（有・無） ・ 公表の方法				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第9条の2 3第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無			有
- 合議体の主要な審議内容 ①運営方針に関する事項 ②中期目標及び中期計画に関する事項 ③規程等の制定及び改廃に関する事項 ④予算及び決算に関する事項 ⑤その他病院の運営に関する重要事項 - 審議の概要の従業者への周知状況 議事要旨を院内Webサイトに掲載し、周知 - 合議体に係る内部規程の公表の有無（有） - 公表の方法 本学のWebサイトに掲載 - 外部有識者からの意見聴取の有無（有） 九州大学病院運営会議規程第7条において、「運営会議が必要と認めるときは、構成員以外の者に出席を求め、意見を聞くことができる」旨規定されている。			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
赤司浩一	○	医師	病院長
西村英紀		歯科医師	副病院長・科長
須藤信行		医師	副病院長・科長
中島康晴		医師	副病院長・科長
中村雅史		医師	副病院長・科長
堀内孝彦		医師	副病院長・科長
濱田正美		看護師	副病院長
新納宏昭		医師	病院長補佐
塩瀬 明		医師	病院長補佐・科長
大賀正一		医師	病院長補佐・科長
中島直樹		医師	病院長補佐・科長
加藤聖子		医師	病院長補佐・科長
鮎澤純子		教員	病院長補佐
有償洋二郎		医師	副科長
北園孝成		医師	科長
小川佳宏		医師	科長
磯部紀子		医師	科長
筒井裕之		医師	科長

松元幸一郎		医師	副科長
沖 英次		医師	副科長
吉住明晴		医師	副科長
竹中朋祐		医師	副科長
秋吉清百合		医師	副科長
古山 正		医師	副科長
吉本幸司		医師	科長
田尻達郎		医師	科長
中原剛士		医師	副科長
江藤正俊		医師	科長
中尾智博		医師	科長
園田康平		医師	科長
中川尚志		医師	科長
石上康生		医師	科長
山浦 健		医師	科長
下野信行		医師	科長
門田英輝		医師	科長
水野晋一		医師	科長
福本 敏		歯科医師	科長
高橋一郎		歯科医師	科長
前田英史		歯科医師	科長
鮎川保則		歯科医師	科長
中村誠司		歯科医師	科長
森 悦秀		歯科医師	科長
横山武志		歯科医師	科長
吉浦一紀		歯科医師	科長
和田尚久		歯科医師	科長
柏崎晴彦		歯科医師	科長
三森功士		医師	科長
播谷勝三		医師	科長
平川雅和		医師	科長
康東天		医師	部長
小田義直		医師	部長
前田高宏		医師	部長
馬場英司		医師	センター長
辻 学		医師	センター長
後 信		医師	部長
安藤真一		医師	センター長
家入一郎		薬剤師	部長
河野一郎		理学療法士	部長
藤江 進		事務	部長
笹栗俊之		医師	教授
鶴打正浩		医師	教授
佐々木雅之		医師	教授

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有）
- ・ 公表の方法
本学Webサイトに掲載
- ・ 規程の主な内容
九州大学学則第25条第2項 「部局長は、当該部局の業務を掌理する。」
九州大学病院規則第16条 「病院の管理及び運営に関し必要な事項については、
病院長が別に定める。」
国立大学法人九州大学予算決算及び出納事務取扱規程第9条第2項
「総長は、（中略）予算単位（病院）に配分した予算の管理及び執行に関する事務を予算
責任者（病院長）に分掌させるものとし、その処理に係る職務権限を委任するものとする。」
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
 - (1) 副病院長を6名置き、病院長を補佐して本院の業務を処理
副病院長 ①統括・歯科担当、②総務担当、③経営担当、
④安全管理・危機管理担当、医療安全管理責任者、⑤別府病院担当、
⑥看護部総括担当
 - (2) 病院長補佐を6名置き、病院長の諮問に応じ、具体的な事項についての情報の収集及び
調査を行い、意見を具申
病院長補佐 ①教育担当、②経営・安全管理担当、③医療安全・移行期医療担当
④医療情報担当、⑤監査・法規・IC担当、⑥別府病院再開発担当
 - (3) その他、国際医療部長、薬剤部長、医療技術部長、事務部長等が、病院長をサポート
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

日程	事業名	場所	参加者
平成31年2月9日	国立大学附属病院長会議「第3回病院長塾」	品川シーズンテラス タワー	病院長、須藤副病院長、 中島副病院長、中村副病 院長、濱田副病院長
令和元年10月27 日	特定機能病院管理者研 修	日本医療機能評価機 構	病院長、中村副病院長、 飯原病院長補佐

令和2年2月17日	第2回病院経営次世代 リーダー養成塾	学術総合センター (東京)	病院長、中島副病院長
令和3年2月16日	医師の働き方改革緊急 セミナー	全国医学部長病院長 会議 (Web開催)	病院長

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況					有
・ 監査委員会の開催状況：年2回（第2回監査は令和4年2月頃開催予定） ・ 活動の主な内容： - 第1回監査（令和3年9月14日開催） - 以下の現状について監査 ・ インシデントの報告・学習制度 ・ インシデントレポートに基づいた改善活動 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有） ・ 委員名簿の公表の有無（有） ・ 委員の選定理由の公表の有無（有） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（有） ・ 公表の方法：本院ウェブサイトに掲載					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
近本 亮	熊本大学	○	安全管理の識見者	無	1
富田 康裕	久留米大学		安全管理の識見者	無	1
杉原 学	久留米大学		安全管理の識見者	無	1
秋好 美代子	さく病院		安全管理の識見者	有	1
久保井 摂	九州合同法律事務所		法律の識見者	無	1
中原 美夏	NPO法人キャンサーサポート		医療を受ける者	無	2

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

「国立大学法人九州大学の業務の適性を確保するための体制等に関する規則」に基づき、本学の役職員が法令及び本学の規則等を遵守することなどを目的として、本学の業務の適正を確保するための体制を整備している。

本体制において、病院長は業務適正確保責任者として、本院の業務の調査・評価を行い、その結果等について業務適正確保統括責任者（総長が指名する理事）に報告を行い、さらに業務適正確保統括責任者は、毎年役員会に取りまとめた結果を報告し、確認を行っている。

- ・ 専門部署の設置の有無（ 有 ）
- ・ 内部規程の整備の有無（ 有 ）
- ・ 内部規程の公表の有無（ 有 ）
- ・ 公表の方法

本学Webサイトに掲載

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 平成30年度から予算執行状況を含む本院の業務の実施状況について、定期的に役員会に報告することとしている。 ・ 会議体の実施状況（ 年 38 回（令和2年度） ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ 無 ）（ 年 回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有 ） ・ 公表の方法 本学Webサイトに掲載			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：九州大学役員会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 （○を付す）	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

（注） 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有 ）
- ・ 通報件数（年 0 件）
- ・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ 有 ）
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有 ）
- ・ 周知の方法
メールにより病院内の全教職員へ定期的に周知

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有
・ 情報発信の方法、内容等の概要 ○ 病院のホームページ 外来・入院・お見舞い案内、病院紹介、病院指標データ、診療科・センター・施設等案内、医療連携、採用情報、トピックス等の情報を提供 ○ 広報誌 1) 病院概要（県内病院、国立大学、官公庁向けに送付） 診療科、部、センター等の案内、病院統計資料等の情報を提供 2) 九大病院ニュース（県内外の病院、県医師（歯科医師）会、大学病院、官公庁向けに送付	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 ○ 入退院・周術期支援センター 周術期支援センターは、周術期医療の質の向上を目指して、平成26年9月に設置され、これまで患者が安全に手術を受けられるよう、麻酔科医・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士および周術期口腔ケアセンターの歯科医・歯科衛生士が各科担当医とチームを組み支援してきた。さらに、手術患者の社会福祉的支援を入院前から開始するとともに、退院後の療養支援を行うために令和2年4月より、入退院・周術期支援センターを開設している。 入退院・周術期支援センターでは周術期管理のために、麻酔科医による術前全身評価を中心に、薬剤師による薬剤確認、管理栄養士による栄養評価、口腔ケアのスクリーニングなどを行	

っている。手術に影響がある疾患を有する患者の場合は、循環器内科・糖尿病内科・呼吸器科など他の診療科の評価と治療を受けた後に、入退院・周術期支援センターにて総合的な周術期管理を行っている。以上のように医療安全を確保し、予期しない手術中止症例の減少、術前合併症の予防、早期退院の推進のために複数の診療科と多職種が連携して対応している。

今後は支援の対象を手術目的以外で入院する患者にも拡大し、当院で入院治療を受ける患者を総合的に支援するPatient Flow Management (PFM) の確立を目指している。

医療法第6条の6第1項に基づく診療科名

届出		医科	備考
届出	標榜診療科(医療法)	院内診療科名	
○	内科	血液・腫瘍・心血管内科 免疫・膠原病・感染症内科 消化管内科 腎・高血圧・脳血管内科 内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・脾臓・胆道内科 総合診療科 先端分子・細胞治療科	2016/12/1院内標榜変更
○	心療内科	心療内科	
○	精神科	精神科神経科	
	神経科		
○	神経内科	脳神経内科	2019/1/1院内標榜変更
○	呼吸器科	呼吸器科	
	消化器科(胃腸科)		
○	循環器科	循環器内科	
	アレルギー科		
	リウマチ科		
○	小児科	小児科	
○	外科	消化管外科(1) 消化管外科(2) 肝臓・脾臓・門脈・肝臓移植外科 胆道・脾臓・脾臓移植・腎臓移植外科 呼吸器外科(1) 呼吸器外科(2) 乳腺外科(1) 乳腺外科(2) 内分泌外科 血管外科	
○	整形外科	整形外科	
○	形成外科	形成外科	2014/2/1設置
	美容外科		
○	脳神経外科	脳神経外科	
	呼吸器外科		
○	心臓血管外科	心臓血管外科	
○	小児外科	小児外科、成育外科、小腸移植外科	2014/8/1院内標榜変更
	皮膚泌尿器科		
○	皮膚科	皮膚科	
○	泌尿器科	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	
	性病科		
	こう門科		
	産婦人科		
○	産科	産科婦人科	
○	婦人科		
○	眼科	眼科	
○	耳鼻いんこう科	耳鼻咽喉・頭頸部外科	
	気管食道科		
○	リハビリテーション科	リハビリテーション科	2016/4/1設置
○	放射線科	放射線科	
○	病理診断科	病理診断科・病理部	2014/9/16設置
○	麻酔科	麻酔科蘇生科	
○	救急科	救命救急センター	2014/10/1設置

24

		歯科	備考
	標榜科	院内診療科名	
○	歯科	歯内治療科 歯周病科 義歯補綴科 咬合補綴科 歯科麻酔科 口腔画像診断科 口腔総合診療科 高齢者歯科・全身管理歯科	2016/12/1院内標榜変更
○	矯正歯科	矯正歯科	
○	小児歯科	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	
○	歯科口腔外科	顎口腔外科 顔面口腔外科	

必要医師数等試算表(医療法施行規則第22条の2に基づく)

全体

一日平均入院患者者数(全体)	960.940	A		
一日平均入院患者者数(全体)(入院新生児含む)	965.640	A'	新生児	4.7
一日平均外来患者者数(全体)	2838.460	B		
一日平均入院患者者数(医科)	932.420	C		
一日平均外来患者者数(医科)	2187.790	D		
一日平均入院患者者数(歯科)	28.520	E		
一日平均外来患者者数(歯科)	650.670	F		

必要医師数	225.94200	≒	226	L	$(C+(D \div 2.5)) \div 8$
必要歯科医師数	36.10	≒	37	M	$(E \div 8)+(F \div 20)$
必要看護師及び准看護師	577.44	≒	578	N	$(A' \div 2)+(B \div 30)$
必要薬剤師数	32.03	≒	33.00	O	$A \div 30$

No	診療科(部)名	主な研修内容	研修受講者数	研修指導医数
1	第一内科(血液・腫瘍内科)	血液専門医コース	37	8
2		腫瘍専門医コース	28	4
3		循環器専門医コース	22	2
4	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	感染症専門医コース	20	6
5		リウマチ専門医コース	36	10
6		総合診療プログラム	3	1
7	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース	36	15
8		消化管治療習熟コース	8	5
9	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓専門医・透析専門医コース	19	11
10		腎臓内科・医学博士取得コース	23	10
11		脳卒中専門医コース1	4	4
12		脳卒中専門医コース2	6	4
13		糖尿病専門医コース	20	5
14		高血圧専門医・臨床コース	5	2
15		高血圧専門医・大学院コース	3	1
16	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	57	5
17	第三内科(肝臓・膵臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・膵臓・胆道)	36	7
18		血液・腫瘍総合コース	8	6
19	心療内科	心療内科臨床研修コース	16	7
20	神経内科	神経内科専門医コース	22	2
21		神経内科専門医大学院コース	2	0
22		てんかん専門神経内科コース	0	1
23		認知症専門神経内科コース	1	0
24		脳卒中専門神経内科コース	0	0
25	循環器内科	循環器内科専門医・大学重点コース	0	0
26		循環器内科専門医・大学院進学コース	0	0
27		循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	29	3
28		循環器内科専門医・地域医療重点コース	4	2
29	呼吸器科	クリティカルケアコース	45	4
30	産科婦人科	産婦人科専門医コース	29	1
31		周産期研究者コース	0	0
32	小児科	小児科専門医コース1(大学重点)	0	0
33		小児科専門医コース2(大学重点)	0	0
34		小児科専門医コース2(地域重点)	26	1
35		小児科専門医コース3(地域重点)	0	0
36		小児科専門医・大学院進学コース	0	0
37	第一外科	外科専門医コース	28	2
38		消化器外科専門医取得コース	6	2
39		肝胆膵外科専門医コース	1	1
40		内視鏡外科専門医コース	1	1

No	診療科(部)名	主な研修内容	研修受講者数	研修指導医数
41	第二外科	外科専門医コース	5	2
42		消化器外科専門医コース	18	2
43		呼吸器外科専門医コース	5	1
44		心臓血管外科専門医コース	6	1
45		ゲノム基盤先端臨床腫瘍学コース	12	1
46		がん専門医養成コース	12	2
47	整形外科	整形外科専門医コースA	87	9
48		整形外科専門医コースB	80	9
49	脳神経外科	臨床コース	22	16
50	心臓血管外科	心臓血管外科専門医コース	21	4
51	小児外科	一般小児外科重点コース(1)	12	4
52		小児腫瘍外科重点コース	3	2
53		新生児外科重点コース(1)	5	1
54	皮膚科	皮膚科専門医養成+美容皮膚科実践コース	10	3
55		皮膚科専門医養成+熱傷・皮膚科救急プライマリケアコース	14	6
56		皮膚科専門医養成+小児皮膚科コース	2	2
57		皮膚科専門医養成+皮膚科レーザー治療実践コース	5	3
58		皮膚科専門医養成+皮膚病理強化学習コース	8	4
59		皮膚科専門医養成+形成外科強化学習コース	5	3
60		皮膚科専門医養成+褥瘡・プライマリケアコース	11	5
61	泌尿器科	泌尿器科研究医師育成コース	4	2
62		泌尿器科臨床研究医師育成コース	5	3
63		臨床指導医育成コース	4	3
64	精神科神経科	日本精神神経学会専門医取得コース	62	14
65	眼科	眼科総合習得コース	19	1
66		角膜専門医養成コース	7	1
67		網膜専門医育成コース	10	1
68		黄斑疾患専門医育成コース	10	2
69	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	30	5
70		耳鼻咽喉科専門医・大学院コース	5	3
71	放射線科	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	42	15
72		放射線診断専門医養成コース	3	3
73		放射線治療専門医養成コース	2	4
74		放射線治療専門医ならびに学位取得コース	7	4
75	総合診療科	病院総合診療医重点コース	4	2
76		病院総合診療医・臨床研究コース	2	1
77		病院総合診療医・大学院進学コース	1	1
78	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	59	17
79	病理診断科・病理部	臨床コース	14	10
83		大学院コース	2	2
84	形成外科	形成外科コース	5	1

令和2年度 看護部教育プログラム

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
1	看護部長講演 【オンデマンド】	5/15- 6/19	九州大学病院の看護の現状および今後の動向を理解し、看護が果たすべき役割を考える	濱田看護部長	45分	Web				1187
2	臨床看護研究発表会 【オンデマンド】	12/18- 1/17	看護研究の成果を発表し、看護の質の向上を図る	教育WG	97分	Web			全職員対象 申し込み 不要	585
3	業務改善報告会 【オンデマンド】	1/18- 2/5	各部署での業務改善の実践状況を発表し、意見交換を通して相互啓発の機会とする	業務WG	127分	Web				588

<管理者研修>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
4	新任副看護部長研修	4/24	九州大学病院および看護部の理念や目標を理解し、中間管理者としての役割、責任を認識する	看護部長 副看護部長	1日	集合	外来棟5階 会議室2	新任 副看護部長 11名		11
5	新任看護部長研修	R2年 3/9	九州大学病院・看護部の理念を再確認した上で、 看護部長として必要な知識を修得し、自身が果た すべき役割を考える		1日	集合	打ち合せ室1	新任 看護部長 3名		3
6	管理者研修1(全3回) (目的)看護管理者に求めら れる責務を理解し、部署目標 の達成を目指して看護管理 過程が達成できる能力を養う	4/24	看護管理実践計画について	教育担当副看護部長 教育委員会	30分	集合	打ち合せ室1	新任副看護部 長 11名		11
		6/22	＜第1回＞看護管理実践計画 立案	看護部長 副看護部長	150分 ×2		外来棟5階 会議室2	副看護部長 98名		93
		9/14	＜第2回＞看護管理実践計画 進捗状況の共有	認定看護管理者 教育委員会看護部長	120分 ×2					95
		2/2	＜第3回＞看護管理実践計画 演習のまとめ	医療法人光洋会赤間病院 医療連携室室長/在宅部 長 岩谷友子先生	150分 ×2					95
	認定看護管理者研修 修了報告会【オンデマン ド】	3/2- 3/12	研修で学んだ知識を共有し、看護管理能力の向上を 目指す	看護部	60分	Web		副看護部長 98名 看護部長 41名 その他希望者		216
7	管理者研修2(全3回) (目的) 現在の医療現場を視野に、 病院管理や看護管理の側面 から問題点を分析し、解決策 の方向性を形成する 管理実践報告	6/19	＜第1回＞看護管理実践計画 立案	医療法人光洋会赤間病院 医療連携室室長/在宅部 長 岩谷友子先生 看護部長 副看護部長 看護部	13:00- 15:00	集合	外来棟5階 会議室2	看護部長 41名		40
		9/28	＜第2回＞看護管理実践計画 進捗状況の共有		10:00- 12:00					41
		2/12	＜第3回＞看護管理実践計画 演習のまとめ		13:00- 15:00					41
		適宜	他部署の管理の現状について情報共有し、自部署の 運営に活かす	20分	外来棟5階 会議室2		41			
8	中間管理者育成研修 (全8回) (目的) 看護管理の基礎を理解し、看 護実践に活かす	9/9	＜第1回＞九州大学病院の理念と組織形態 看護管理とは	教育委員会 教育WG	17:00 -90分	集合	WW1階 カンファレンスルーム	条件を満たす 希望者 ＊別途募集 15名選定		15
		9/23	＜第2回＞人事・労務管理 看護管理の実践(1)				WW1階 カンファレンスルーム			15
		10/14	＜第3回＞看護職員の能力開発・人材育成 看護者の倫理				WW1階 カンファレンスルーム			15
		10/28	＜第4回＞医療保険と介護保険、医療連携				WW1階 カンファレンスルーム			15
		11/11	＜第5回＞医療安全と医療事故発生時の対策、 感染管理と病棟管理				WW1階 カンファレンスルーム			15
		12/9	＜第6回＞診療報酬と看護【公開講座】				臨床大講堂 臨床小講堂2			15
		1/13	＜第7回＞医療及び看護の質、経営管理と看護				WW1階 カンファレンスルーム			15
		2/10	＜第8回＞災害への対応、研修まとめ				WW1階 カンファレンスルーム			15

＜リーダー・指導者育成＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間		会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
9	プリセプターシップ *プリセプターシップの役割 と機能を学び、プリセプターと しての能力を高める	4月	＜第1回＞準備研修	教育担当	適宜	OJT	各部署	条件を満たし 推薦された者 *別途募集		69
		6/12	＜第2回＞支援研修		90分 ×2	集合	中央会議棟1 階 多目的会議室 B・C		69	
		10/27	＜第3回＞支援研修		90分 ×2				67	
		2/16	＜第4回＞まとめ		60分 ×2				66	
10	プリセプターシップ (令和3年度)	R3年 3/11	＜第1回＞準備研修		60分		臨床大講堂	R3年2月 募集	73	
11	臨地実習指導者研修 (全6回) (研修の目的) *看護教育における実習の意 義及び実習指導者としての役 割を理解し、効果的な実習指 導ができるよう必要な知識を 習得する *自己の看護観の再構築と 実習指導者像の形成を目指 す	7/6- 7/19	＜第1回＞ガイダンス、実習指導者経験談 看護教育課程、実習指導の原理 ＜第2回＞教育原理、教育方法	実習指導経験のある 実習指導者 別紙参照	24分	Web	条件を満たし推 薦された者 *別途募集		47	
		7/20	＜第3回＞看護過程		13:00- 12:00	集合			外来棟5階 会議室2 外来棟5階 会議室2 中央会議棟1階 多目的会議室 B・C	47
		8/25	＜第4回＞実習指導計画、実習指導の評価		pm 0.5日					45
		9/18	＜第5回＞カンファレンスの指導方法		pm 0.5日					46
		1/18	＜第6回＞事例検討・まとめ		13:00- 12:00					47
		12	臨地実習指導者研修 (アドバンスコース) (研修の目的) *看護教育における実習の 意義及び実習指導者としての 役割を再確認し、実習指導に 活かす		5/16- 6/19	＜第1回＞看護部長講演(必ず1回は聴講)			濱田看護部長	45分
7/6- 8/4	＜第2回＞ガイダンス、看護教育課程、実習指導の 原理			教育担当副看護部 長	12分	Web	18			
8/7	＜第3回＞看護学生の動向と看護教育の現状			九州大学大学院医学 研究科保健学部門 教授 横口 暢子	13: 00- 12:00	集合	外来棟5階 会議室2	28		
2/17	＜第4回＞まとめ			看護部 実習指導者育成WG	13: 00-90 分	集合	外来棟5階 会議室2	28		
13	教育担当者研修	5/16- 6/19	＜第1回＞看護部長講演(必ず1回は聴講)	濱田看護部長	45分	Web	教育WG ※第2回は新規 教育WG構成員 28名		45	
		6/9	＜第3回＞組織の理念と人材育成	濱田看護部長 教育担当副看護部長	13:00- 60分	集合			外来棟5階 会議室2	28
		10/13	＜第4回＞部署内新人教育でのWeb資源活用につ いて	教育委員会					外来棟5階 会議室2	45
		2/9	＜第5回＞目標達成の評価、まとめ	教育委員会					外来棟5階 会議室2	45
14	輸液・シリンジポンプ指導者 (第5期)更新研修	2/8	・輸液ポンプ・シリンジポンプの安全使用に関する知 識や技術を再確認し、指導者として必要な知識・ 技術・態度を修得する ・輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な使用法を指導 する能力を養う	医療機器操作強化WG	120分	集合	スキルトレーニング センター		12	14
15	リーダーシップI	10/9	リーダーシップ理論を学び、リーダーとしての能 力を高める	教育担当副看護部長 教育委員会	0.5日 ×2	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅲ	40 ×2	70
16	問題解決技法	8/24	自部署の現状把握、解決策の検討・分析など を通して、看護管理能力を養う。	福岡看護大学 健康支援看護部門 教授 飯野 英親	180分	Web (Zoom)	外来棟5階 会議室2	Ⅳ	40	34
17	キャリア開発支援	11/10	看護職としてのキャリアデザインについて学び、 自身のキャリア開発に役立てる	三重大学 准教授 宮田 千春	90分	Web (Zoom)	臨床小講堂1	Ⅳ	40	35
18	コーチング	12/9	コーチングの基本的スキルを習得し、看護実践 や後輩の指導に適用する	(有)AEメディカル 野津 浩嗣	180分	Web (Zoom)	中央会議棟 1階多目的会 議室A・B・C	Ⅲ	80	73

＜看護倫理＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
19	看護倫理[オンデマンド]	9/15- 9/30	看護倫理についての理解を深め、倫理的視点を 持つ	九州大学大学院医学研究 院保健学部門 教授 中尾 久子	90分	Web		全ラ ダー		404
20	看護倫理1	10/21	事例を通して倫理上の問題に気づき、看護倫理 への理解を深める	看護部倫理委員会	60分 ×3	集合	中央会議棟1階 多目的会議室 A・B・C	Ⅱ	30 ×2	114
21	看護倫理2	11/20	事例を通して倫理上の問題解決の方向性を探 り、看護倫理の理解を深める		0.5日 ×2	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅲ	30 ×2	70

＜看護記録＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
22	看護記録の実際	10/22	看護ケアのアセスメント力の向上のために、記録 を振り返り、重要性を学ぶ	看護部記録委員会	120分	集合	中央会議棟1 階 多目的会議室 B・C	Ⅲ	40	39

＜静脈注射認定看護師育成＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
23	静脈注射認定看護師 育成研修(公開)	9/2	静脈留置針を中心に、静脈注射に必要な知識・ 技術を習得し、安全で確実な看護実践能力を身 につける	麻酔科医師 薬剤師 安全管理担当 感染管理担当、 IVナース育成WG 教育WG	講義 1日	集合	臨床小講堂1	2年目以上の 該当者 (新人看護職 員は別途開 催)		18
		9/4			演習 130分		スキルトレーニング センター			11
		9/18			筆記 試験 60分		臨床小講堂1			18

＜専門領域＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
24	循環管理(実践編) 心電図や心不全患者への看 護を学ぼう	8/14	循環管理に必要な知識を理解し、看護実践に活 用する	慢性心不全看護認定看護 師 豊沢 真代	180分 ×2	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅱ	30 ×2	55
25	呼吸音聴診	8/6	フィジカルアセスメント(呼吸音聴取)を習得す ることで、患者の状況に応じた適切な看護ケアの選 択と実践につなげることができる。	集中ケア認定看護師 鳥羽 好和	90分 ×2	集合	スキルトレーニング センター	Ⅱ	20 ×2	40
26	人工呼吸管理の基本	10/23	人工呼吸器の点検とアラーム対応を学び、臨床 現場で実践する	集中ケア認定看護師 井上 辰幸	60分 ×2	集合	スキルトレーニング センター	Ⅱ	15 ×2	29
27	感染管理(指導者編) 「臨床現場における実践モデ ルと指導者に必要なスキルを磨 こう!」	5/27	1. 正しい感染対策を理解し、部署での実践・指 導を実践する 2. 感染対策マニュアルが活用できる	感染管理認定看護師 安永 幸枝 小林 里沙	17:00- 45分	集合	臨床小講堂1	Ⅲ・Ⅳ 院内認定看護 師(感染管理) リンクナース 60名		62
28	成人における造設後の ストーマケア	12/24	基本的なストーマケアの知識を理解し、術後から 退院にかけての正しい器具交換の方法と必要な 日常生活指導を習得する	皮膚・排泄ケア 認定看護師 ストーマケア領域 院内認定看護師	90分 ×2	集合	スキルトレーニング センター	Ⅱ・Ⅲ	20 ×2	30
29	エアマットを使いこなして褥瘡 予防に役立てよう	1/15	体圧分散マットレスが適切なタイミングで適切に使用さ れることで、褥瘡発生率が低下することにつなげる	皮膚・排泄ケア 認定看護師 立花由紀子 褥瘡ケア領域 院内認定看護師	90分 ×2	集合	臨床小講堂1 スキルトレーニング センター	Ⅱ	25 ×2	35
30	スキンケアの知識と予防方 法	11/11	スキンケアのハイリスク患者を理解し、患者に応じた 予防ケアや局所管理に必要な知識や技術を習得する	皮膚・排泄ケア 認定看護師 大重 まどか 褥瘡ケア領域 院内認定看護師	90分 ×2	集合	中央会議棟1 階 多目的会議室 A・B・C	Ⅱ	66	66
31	褥瘡予防の基礎知識から管 理方法の実際～外用薬・ドレ ッシングからNPWTのポイント～	7/9	褥瘡の発生機序や創傷管理を理解し、適切な予防ケ アや局所管理に必要な知識や技術を習得する	皮膚・排泄ケア 認定看護師 大重 まどか 褥瘡ケア領域 院内認定看護師	180分	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅲ	25	31
32	糖尿病看護 ～糖尿病の薬物療法、困っ ていることを解決しよう～	8/31	1. 糖尿病患者の薬物療法が安全に行えるようリス クマネジメントの視点について学ぶ 2. 糖尿病患者が自宅でも安全に療養を継続できるよ うに生活調整支援の方法を学ぶ	糖尿病看護認定看護師 梶野 美保	17:00- 60分	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅲ	30	31
33	[がん看護(実践編1)] 明日から使えるがん疼痛緩 和と化学療法看護 ※緩和ケアリンクナース受講の必須 研修	7/7	がん患者の緩和ケア・症状マネジメントに関する 基礎知識を習得する	がん看護専門看護師 坂本 節子 緩和ケア認定看護師 廣瀬 亜由美 がん性疼痛看護認定 看護師 秋野 照美 がん化学療法看護認 定看護師 中村 美和子	180分	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅱ	40	33

【根拠資料】様式4-2 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

34	[がん看護(実践編2)] がん患者に対するアピアランスケア、リンパ浮腫へのケア	8/27	がん患者に対するアピアランスケア、リンパ浮腫についてのケアを理解することができる	がん性疼痛看護認定看護師 土谷 美智子 乳がん看護認定看護師 泊 直子	pm 180分	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅱ	25	20
35	がん患者の化学療法 【治療計画(レジメン)の理解と 職業性暴露対策】	7/22	・がん薬物療法のレジメンを理解し、薬剤に応じた症状 マネジメントの知識を習得し、化学療法の投与管理能力 が向上する ・化学療法を受ける患者の薬剤に応じたリスクをアセ スメントし、予防、早期対処に必要な知識を習得する	がん化学療法看護 認定看護師 古賀 さとみ	17: 00- 60分	集合	臨床小講堂1	Ⅲ・Ⅳ	100	43
36	エンゼルケアについて-エン ゼルメイクに自信がもてる-	10/12	エンゼルケアに求められる看護師の役割を理解し、知 識や技術の習得をする	緩和ケア認定看護師 廣瀬 亜由美 熊谷 知子	17: 00- 60分	集合	臨床小講堂2	Ⅲ・Ⅳ	30	54
37	腹膜透析の看護実践 【オンデマンド】	11/6- 11/26	腹膜透析のバッグ交換手技獲得と観察の視点を 身につける	透析看護認定看護師 吉田 恵美	37分	Web	スキルトレーニング センター	Ⅱ	30	46
38	身体拘束の弊害を通して考え る認知症患者とのコミュニ ケーション	9/23	身体拘束の弊害を通して、安全と尊厳を考慮した 認知症看護を見出す	認知症看護認定看護師 立石 圭	17: 00- 60分	集合	中央会議棟 1階多目的会議 室B・C	全 ラダー	30	28

＜緩和ケアリンクナース育成＞

※2回以上、かつ【がん看護実践編1】受講済で、2日間受講可能な者

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
39	緩和ケアリンクナース フォローアップ研修	1/19	緩和ケアリンクナースに必要な、緩和ケアの実践 能力の維持・向上を図る	17:00- 60分	集合	臨床小講堂2	※	50	21

＜院内認定看護師育成＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
40	院内認定看護師育成研修 (認定試験含む全11回) (研修目的) 専門分野において高い知識・ 技術を修得し看護実践や教 育・指導に活かす		感染管理	感染管理認定看護師 安永 幸枝 森 日登美 小林 里沙	90分	集合	スキルトレーニング センター その他 ※修了式: 外来棟5階 会議室2	別途募集 あり		9
		① 5/25 ② 6/22 ③ 7/27 ④ 8/17 ⑤ 9/28 ⑥ 10/30 ⑦ 11/16 ⑧ 12/21 ⑨ 1/29 ⑩ 2/15 ⑪ 3/1 試験 ⑫3/12 修了式	がん看護(2年間コース:2/2年目)	がん看護専門看護師 坂本 節子 がん放射線看護 認定看護師 菅瀬 穂子 緩和ケア認定看護師 廣瀬 亜由美 熊谷 知子 がん性疼痛看護 認定看護師 土谷 美智子 秋野 照美 がん化学療法看護 認定看護師 中村 美和子 乳がん看護認定看護 師 泊 直子					4	
			糖尿病看護	慢性疾患看護専門 看護師 桃坂真由美 糖尿病看護認定 看護師 梶野 美保					5	
			周術期看護	手術看護認定看護師 松岡 美恵 河野 易子					2	

＜看護助手研修＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
41	看護助手研修	7/10	〈第1回〉診療報酬上求められる基礎知識	120分 ×2	集合	スキルトレーニング センター	看護助手		75
		12/14	〈第2回〉安全な患者移送方法について 感染防止	120分		臨床大講堂			78
		2/19	〈第3回〉医療安全 高齢者の対応 コミュニケーションのとり方	120分		臨床大講堂			73

<新人看護職員研修>

No	日程	研修名・テーマ	研修内容・ねらい	担当・講師など	時間	方法	会場	受講者数(人)				
42	4/1-2・3	看護部新採用者入職時研修	九州大学病院・看護部の役割を学び、組織の一員であることを理解する 社会人としての基礎的知識・態度を身につける	各部門担当者 看護部長・副看護部長 看護師長 看護部各委員会・各WG	3日 ※短時間	集合	臨床大講堂 視聴覚ホール	146				
43	4/7・8	看護実践研修1	①感染管理1(手指衛生・PPE・環境整備) ②看護記録・電算研修	感染管理担当 記録委員会	130分 130分	集合	スキルトレーニングセンター 電算研修室	146				
44	5/12-6/5	看護実践研修2	①医薬品の管理薬剤の基礎知識 ②麻薬等の管理について ③感染管理2(針刺し防止) ④血糖測定とインスリン療法	薬剤部 医療安全看護部委員会 認定看護師 院内認定看護師	Web 集合	Web 集合	各部署	146				
45	6/17	3ヵ月フォローアップ研修	入職後3ヵ月を振り返り、悩みや不安を話し合い 情報共有し、問題解決の方法を考える	教育担当					90分 ×3	集合	中央会議棟1階 多目的会議室 A・B・C	128
46	5/28-7/17	看護実践研修3 (口腔内・鼻腔内吸引、気管吸引)	1. 看護実践において必要な知識・看護技術を身につけ、安全・正確に実施できる能力を養う 2. 口腔内・鼻腔内吸引、気管吸引の看護技術を部署で実践できる	集中ケア認定看護師 院内認定看護師 (呼吸ケア領域)					Web OJT	Web 集合	各部署	130
47	7/29・30・31	看護実践研修4 (尿道留置カテーテル挿入・導尿)	尿路感染防止の学習を通して、尿道留置カテーテルの挿入・管理、導尿における清潔操作の基本的知識を知る	感染管理担当 感染管理認定看護師 安永 幸枝 小林 里沙 院内認定看護師(感染管理領域)								
48	8/19・20・21	看護実践研修5 (静脈血採血)	看護実践において必要な知識・看護技術を身につけ、安全・正確に実施できる能力を養う	教育WG	Web視聴 演習 130分	Web 集合	スキルトレーニングセンター	128				
49	9/29・30・10/1	シミュレーション研修 (状況把握)	患者に必要な観察項目を理解し、得られた情報から異常を察知し、報告できる能力を習得する	教育WG	Web視聴 52分	Web OJT	各部署	126				
50	10/12-10/30	重症度、医療・看護必要度研修	重症度、医療・看護必要度の正確な評価を実施するための基本的知識や方法を身につける	経営企画課 診療報酬特定業務専門職 西山 謙 業務委員会 業務WG								
51	10/7	6ヵ月フォローアップ研修	入職後6ヵ月を振り返り情報共有し、今後の目標を考える。	教育担当	60分 ×3	集合	中央会議棟1階 多目的会議室 A・B・C	127				
52	10/20	フィジカルアセスメント2 心電図(基礎編)	心電図の基礎および重症不整脈に関する知識を習得し、看護実践に適用する	救急看護認定看護師	Web視聴 28分	Web	臨床大講堂	128				
53	12/25	一次救命処置(BLS) ～救命の連鎖をつなげよう～	一次救命処置(BLS)の知識・技術を習得し、看護実践に適用する	救急看護認定看護師 院内認定看護師(救急看護領域)	1日 ×2 (講義)	Web OJT	各部署	128				
54	2/1	看護実践研修6 (静脈注射認定看護師育成研修)	静脈留置針を中心に、静脈注射に必要な知識・技術を習得し、安全で確実な看護実践能力を身につける	手術部医師・薬剤師 医療安全担当 感染管理担当 教育委員会 教育WG 静脈注射認定看護師育成WG								
	2/3・4・5								90分 ×3 (演習)	集合	スキルトレーニングセンター	124
	2/15								60分 (試験)	集合	臨床大講堂 臨床小講堂1・2	140
55	3/5	12ヵ月フォローアップ	入職後1年を振り返り、GWと全体討議を通して自己の課題を明確にし次年度の目標を考える。 また後輩を受け入れる心構えを持つ	教育担当副看護部長 教育担当	60分 ×3	集合	中央会議棟1階 多目的会議室 A・B・C	124				

<新卒2年目看護職員研修>

No	日程	テーマ	研修のねらい(目的)、内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	受講者数(人)
56	8/4-7/2	急変時の対応って苦手ですよね?	患者の異常に気づき、的確に対応する看護実践能力について学びを深める	救急看護認定看護師 小児救急看護認定看護師 院内認定看護師 (救急看護領域・ 小児救急看護領域)	Web視聴 53分	Web	スキルトレーニングセンター	106
57	9/25	明日からできるスキンケア	スキンケアの基本を学び、最新ですぐにでも実践できる予防的スキンケアの技術を習得する	皮膚・排泄ケア認定看護師	90分 ×3	Web 集合	スキルトレーニングセンター	101
58	1/25	リフレクション(事例検討)	看護実践の振り返りや他者との看護(観)の共有により、自己の看護観、目指す看護を明らかにする	認定看護管理者 教育委員会	90分 ×2	集合	中央会議棟1階 多目的会議室 A・B・C	100
59	9月-12月	部署間研修	基本的看護技術の未経験・未修得項目を習得する	各部署指導者	1.5~2日		ICU 救命ICU 手術部 各部署	102

<新卒3年目看護職員研修>

No	日程	テーマ	研修のねらい(目的)、内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	受講者数(人)
60	6/23	感染管理(実践編) ~正しい知識で院内感染を防ごう!~	様々な場面での正しい感染対策を再確認して、部署での実践・指導に活かす	感染管理担当 感染管理認定看護師 安永 幸枝 小林 里沙	45分	集合	臨床大講堂	110
61	10/20-11/9	接遇研修	身だしなみや礼節について学び、組織人としての自覚を認識する	ナーシング・スキル動画視聴 チェックリスト入力	Web視聴 8分	Web	臨床大講堂	107

○ 全体（全病院職員）に向けた内容の研修会…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2を除き、E-learningあるいはDVD貸し出しにて実施

[illegible]

令和2年度 医薬品安全管理研修会

○ 全体に向けた内容の研修会

No.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	E-learningまたはDVD 貸し出しにより実施	60分	E-learningまたはDVD 貸し出しにより実施	916名	【選択】医薬品安全管理・院内感染対策合同研修会	・医薬品の適正使用 ・アンチバイオフィームの活用	・医薬品安全管理専門委員会 村岡 佳代子 ・検査部 木部 泰志
小計				916			

○ 採用者への研修会

<対象者：看護師、外>

No.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	令和2年4月1日	90分	百年講堂	137	新採用者就任式・合同研修	医薬品安全管理について(25分)、医療機器の安全について(15分)	医薬品安全管理部副部長 島崎 雅彦、グロブナル感染症センター 安永 貴子、薬科部 金谷 剛一郎、MEセンター 三島 隆夫
2	E-learningまたはDVD 貸し出しにより実施	60分	E-learningまたはDVD 貸し出しにより実施	218	新採用者・中途採用者研修	医療防止について(30分)、薬剤のオーダーと運用について(15分)	医薬品安全管理部副部長 島崎 雅彦、グロブナル感染症センター 安永 貴子、薬科部 金谷 剛一郎、MEセンター 三島 隆夫
3	令和2年4月3日	50分	臨床大講堂	146	看護部新採用者入職研修	医療防止について(30分)、薬剤のオーダーと運用について	薬科部 中嶋 一恵
4	令和2年4月3日	150分	外来棟5階カンファレンスルーム	11	新採用薬剤師研修	薬剤部におけるリスクマネジメント	薬科部 金谷 剛一郎、村上 裕子
5	令和2年4月3日	90分	WW4F電算研修室	40	新採用者研修	薬剤のオーダー講習	薬科部 金谷 剛一郎、永田 健一郎
	令和2年4月3日	90分	WW4F電算研修室	20	新採用者研修	薬剤のオーダー講習	薬科部 金谷 剛一郎、永田 健一郎
6	令和2年5月	40分	各部書	131	新採用者「看護実践研修2」	医薬品の管理・薬剤の基礎知識	各部書の看護課または新採用薬剤師
7	令和3年1月28日	60分	臨床大講堂	63	静脈注射認定看護師育成研修	薬剤に対する基礎知識	薬科部 渡邊 裕之
8	令和3年2月1日	60分	臨床大講堂	62	静脈注射認定看護師育成研修	薬剤に対する基礎知識	薬科部 渡邊 裕之
小計				828			

○ 職種別研修会

<対象者：看護師、外>

No.	開催日	時間	場所等	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	令和2年6月22日	70分	スキルトレーニングセンター	5	院内認定看護師育成研修(糖尿病ケア領域)	～糖尿病患者の理解とケア～糖尿病患者の薬物療法	薬科部 吉澤 裕子
2	令和2年9月2日	60分	臨床大講堂	15	静脈注射認定看護師育成研修	薬剤に対する基礎知識	薬科部 渡邊 裕之
3	令和3年1月28日	60分	臨床大講堂	1	静脈注射認定看護師育成研修	薬剤に対する基礎知識	薬科部 渡邊 裕之
4	令和3年2月1日	60分	臨床大講堂	4	静脈注射認定看護師育成研修	薬剤に対する基礎知識	薬科部 渡邊 裕之
小計				25			

令和2年度 医療機器安全管理研修会

○ 全体に向けた内容の研修会

No.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	令和2年4月1日	90分	百年講堂	137	新採用者就任式・合同研修	医療安全管理について(25分)、医療機器の安全について(15分)、感染防止について(30分)、薬剤のオーダーと運用について(20分)	医療安全管理部副部長 馬場副看護部長、グローバル感染症センター 安永看護部長、薬剤部 金谷副部長、MEセンター 三島臨床工学技士
2	E-learningまたはDVD貸し出しにより実施	90分	E-learningまたはDVD貸し出しにより実施	218	新採用者・中途採用者研修	医療安全管理について(25分)、医療機器の安全について(15分)、感染防止について(30分)、薬剤のオーダーと運用について(20分)	医療安全管理部副部長 馬場副看護部長、グローバル感染症センター 安永看護部長、薬剤部 金谷副部長、MEセンター 三島臨床工学技士
3	令和2年7月2日	60分	臨床大講堂	279	【共催】第46回呼吸管理セミナー	・新型コロナウイルス肺炎患者に使用する人工呼吸器と安全なモニタリング ・人工呼吸器の安全使用-使用前チェックリストの使用活用 ・換気療法の実践	・MEセンター 高橋 幸子 ・看護部 谷山 絵美 ・呼吸器科 井上 浩智
4	E-learningまたはDVD貸し出しにより実施	60分	E-learningまたはDVD貸し出しにより実施	240	第47回呼吸管理セミナー	・これで安心気道確保 ・呼吸管理下での感染対策 ・気管切開患者の感染管理、体位交換	・麻酔科 藤生 科 植田 桂子 医師 ・歯科衛生室 有水 智香 歯科衛生士 ・看護部 野口 弘二 看護師
5	令和3年2月4日	75分	臨床大講堂 + Zoom配信	413	第48回呼吸管理セミナー	・NPPV/NHFの安全管理 ・小児の呼吸器感染症 ・気切の安全管理	・救命救急センター 渡邊 雅嗣 医師 ・小児科 奥園 清香 医師 ・耳鼻咽喉科 菊池 良和 医師
小計				1,287			

○ 機器導入時研修会

<対象者：臨床工学技士、医師、看護師等 新規導入機器使用職員>

No.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	令和2年4～5月	45分	ハートセンター、MEセンター、手術室	115	エドワーズ製 ヘモスフィア新規導入時研修	エドワーズ製 ヘモスフィアの利用について(心臓外科、ER/ICU(Or.Ns)、麻酔科、MEセンター)	九州大学病院 医療技術部 定松 慎矢
2	令和2年7月22日	45分	ハートセンター	6	ヘモスフィア説明会	エドワーズ製 ヘモスフィアの利用について説明会(1内科)	九州大学病院 医療技術部 定松 慎矢
3,4	令和2年7月30日、8月3日	30分	北棟地下1階共用会 議室	15	Thopaz+吸引機 導入時研修会	Thopaz+吸引機説明会の利用について	日本コヴィディエン株式会社 山本 勇人
5,6	令和2年7月31日、8月4日	90分	MEセンター 点検部 屋	8	Prisma flex 説明会	Prisma flexについて	バクスター株式会社 安田 健太
7,8	令和2年8月17日、20日	40分	北棟地下1階共用会 議室	23	エアードネブ 導入時研修会	エアードネブについて	フィッシャー&バイケルヘルスケア株式会社 端野 宏哉
9,10	令和2年9月3日、7日	20分	MEセンター 点検部 屋	18	ARIETTA Precision 導入時研修会	ARIETTA Precisionについて	株式会社 日立製作所 ヘルスケア九州支店 藤野 順二
11,12	令和2年9月14日、17日	30分	北棟地下1階共用会 議室MEセンター点検 部屋	21	Ambu デイスボブロンコ勉強会	Ambu デイスボブロンコについて	アンブ株式会社 江川 隆
13	令和2年10月7日	15分	北10階	50	リフト式体重計 コンフォスリング導入説明会	リフト式体重計 コンフォスリング導入説明会	九州エア・ウオーター 北村 洋輔
14,15	令和2年11月10日、12日	15分	NUCU	17	NIGU呼吸器(SIPAP)新回路説明会	NIGU呼吸器(SIPAP)の利用について	エア・ウオーター株式会社
16	令和2年12月3日	15分	北11階	11	リフト式体重計 リフトスケール(エア・ウオーター)導入説明会	リフト式体重計 リフトスケールの利用について(北11階)	エア・ウオーター株式会社
17	令和2年12月21日	30分	北棟地下1階共用会 議室MEセンター点検 部屋	15	MiraQカラードブブラー説明会	MiraQカラードブブラー説明会	日本ビー・エックス・アイ株式会社 杉本 和樹、谷 健一郎
18,19	令和2年12月23日、24日	30分	北棟地下1階共用会 議室MEセンター点検 部屋	10	A7麻酔ワークステーション 勉強会	A7麻酔ワークステーション 勉強会	泉工医科工業株式会社 加藤 心平
20,21	令和3年1月6日、7日	20分	北棟地下1階共用会 議室MEセンター点検 部屋	16	血液凝固測定器 アクタライクMINI II 説明会	血液凝固測定器 アクタライクMINI II 説明会	株式会社JMS 大和文公
22,23	令和3年3月9日、12日	30分	南棟4階KCU検査室	10	ABL9説明会	ABL9について	ラジオメーター株式会社 土持 慎寛
24	令和3年3月15日	30分	ICUカンファレンス室	38	血液計 EEGトレンドプログラム(OP-160A)導入説明会	血液計 EEGトレンドプログラム(OP-160A)の利用について	日本光電工業株式会社 疋田 和己
25	令和3年3月16日	30分	ICUカンファレンス室	35	生体情報モニタ マジモReofモニタ導入説明会	生体情報モニタ マジモReofモニタの利用について	マジモジャパン株式会社 樹崎 広大
26,28	令和3年3月25日、26日、30日	60分	MEセンター	24	透析装置 DBB-200Si 透析装置 MH500CX 水処理装置導入説明会	透析装置 DBB-200Si 透析装置 MH500CX 水処理装置について	日機装(株)エアーク(株)
29	令和3年3月30日	30分	MEセンター	26	気管支鏡 ストリップ気管支鏡導入説明会	気管支鏡 ストリップ気管支鏡の利用について	カールストルツ・エンドスコピー・ジャパン株式会社
30	令和3年3月31日	60分	南棟5階 NICU検査室	11	nCPAP勉強会	NICUで使用する呼吸器について	イワキ株式会社 宮尾 裕信

31	令和3年3月25日～ 31日	80分	DVD	24 Hamilton-C6の説明会	Hamilton-C6の取り扱いについて	日本光電工業株式会社 e-Learning
32	令和3年3月25日～ 31日	10分	DVD	24 VHB200(加温加湿器)の説明会	VHB200(加温加湿器)の取り扱いについて	株式会社スカイネット e-Learning
33	令和3年3月25日～ 31日	30分	DVD	24 MASIMO ROOTの説明会	MASIMO ROOTの取り扱いについて	マシモジャパン株式会社 e-Learning
小計				541		

○ 機器安全使用のための研修会

<対象者：臨床工学技士>

No.	開催日	時間	場所等	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	令和2年4月21日	75分	南棟3階 ICUカンファレンスルーム	5	(救命救急センター-CCU.Ns.向け)CHDFについて	CHDFについて	九州大学病院 医療技術部 徳本 裕哉
2	令和2年6月19日	60分	南棟4階 手術部会議室	41	生命維持管理装置 手術室で目にする補助循環	生命維持管理装置 手術室で目にする補助循環	九州大学病院 医療技術部 定松 慎矢
3・4	令和2年6月22日、 24日	60分	北棟3階 補助人工心臓管理室	56	HVAD勉強会	HVADについて	日本メトロニック株式会社 山本 夏子
5	令和2年8月20日	60分	MEセンター	10	ECMO装置ハンドクランク使用について	ECMO装置ハンドクランク使用について	九州大学病院 医療技術部 定松 慎矢 高橋 幸子
6	令和2年8月21日	75分	南棟4階 手術部会議室	31	人工心臓の基礎	人工心臓の基礎	九州大学病院 医療技術部 定松 慎矢
7	令和2年10月6日	60分	MEセンター	39	カルディオヘルプの操作と取り扱いについて	カルディオヘルプの操作と取り扱いについて	心臓外科、MEセンター
8	令和2年10月19日	45分	北棟B1階 共用会議室	15	EXCOR勉強会	EXCOR 操作と取り扱い方法	九州大学病院 医療技術部 佐々木 悠真
9	令和2年10月22日	60分	北棟B1階 MEセンター 点検部屋	15	IMPELLA勉強会	IMPELLAの運用について	九州大学病院 医療技術部 澤村 匠之介
10	令和2年10月26日	90分	救命救急センター1階 医局カンファレンス室	12	ECPRシミュレーション	ACLSの復習、ECPRの適応、役割、流れ、ECMOに触れてみる	救命救急 Dr.西原、瀧永 MEセンター ME高橋、定松
11	令和2年11月2日	45分	北棟B1階 共用会議室	6	アイフロア勉強会	アイフロアについて	マリノクロットファーマ株式会社 尾崎 晋吾
12	令和2年11月12日	分		11	成人の心臓手術について	成人の心臓手術について	
13	令和2年12月10日	45分	北棟B1階 共用会議室	7	内視鏡勉強会		九州大学病院 医療技術部 西村 香織
14・16	令和2年12月17・21・24日	60分	ER ICU	19	EXCOR勉強会	EXCOR 操作と取り扱い方法	九州大学病院 医療技術部 佐々木 悠真
17	令和3年1月14日	61分	院内 ICU	16	VAD勉強会	特徴と緊急時対応について	九州大学病院 医療技術部 佐藤 博彦 堤 悠亮
18	令和3年1月25日	80分	北棟B1階 共用会議室	13	ベースメーカーについて	ベースメーカーとは	九州大学病院 医療技術部 堤 悠亮
小計				296			

平成29年度～高度新規医療技術申請書 受付簿

受付 番号	高度新規 医療技術 内容	診療科名	実施 医師	左記 連絡先	高度新規医療技術の名称	技術 審査 結果	様式の 送付	申請書 日付	申請書 受理日	申請書 正依頼	追加資 料等	原簿書 起案日	決裁日	諮問委 依頼日	各委 員会	部会 承認 日	申請科 へ通知	安全委 へ報告	備 考
20-1	医療技術 心臓血管外科	塩瀬 小田 藤田	塩瀬 小田 藤田	5557 藤田2301	ロス手術(自己動脈弁組織による大動脈基部置換術)	E	4/24	5/25	5/25	5/26	5/26	5/26	5/26	5/26	6/12	6/23	6/25	7/15	
20-2	医療技術 心臓血管外科	塩瀬 小田 藤田	塩瀬 小田 藤田	5557 藤田2301	大血管転位症手術(心室中隔欠損閉鎖術を伴う)	E	4/24	5/25	5/25	5/26	5/26	5/26	5/26	5/26	6/12	6/23	6/25	7/15	
20-3	医療技術 泌尿器・初立 臓器・腎臓・副腎 外科	柏木 英志	柏木 英志	2327	ロボット支援腹腔鏡下副腎全摘除術	-	5/22	6/4	6/5		5/26	6/26	6/26	6/26	7/10	7/21	8/7	8/19	
20-4	医療技術 泌尿器・初立 臓器・腎臓・副腎 外科	門司 恵介	門司 恵介	2330	ロボット支援腹腔鏡下腎盂形成術	D	6/18	6/23	6/24		5/26	6/26	6/26	6/26	7/10	7/21	8/7	8/19	
20-5	医療技術 心臓血管外科	塩瀬 大石 木村	塩瀬 大石 木村	大石2286	慢性B型慢性大動脈症に対するステントグラフト内挿および腹腔鏡手術	D		10/12	10/13	10/14	10/16	10/23	10/23	10/23	11/9	11/25	12/3	12/16	
20-6	医療技術 心臓血管外科	塩瀬 大石 木村	塩瀬 大石 木村	大石2296	弓部大動脈瘤に対する開窓型胸郭大動脈ステントグラフト内挿術	D		10/12	10/13	10/14	10/16	10/23	10/23	10/23	11/9	11/25	12/3	12/16	
20-7	医療技術 心臓血管外科	塩瀬 大石 木村	塩瀬 大石 木村	大石2286	腹動脈瘤に対する分岐型ステントグラフト内挿術	D		10/12	10/13	10/14	10/16	10/23	10/23	10/23	11/9	11/25	12/3	12/16	本施設二外科にて平成29年4月以降に本施設にて施行した症例は、本施設として報告してはならない。本施設として報告した症例は、本施設として報告してはならない。本施設として報告した症例は、本施設として報告してはならない。
20-8	医療技術 血液・腫瘍 ・心臓血管内科	宮本 吉本 迫田	宮本 吉本 迫田	迫田2280	治療抵抗性造血性腫瘍細胞移植後BKウイルス性出血性膀胱炎に対するシドフォビル膀胱内注入療法		10/19	10/21	10/22						10/26	11/25	12/3	12/16	本施設二外科にて平成29年4月以降に本施設にて施行した症例は、本施設として報告してはならない。本施設として報告した症例は、本施設として報告してはならない。本施設として報告した症例は、本施設として報告してはならない。

令和2年 11 月 30 日

(提出先)

国立大学病院長会議常置委員会
診療担当(医療安全管理)
大阪大学医学部附属病院長 殿

提出機関名 九州大学病院

令和2年度「令和元年度医療安全・質向上のための相互チェック」に基づく重点項目に関する改善状況調査 調査用紙(報告)

令和元年度「医療安全・質向上のための相互チェック」(テーマ:医療安全・質向上のための入院時支援体制, Patient Flow Management)における指摘事項等に対する具体的な取り組み状況について、以下のとおり報告します。

I. 次の各項目に関する取り組み状況 (回答はプルダウンより有無を選択してください)

番号	項目	取り組みの有無	取り組みを示すデータ・資料等のうち公開可能なもの(※)
1	PFMの対象の拡大	有	
2	PFMを担当する部署/チーム/WGの設置	無	
3	PFMを担当する人員の拡充	有	
4	働き方の改革(例:PFMへの時短勤務者の配置、医師補助事務者へのタスクシフト等)	無	
5	環境の改善(例:患者やスタッフの動線の改善、備品の整備等)	無	
6	情報収集の改善(例:情報収集項目の拡充、テンプレートの整備、情報収集フローの効率化等)	無	
7	連携体制の強化(例:院内・院外の連携体制の整備、他科紹介体制の整備等)	有	
8	PFMに関する予算措置の実施	無	
9	PFM設置によるアウトカムの評価(例:術後肺炎の発症率、入院後の情報収集所要時間の推移等)	無	

※ 報告書に掲載、公表可能な場合には、データを添付してください。患者氏名等の個人情報は予め削除するなどご留意ください。

II. 令和元年度の相互チェック以降、組織で重点的に改善に取り組んだ事項 (I の内容を具体的に記載して下さい)

令和2年4月「周術期支援センター」から「医療連携センター入退院・周術期支援センター」に改組された。これまで入院前支援と退院支援・退院調整は別々に業務を行っていたが、「医療連携センター」として協働して院内連携強化に取り組んだ。4月からは入退院・周術期支援センターで「せん妄発生のリスク評価」を行い、せん妄リスクが高いと判断された場合は、院内のリエゾンチーム介入を提案している。病棟との連携強化のため入院前カンファレンスへの積極的参加に注力している。

III. IIの達成状況

1. 改善計画を達成していない(改善していない、取り組んでいない)
2. 改善計画を一部達成していない(改善中)
3. 改善計画を十分達成している(改善済)
4. 改善計画を上回って達成している(想定以上の改善をした)

回答 (プルダウンより該当番号を選択)

IV. 令和2年のCOVID-19の拡大によるPFMの体制整備への影響

影響の有無 (プルダウンより有無を選択)

具体的な内容(有の場合のみ記載)

手術件数の減少により、受診者数が減少した。新型コロナウイルス感染症対策として「術前問診票」の運用を開始、その後すべての入院予定患者に対して「共通問診票」として現在も運用している。

令和 3 年度 第 1 回
九州大学病院医療安全監査委員会

令和 3 年 9 月 14 日 (火)
14:00~16:00

議題

医療安全対策に係る取組みの評価等に関する活動
(インシデントレポートに基づく改善活動)

1. インシデントの報告・学習制度

資料 3

2. インシデントレポートに基づいた改善活動

資料 4

実際のインシデントレポート

資料 5

令和3年度 九州大学病院医療安全監査委員会 委員名簿

条項	氏名	所属	役職	決定理由	備考
第3条第1項第1号委員	近本 亮	熊本大学	医療の質・安全管理部 副病院長(医療安全管理・ 危機管理担当)	安全管理の識見者	無
第3条第1項第1号委員	富田 康裕	久留米大学	医療安全管理者 薬剤副部長補佐	安全管理の識見者	無
第3条第1項第1号委員	杉原 学	久留米大学	医療機器安全管理責任者 臨床工学センター技師長	安全管理の識見者	無
第3条第1項第1号委員	秋好 美代子	さく病院(元九大病院)	看護師	安全管理の識見者	有
第3条第1項第1号委員	久保井 摂	九州合同法律事務所	弁護士	法律の識見者	無
第3条第1項第2号委員	中原 美夏	NPO法人 キャンサーサポート	副理事長	医療を受ける者	無